令和7年度

施設更新（耐震化）事業

岩友ポンプ所ほか設備更新工事

仕様書

施　工　場　所　　東広島市高屋町高屋東、溝口

広島県水道広域連合企業団　東広島事務所

位　置　図

【広域図】

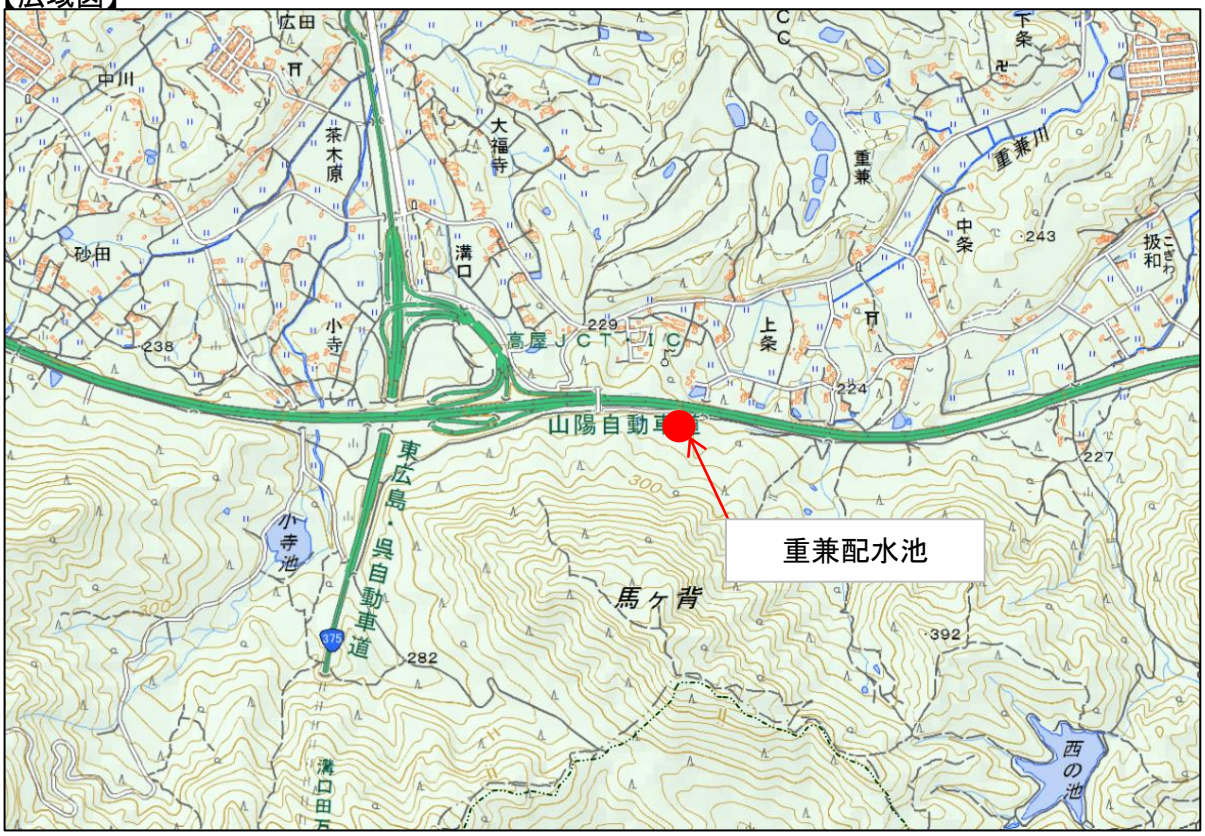
岩友ポンプ所
頭崎山
505.4
504.3
519
348
277
265
284
268
228
259.9
岩谷
友広
貞重
日南
中山
是国
丸内
高屋台
東広島中核工業団地

【詳細図】

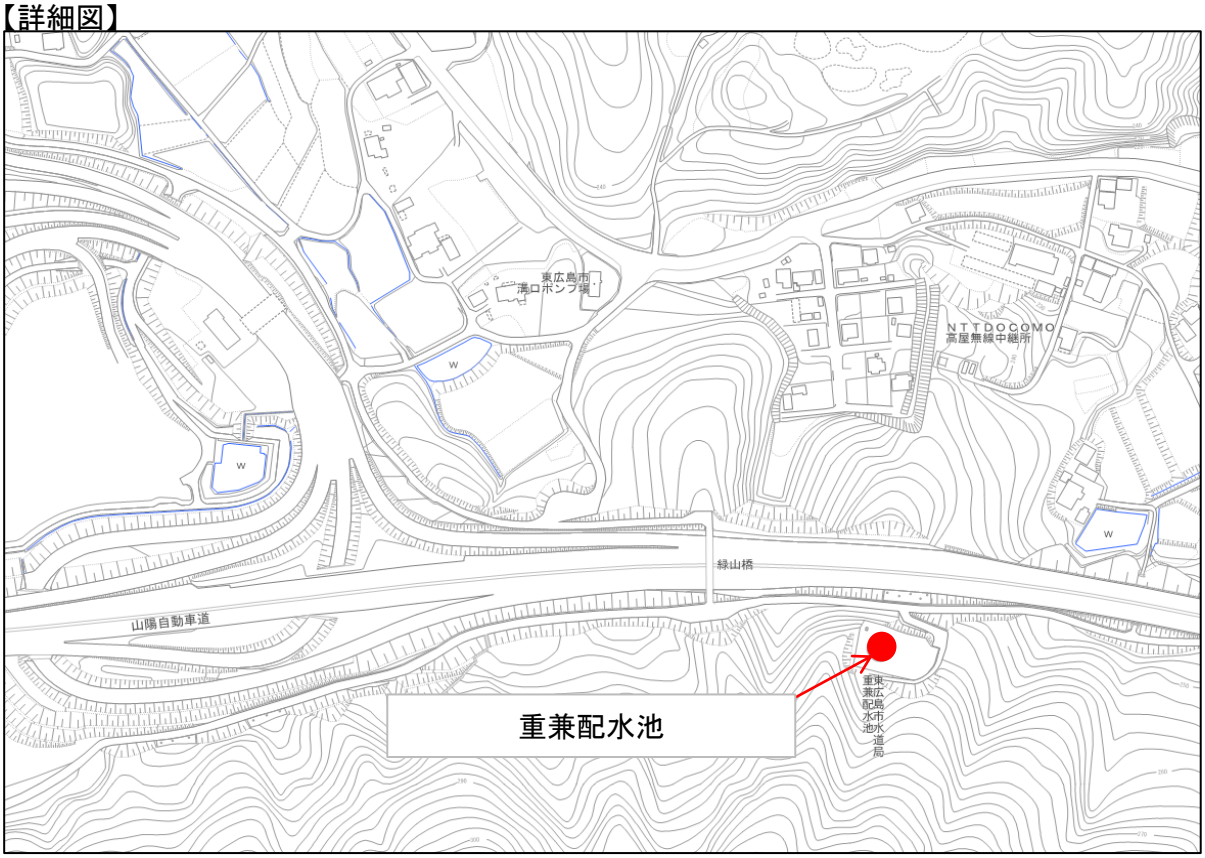
岩友ポンプ所
岩谷
友広
八和田八幡神社

位　置　図

【広域図】


広田
中川
茶木原
大福寺
溝口
砂田
小寺
238
229
高屋ＪＣＴ／ＩＣ
上条
224
重兼
重兼川
中条
243
扱和
下条
山陽自動車道
東広島・呉自動車道
小寺池
282
300
馬ヶ背
392
227
西の池
重兼配水池

【詳細図】


東広島市
溝口ポンプ場
NTTDOCOMO
高屋無線中継所
緑山橋
山陽自動車道
重兼配水池
東広島市水道局
重兼配水池

特　記　仕　様　書

（岩友ポンプ所ほか設備更新工事）

第1章　総則

1.　適用
2.　前払金
3.　債務負担
4.　現場代理人の兼務
5.　履行報告
6.　官公庁等への手続き等
7.　工事中情報共有システム（受注者希望型）
8.　熱中症対策に資する現場管理費の補正
9.　主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10.　法定外の労災保険の付保
11.　週休２日適用工事等
12.　建設副産物の取り扱いについて
13.　競争入札に参加する者に必要な資格に関する事項
14.　主任技術者及び監理技術者の変更
15.　主任技術者又は監理技術者の専任義務の緩和
16.　水道法に基づく施設内における衛生管理について

第2章　工事材料

1.　品質規格証明資料等
2.　使用材料

第3章　施工条件

1.　安全対策
　(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
2.　建設副産物
　(1) 建設発生土(搬出)　(建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地
　(2) コンクリート殻（有筋）(搬出)
　(3) アスファルト殻(搬出)
　(4) 建設汚泥(搬出)
　(5) スクラップ類
　(6) 廃プラスチック類
3.　その他
　(1) 部分使用
　(2) 施工時期及び施工時間の変更
　(3) 水道技術管理補助者検査について
　(4) 諸経費の積算

第4章　施工管理

1.　品質管理
　(1) 品質管理報告

第5章　その他

1.　工事関係書類
2.　工事写真
3.　疑義の解決等
4.　施工計画書の記載事項の簡素化
5.　諸経費の積算

特　記　仕　様　書

第1章　総則

1.　適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和７年８月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

(1) 水道編については広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき施工管理するものとする。

(2) 「広島県」とあるのは「広島県水道広域連合企業団東広島事務所」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）

(3) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。

(4) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。

(5) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。

(6) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。

(7) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。

(8) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。

(9) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。

(10) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。

(11) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。

(12) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。

(13) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(14) その他

編	章	節	条	見　出　し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。

3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	5	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	6	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2.　前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあっては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

・建設工事請負代金前金払実施要領
・建設工事請負代金中間前金払実施要領
・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3.　債務負担

各会計年度における請負代金の支払い限度額は次のとおりとする。

令和７年度　請負代金額の40％
令和８年度　残額

出来高予定額

令和７年度　0円
令和８年度　残額

発注者は、予算の都合その他の必要があるときは、支払い限度額及び出来高予定額を変更することができる。

支払い方法について、次のとおりとする。

前金払い　　請求可

契約会計年度において契約会計年度及び翌会計年度の出来高予定額の40％を請求できるものとする。なお、余裕期間制度適用工事においては「契約会計年度」を「工期の始期の属する年度」とする。

中間前金払・部分払い

契約約款特約事項22項により、契約締結時にいずれかを選択するものとする。ただし本工事は、契約年度においての部分払いはできない。

4.　現場代理人の兼務

１　現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
２　発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
３　発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。

⑴ 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
⑵ 兼務を承認した日から起算して14日（東広島市の休日を定める条例（平成元年東広島市条例第６号）第１条第１項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
⑶ 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
⑷ 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
⑸ 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
⑹ その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき

４　重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあっては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあっては平成17年2月7日前の町の区域とする。

5.　履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月７日までに提出すること。

6.　官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7.　工事中情報共有システム（受注者希望型）

（１）本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。

（２）工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。

（３）本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム（一般社団法人　広島県土木協会）

http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html

（４）工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。

（５）利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。

（６）運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

１）「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。

２）「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。

３）「4.検査」は適用しない。

４）検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。

５）受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8.　熱中症対策に資する現場管理費の補正

（１）　本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

（２）　工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。

（３）　真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。

ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数　（WBGT）を対象とする。

（４）　気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。

（５） 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。

（６） 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。

（７） 積算方法は次のとおりとする。

１）補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2

２）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

（８） 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。

（９） 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

広島県水道広域連合企業団東広島事務所発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

１ 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

２ 受注者は、建設工事請負契約約款第４７条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

３ 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休２日適用工事等

本工事は、週休２日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休２日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休２日適用工事等の実施について」に掲載している。

12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

１ 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（５の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に 報告しなければならない。

２ 計画の掲示及び公表

受注者は、１の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

３　実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から５年間保存しなければならない。

４　工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

５　建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m3以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第３条第７項又は第４条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第１項、第16条第１項、第30条第１項又は第35条第１項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第１項、第27条第１項、第28条第１項又は第40条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

６　運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

７　確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

８　確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後５年間保存するものとする。

９　建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10　建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11　受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12　受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後５年間保存するものとする。

13　建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する９（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後５年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合

(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合

(3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード

(4) ９の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

を取得した者とし、上記の登録証又は受講証の写しを提出すること。ただし、フランジ耐震補強金

13. 競争入札に参加する者に必要な資格に関する事項

次のことに該当する者を、担当技術者として配置するものとする。

（１）機械器具設置工事の経験（監理技術者、主任技術者又は現場代理人としての元請経験に限る）を有する者。

※担当技術者は、監理技術者又は主任技術者と兼ねることができる。

※担当技術者の配置については、建設業法第26条の2第2項の規定に準ずる。

14. 主任技術者及び監理技術者の変更

１　技術者変更の事由

受注者は、施工途中の主任技術者及び監理技術者の変更については、次のいずれかに該当するとき、協議の上、変更できるものとする。

ただし、原則として同一年度内に複数回の交代は認めないものとする。

（１）技術者の死亡、疾病、出産、育児、介護による就業不能、又は退職等のやむを得ない事由により交代が必要と認められるとき。

（２）受注者の責によらない理由により工期が延長された場合であって、延長前の工期を経過したとき。

（３）橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行するとき。

（４）工事が概ね完了したと認められるとき。

２　後任技術者

前項により途中変更を行う場合は次により対応すること。

（１）後任技術者は、原則として、前任技術者と同等以上の資格及び工事実績を有していること。

（２）技術者の変更に際し、継続的に業務遂行できるように、前任・後任技術者を重複配置し、引継ぎを行うこと。ただし、死亡等、引継ぎ困難な場合は除くものとする。

15. 主任技術者又は監理技術者の専任義務の緩和

専任が義務付けられた工事に配置される主任技術者又は監理技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。

（１）工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）

（２）工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間

（３）橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任技術者又は監理技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任技術者又は監理技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

（４）工事完成後、検査が終了し、引渡しを受けるまでの期間

16. 水道法に基づく施設内における衛生管理について

1　広島県水道広域連合企業団が管理する施設内（取水場、浄水場、配水地及びポンプ場等）に立ち入る予定日数が、１か月間のうち延べ７日以上である場合は、水道法（昭和32年法律第177号）第21条に基づく健康診断（腸内細菌等検査）を実施すること。（水に直接触れる業務（潜水作業等）に従事する場合は日数に関係なく実施する。）

2　受注者は、工事従事者のうち腸内細菌等検査の対象者に対し、工事に従事する前に腸内細菌等検査を実施しなければならない。ただし、施設内で工事に従事する日から起算して６か月前までの間に、受注者等において腸内細菌等検査を実施している場合は、その結果報告書の提出をもって当該検査の実施に代えることができる。

3　腸内細菌等検査は、おおむね６か月ごとに実施すること。

4　受注者は、工事従事者の腸内細菌等検査を実施した場合には、その結果報告書を速やかに発注者へ報告すること。

第2章　工事材料

1.　品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
その他	レディーミクストコンクリート	

効利用促進等に関する方針」「溶融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠するものとする。なお、これにより難い場合は、監督職員と協議すること。

2.　品質管理及び確認

1.で示したもののほか、溶融スラグを利用した資材の使用における品質の管理及び確認は、広島版「土木工事共通仕様書(令和７年８月)」及び広島版「施工管理基準(令和７年８月)」によるものとする。ただし、書類により品質が確保できる項目においても、監督職員が必要と認めるものは現場検収を実施できるものとする。

3.　再生加熱アスファルト混合物への使用

溶融スラグを再生加熱アスファルト混合物に使用する場合、広島版「土木工事共通仕様書（令和７年８月）」の「1-1-2-16　環境対策」に示す登録リサイクル製品の使用は適用しないものとする。

4.　適合規格

溶融スラグの適合規格については、広島版「土木工事共通仕様書(令和７年８月)」に記載の適合規格（「2-2-3-1 一般事項　1.」）ではなく、「JIS A 5031　一般廃棄物，下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」を適用するものとする。

2.　使用材料

(1)一般土木資材及び配管材料等の使用材料の有効年月は下表のとおりとし監督職員の承認及び材料確認を受けたものを使用すること。なお、滑剤及び切管用補修剤についても提出すること。

種別	材料名	有効年月	備考
一般土木資材	鉄筋	製造１年未満	
配管材料	塩化ビニル管	同上	
	鋼管	同上	
	弁・栓類	同上	
	接合材	同上	ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ･ﾊﾟｯｷﾝ

※ 管明示テープについては、当該年度または、当該施工年度とし、統一して使用すること。

なお、上記により難い場合に、（公社）日本水道協会の検査合格後3年以内で保管状況の良好な材料であれば、監督職員の承認及び確認を受けて使用できるものとする。

第3章　施工条件

1.　安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員　・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

2.　建設副産物

(1) 建設発生土(搬出)　(建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

(名称)　　大地リサイクルセンター第9残土処分場

(所在地)　　東広島市河内町入野字大内原987-1

(運搬距離)　　8.6ｋｍ

(2) コンクリート殻（有筋）(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻（有筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は　6.4ｋｍ　を見込んでいる。

(3) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は　5.6ｋｍ　を見込んでいる。

(4) 建設汚泥(搬出)

・舗装の切断作業時に発生する排水（汚泥）は、産業廃棄物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、適正に処理しなければならない。

・舗装の切断作業時に発生する排水は、建設汚泥として、汚泥の産業廃棄物処分業の中間処理の許可を受けている産業廃棄物中間処理施設に搬出するものとする。なお、搬出先は、運搬費と受入費の合計が最も安価になる施設を見込んでおり、設計変更の対象としない。
また、運搬距離は　8.9ｋｍ　を見込んでいる。

・受注者は、舗装の切断作業時に発生した排水の委託処理に関する契約書の写しを提出すること。また、工事完成後、速やかに本工事の工事名を記載して交付したマニュフェストの写しを監督員に提出すること。ただし、アスファルトコア採取の排水については、受注者において適正に管理するものとし、提出は求めない。

※舗装版の種類は、アスファルト及びコンクリートを問わない。

なお、適正な処理の実施に際して、排水を脱水処理することができる場合等は、協議の上、当該排水の運搬処理費の削除等について契約変更できるものとする。

(5) スクラップ類

当該工事により発生するスクラップ類の搬出先として、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる搬入先を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。
また、運搬距離は岩友ポンプ所13.4km、重兼配水池9.1kmを見込んでいる。

(6)廃プラスチック類

当該工事により発生する廃プラスチック類の搬出先として、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる搬入先を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。
また、運搬距離は岩友ポンプ所14.5km、重兼配水池8.9kmを見込んでいる。

3.　その他

(1) 部分使用

本工事においては、水道技術管理補助者の検査に合格後、部分的に使用したいので使用できる状態とすること。

(2) 施工時期及び施工時間の変更

休日・夜間作業届については、FAX・ﾒｰﾙ・工程会議等で、監督職員・請負者双方が、「作業日及び作業時間」「作業場所」「作業理由」「作業内容」について把握していれば、改めて提出しなくてよいものとする。

(3) 水道技術管理補助者検査について

①工事が完成した時は、水道技術管理補助者による検査を受検すること。

第4章　施工管理

1.　品質管理

(1) 品質管理報告

広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき、品質管理を行い、現場作業の完了後、速やかに品質管理図表、各種試験成績図表を提出すること。

第5章　その他

1.　工事関係書類

⑴ 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。

⑵ 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2.　工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和７年８月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、1部とする。

3.　疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4.　施工計画書の記載事項の簡素化

(1) 本工事は、「施工計画書の記載事項の簡素化要領（平成30年12月1日制定）」により、施工計画書の記載内容を省略することが出来る。

(2) 施工計画書から記載を省略した事項については、あくまでも記載のみを省略したものであり、当該事項については各種法令等に則り受注者の責において適切に実施する必要がある。

5. 諸経費の積算

本工事の積算は、機械設備工事及び電気設備工事の積算基準に基づき算出している。諸経費についても、機械設備工事及び電気設備工事の積算基準に基づき算出し、それを合冊したものである。

令和７年度　施設更新（耐震化）事業
岩友ポンプ所ほか設備更新工事

特　記　仕　様　書

広島県水道広域連合企業団

東広島事務所

第１章　　総則

第1節 概要

第1条 まえがき

本仕様書は、水道施設更新工事の設計製作据付及び試運転に関する事項を示すものである。施工にあたり試運転が良好なる成績になる迄の責任施工とする。

第2条 概要

本工事は、水道施設（ポンプ所、配水池等）に設置された機器等を更新する工事を行うものである。

第3条 工事場所

広島県東広島市高屋町高屋東、溝口

第4条 準拠規定

本工事の設計並びに施工に対し、機器の製作、据付、配管工事は、本仕様書によるほか、下記の諸規定の最新版に準拠するものとする。

1. 日本産業規格（JIS）
2. 日本電機工業会規格（JEM）
3. 電気学会電気規格調査会標準規格（JEC）
4. 電気設備の技術基準の解釈（経済産業省）
5. 公共建築工事標準仕様書（一般社団法人 公共建築協会）
6. 水道施設設計指針（公益社団法人 日本水道協会）
7. 水道工事標準仕様（　　〃　　〃　　）
8. 日本水道協会規格（　　〃　　〃　　）
9. 労働安全衛生法及び同施行規則（厚生労働省）
10. その他関係法令及び基準等
11. 内線規程及び配線規程（電気技術基準調査委員会）
12. 広島県水道広域連合企業団東広島事務所　設計・施工指針

第5条 質疑

本仕様書並びに添付図面は、基本概要を示すものであるから質疑を生じた場合は協議の上、決定するものとする。

第6条 施工範囲

工事設計書に示す電気設備及び、付帯工事の設計、製作、据付並びに試運転迄の一切の工事を請負人は責任をもって施工するものとする。

第7条 工事の実施

請負人は、契約後速やかに監督職員と詳細な打ち合わせを行い工事に着手するものとし、打合せ記録は必要部数を提出すること。

第8条 保証

1. 設備工事の保証期間は、工事完成日より１ヶ年とする。
2. 工事完了後明らかに請負人の設計、製作の不備及び施工に基づくものと判断される故障が生じた時には、協議の上、係員の指示に従い請負人は速やかに無償にて修理又は取り替えを行うものとする。
   但し、天災、地変、不可抗力による事故又は取り扱い上の不注意による事故に対して、この限りではない。

第9条 承諾図

本仕様書ならびに添付図面に記載する事項は、主要なもののみを示すものであるから請負人は、契約後速やかに次の書類を提出して承諾を受けるものとする。

1. 機器配置図・配置配線図
2. 各機器結線図及び外形図（単線結線図，寸法を記入）
3. シーケンス・ブロック図等
4. 工程表
5. 製作仕様書
6. 各種検査成績表
7. 機器取扱説明書
8. その他必要なもの
9. 完成図書

承諾図は２部（返却用１部を含む）提出とする。

第2節 試運転及び検査

第1条 一般事項

1. 本設備に使用する機器は、関係規格によって製作し所定の試験に合格したものとする。
2. 機器の試験結果は全設備完成後各機器の試験成績をとりまとめ、完成図書に添付して提出すること。
3. 試験ならびに検査は、監督職員立会いのもとに請負人が行うことを原則とするが、監督職員が立会うことができない場合や汎用機器については、製作工場で試験を実施し、その成績表，性能試験表を提出するものとする。
4. 主要機器の工場検査並びに現地試験については、以下に記載するとおりとする。

第2条 工場試験並びに検査

1. 主要機器

(1) 構造検査

(2) 外観検査

(3) 性能検査

(4) 材料及び部品検査（材料試験成績書または規格証明書の提出で代えることができるものとする。）

(5) 塗装検査

(6) その他必要な試験検査

材料試験の必要なものに対しては試験片を採取し、JIS に基づいた試験を行って試験成績書を提出するものとする。

製造業者の規格証明書付のものについては原則として試験を省略し、証明書を提出し承諾するものとする。

2. 監督職員の立会い

(1) 工場製作品については監督職員の立会検査を原則とするが、監督職員が立ち会うことができない場合は、製作工場で試験を実施し、その成績表、性能試験表を提出するものとする。

(2) 汎用機器及び JWWA・JIS 等の規格品については監督職員の立会検査は実施せず、製作工場で試験を実施し、その成績表、性能試験表を提出するものとする。

3. その他打ち合わせによる。

第3条 現地試験並びに検査

現地据付完了後、下記の試験を行うものとする。

（1） 機器据付け外観検査

（2） 運転検査

（3） その他必要な検査

本検査によって欠陥が見出された時は、たとえ工場検査に合格していても良好と認められる状態になるまで補修又は取り替えを行うこと。

第4条 工事完了引渡し

前条の検査に合格した後、次の要領で完成検査を行う。

（1） 工事完了にあたり完成検査を受けるものとし、これに合格して受渡し完了とする。

（2） 完成検査を受ける場合、完成図書等を作成し、発注者に提出すること。なお、完成図書等は下記のものとする。

・完成図書　A4 版　2 部

（完成図、施工図、計算書、試験成績書、取扱説明書等を収納する。）

・完成図等電子データ（JWW ファイル、PDF ファイル）　1 部

・工事記録写真　1 部

第5条 その他

細部については、監督職員に指示を受けること。

第２章　　岩友ポンプ所（機械設備）

第1節 一般事項

第1条 概要

水道施設における給水ユニット更新に伴う機械設備工事を行うものである。

第2条 工事詳細

1. 第2節 第1条に記載する機器の製作、搬入、据付工事
2. 第3節に記載する複合工
3. 第4節に記載する撤去工
4. 第5節に記載する仮設工事
5. その他必要な諸工事及び諸手続

第2節 機器仕様

第1条 設備機器

本設備の機器構成は、下記の通りである。

1. 定水位弁	1 台
2. 給水ポンプユニット	1 式
3. 圧力タンク	1 基

第2条 機器仕様

1. 定水位弁

(1) 形式	定水位弁	
(2) 使用流体	上水	
(3) フランジ規格	JIS10K	
(4) 口径	80A	
(5) 材質	本体	CAC902　又は相当品
	カバー	CAC902　又は相当品
	軸・弁座	SUS　又は相当品
(6) 付属品	標準付属品	1式
	パイロット弁（ボールタップ）	1式
	その他必要なもの	1式
(7) 数量	1台	
(8) 特記事項		

2. 給水ポンプユニット

(1) 形式	推定末端圧力一定台数制御給水ユニット（インバータ方式）	
(2) 使用流体	上水	
(3) 機器構成	送水ポンプ	3台
	圧力タンク	2基
	制御盤	1面
(4) フランジ規格	吸込側　JIS10K	
	吐出側　JIS20K	
(5) 口径	吸込側　φ50　×3ヶ所	
	吐出側　φ80　×1ヶ所	
(6) 最大吐出量	0.51m³/分	
(7) 全揚程	110m	
(8) 電動機	3φ×200V×60Hz×11kW×3台	
(9) 運転方式	3台ローテーション・2台並列運転形	
(10) 材質	ケーシング	SUS304　又は相当品
	羽根車	SUS304　又は相当品
	軸	SUS304　又は相当品
(11) 付属品	標準付属品	1式
	インバータ	1式
	その他必要なもの	1式
(12) 数量	1式	
(13) 特記事項	駆動方式は「インバータ駆動」とする。 通常時は1台運転、消火時（最大吐出量時）は2台運転での運用とする。	

3. 圧力タンク

(1) 形式　　鋼板製圧力タンク

(2) 使用流体　　上水

(3) フランジ規格　　JIS20K

(4) 接続口径　　φ50

(5) タンク内容積　　200L

(6) 最高使用圧力　　1.1MPa 程度

(7) 材質　　本体　　SS400　又は相当品

(8) 付属品　　標準付属品　　1 式

その他必要なもの　　1 式

(9) 数量　　1 基

(10) 特記事項　　給水ポンプユニットの起動回数の抑制を目的とする。

第3条 配管類

1. 小配管

(1) 管種　　ステンレス鋼鋼管

(2) 使用流体　　上水

(3) 口径　　20A

(4) 数量　　下記に示す。

(5) 配管仕様

名称	材質	口径	施工範囲	配管被覆	参考数量
定水位弁周り 小配管	SUS304 sch40	20A	定水位弁 ～受水槽	無し	2.7m

2. 配管

(1) 管種　　ステンレス鋼鋼管

(2) 使用流体　　上水

(3) フランジ規格　　JIS10K、JIS20K

(4) 口径　　50A、80A

(5) 数量　　下記に示す。

(6) 特記事項　　給水ポンプユニット吸込側は JIS10K、吐出側は JIS20K を用いること。
製作管の場合は日水協検査合格品であること。

(7) 配管仕様

配管仕様（参考）	参考数量
2F 短管 SUS304 sch10s JIS10K 50A×362L	3 本
2F 短管 SUS304 sch10s JIS10K 80A×958L	1 本
2F 短管 SUS304 sch20s JIS20K 80A×719L	1 本
2F90° 曲管 SUS304 sch10s JIS10K 50A×142L×348L	3 本
2F90° 曲管 SUS304 sch10s JIS10K 80A×289L×150L	1 本
2F90° 曲管 SUS304 sch20s JIS20K 50A×117L×117L	1 本
2F90° 曲管 SUS304 sch20s JIS20K 80A×385L×182L	1 本
2F90° 曲管 SUS304 sch20s JIS20K 80A×182L×182L	1 本
3FT 字管 SUS304 sch10s JIS10K 80A×50A×300L×150H	2 本
3FT 字管 SUS304 sch10s JIS10K 80A×50A×594L×150H	1 本
3FT 字管 SUS304 sch20s JIS20K 50A×260L×130H	1 本
3FT 字管 SUS304 sch20s JIS20K 80A×50A×318L×120H	1 本

第4条 材料類

1. 仕切弁

(1) 形式	外ねじ式手動仕切弁
(2) 使用流体	上水
(3) フランジ規格	JIS10K、JIS20K
(4) 口径	50A
(5) 材質	弁箱・弁体　　FC200　又は相当品 弁棒　　SUS304　又は相当品
(6) 塗装	内面　エポキシ樹脂粉体塗装（厚さ 0.3㎜ 以上） 外面　エポキシ樹脂粉体塗装（メーカ標準）
(7) 数量	JIS10K 50A　3 個 JIS20K 50A　2 個
(8) 特記事項	給水ポンプユニット吸込側は JIS10K、吐出側は JIS20K を用いること。

2. ボール弁

(1) 形式	ねじ込み式ボール弁
(2) 使用流体	上水
(3) 口径	20A
(4) 材質	SUS
(5) 数量	3 個

3. 電磁弁

(1) 形式	ねじ込み式電磁弁
(2) 使用流体	上水
(3) 口径	20A
(4) 材質	SUS
(5) 数量	1 個

4. 玉形フレキ

(1) 形式	玉形フレキ
(2) 使用流体	上水
(3) フランジ規格	JIS10K、JIS20K
(4) 口径	50A、80A
(5) 数量	JIS10K 50A　3 個 JIS20K 50A　1 個 JIS20K 80A　1 個
(6) 特記事項	給水ポンプユニット吸込側は JIS10K、吐出側は JIS20K を用いること。

第3節 複合工

複合工について下記に記す。

名　　称	設置場所	数量	備　　考
給水ポンプユニット 基礎補修	ポンプ室	1ヶ所	鉄筋コンクリート
給水ポンプユニット 基礎一部はつり	ポンプ室	1ヶ所	鉄筋コンクリート

第4節 撤去工

第1条 撤去機器

撤去する機器について下記に示す。

名称	設置場所	仕様	数量	備考
定水位弁	ポンプ室	φ80	1台	再利用無し
給水ポンプユニット	ポンプ室	φ50×0.51m³/分 ×110m×11kW	1式	取外し後は、仮設ポンプとして再使用
圧力タンク	ポンプ室	200L	1基	再利用無し

第2条 撤去材料

撤去する材料について下記に記す。

名称	設置場所	仕様	数量	備考
流入管	ポンプ室	SUS 50A、80A	1式	一部仮設として再利用
吐出管	ポンプ室	SUS 50A、80A	1式	再利用無し
定水位弁周り配管	ポンプ室	SUS 20A	1式	再利用無し

第5節 仮設工事

岩友ポンプ所は周辺家屋への給水を行う施設であるため、工事期間中は仮設での運用を行い、ポンプ所機能停止期間を極力短くする必要がある。

本工事では既設給水ポンプユニット、及び今回工事で設置する給水ポンプユニットを屋外に設置し、仮設として運用する。

第1条 仮設設備機器

仮設で使用する機器は、下記の通りである。

1. 既設給水ポンプユニット　　1式
2. 本設給水ポンプユニット　　1式
3. 仮設ポンプ室　　1式

第2条 仮設機器仕様

1. 仮設ポンプ室

(1)	形式	物置
(2)	参考寸法	3.05mW×2.63mD×2.33mH
(3)	材質	本体　SS400　又は相当品
(4)	付属品	標準付属品　1式 その他必要なもの　1式
(5)	数量	1式
(6)	特記事項	給水ポンプユニット(参考寸法:1350W×1050D×1400H)が格納できること。 床の無いものとする。 入口は全面シャッタータイプとする。

第3条 仮設配管類

1. 小配管

(1) 管種　　水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP）

(2) 使用流体　　上水

(3) 口径　　φ75

(4) 数量　　下記に示す。

(5) 配管仕様

名称	材質	口径	施工範囲	配管被覆	参考数量
仮設流入管	HIVP	φ75	受水槽 ～給水ポンプ ユニット	無し	11.1m

2. 配管

(1) 管種　　配管用炭素鋼管（SGP-VB）

(2) 使用流体　　上水

(3) フランジ規格　　JIS20K

(4) 口径　　80A

(5) 数量　　下記に示す。

(6) 配管仕様

配管仕様（参考）	参考数量
2F 短管 SGP-VB JIS20K 80A×521L	1 本
2F 短管 SGP-VB JIS20K 80A×565L	1 本
2F 短管 SGP-VB JIS20K 80A×698L	1 本
2F 短管 SGP-VB JIS20K 80A×1000L	6 本
2F90° 曲管 SGP-VB JIS20K 80A×182L×182L	2 本
2F90° 曲管 SGP-VB JIS20K 80A×568L×182L	1 本

第6節 工事計画

岩友ポンプ所の運用に支障がないよう工事を行う必要がある。

ポンプ所機能停止期間が極力短くなるよう、下記の工事手順を参考に工事計画書を作成し、監督員の了承を持って現地工事を行うものとする。

第1条 工事手順（参考）

（1）仮設ポンプ室設置
（2）定水位弁更新（更新中は一時断水）
（3）今回設置する給水ポンプユニットを仮設ポンプ室に設置
　仮設配管布設（配管切替時断水）
　圧力タンク更新
（4）既設給水ポンプユニット取外し（取外し後は倉庫にて一時保管）
（5）給水ポンプユニット基礎補修
（6）保管していた既設給水ポンプユニットを屋外に設置
（7）今回設置する給水ポンプユニットを屋内へ移設
　（移設期間中は屋外給水ポンプユニットを運用、配管切替時断水）
（8）試運転
（9）屋外給水ポンプユニットを撤去

第2条 特記事項

（1）仮設期間中の騒音については、工事の中で対応すること。

第３章　　重兼配水池（電気設備）

第１節　　一般事項

第１条　概　　要

水道施設における電気設備及び計装設備の更新工事を行うものである。

また、遠方監視の入出力項目変更に伴う遠方監視装置設備の機能増設工事を行う。

第２条　工事詳細

１．　第２節　第１条に記載する機器の製作、搬入、据付工事。

２．　第２節　第１条に記載する機器間の動力ケーブル及び制御・計測ケーブルの配線・配管工事。

３．　第３節に記載する撤去工事。

４．　第４節に記載する複合工事。

５．　試験、調整

６．　その他必要な諸工事及び諸手続

第２節　　機器仕様

第１条　設備機器構成

１．	引込開閉器盤	１面
２．	配水池計装盤	１面
３．	残留塩素測定盤	１面
４．	残留塩素計	１台
５．	配水流量計	１台
６．	配水池水位計	１組
７．	吊下げ式水中電極	１組
８．	遠方監視装置機能増設	１式

第２条　機器仕様

１．　引込開閉器盤

(1)　数　　量　　１　面

(2)　形　　式　　屋外装柱形（屋根付防水）

(3)　概略寸法　　W500×H1000×D200

(4)　盤内収納品　　電力量計(電力会社取付)
配線用遮断器×1 式
（2P 50AF×1）
漏電用遮断器×1 式
（2P 50AF×1）
単相電源用 SPD（クラスⅠ）×１台
その他必要なもの×1 式

(5)　盤面取付品　　名称銘板×1式
　　のぞき窓×1
(6)　主要部材質　　SUS製
(7)　付　属　品　　装柱金具×1式
(8)　そ　の　他　　計器の取付高さはGL+1.8mとする。ただし、工事上やむを得ない場合は1.8m以上2.2m以下の高さとすることも可能。（取付高さは、計器の液晶表示を基準とする。）

２．　配水池計装盤
(1)　数　　量　　１　面
(2)　形　　式　　屋外自立前面扉形
(3)　概略寸法　　W800×H2300×D800
(4)　盤面取付品　　名称銘板×1式
　　集合表示窓×1式
　　水位計×1
　　流量計×1
　　残留塩素計×1
　　操作スイッチ(2点用)×1
　　押釦スイッチ×1
　　その他必要なもの×1式
(5)　盤内収納品　　配線用遮断器×1式
　　（2P 50AF×1、30AF×8）
　　漏電用遮断器×1式
　　（2P 30AF×3）
　　単相電源用SPD（クラスⅡ）×１台
　　補助継電器×1式
　　警報設定器×1式
　　アイソレータ×1式
　　ディスタリビュータ×1式
　　計器用SPD×1式
　　盤内照明灯及びスイッチ×１式
　　盤内配線及び中継端子台×１式
　　その他必要なもの×1式
(6)　主要部材質　　SUS製
(7)　特　　記
　　配水池計装盤を固定するボルトについては、耐震性を有し、
　　監督職員の了解のもと機器設置を行うこと。

３．　残留塩素測定盤

(1)　数　　量　　１　面

(2)　形　　式　　屋外自立前面扉形

(3)　概略寸法　　W800×H1850×D800

(4)　盤面取付品　　名称銘板×1 式

　　その他必要なもの×1 式

(5)　盤内収納品　　残留塩素計×1 式

(6)　主要部材質　　SUS 製

(7)　特　　記

残留塩素測定盤を固定するボルトについては、耐震性を有し、監督職員の了解のもと機器設置を行うこと。

４．　残留塩素計

(1)　数　　量　　１　台

(2)　形　　式　　無試薬式

(3)　測定方法　　ポーラログラフ法

(4)　流体仕様　　上水

(5)　測定範囲　　0～2mg/L

(6)　出力信号　　DC4～20mA

(7)　電　　源　　AC100V

(8)　主要部材質　　メーカ標準

(9)　取付方法　　スタンド形

(10) 付 属 品　　取付用金具等×1 式

　　小配管・弁類×1 式

　　その他必要品

５．　配水流量計

(1)　数　　量　　１　台

(2)　形　　式　　電磁式

(3)　流体仕様　　上水

(4)　検出器

1)測定範囲　　0～200m3/h

2)口　　径　　200A

3)防水構造　　防侵型以上（IP 表示する）

4)材　　質　　電極 SUS316L 相当

5)フランジ規格　　10K

(5)　付属品

1)専用ケーブル　　40m 程度

2)その他必要品

６．　配水池水位計

(1)　数　　量　　１　組

(2)　形　　式　　投込式

(3)　流体仕様　　上水

(4)　検 出 器

1）測定範囲　　0～6m

(5)　変 換 器

７．吊下げ式水中電極

(1)　形　　式　　吊下げ式水中電極

(2)　数　　量　　１　組

(3)　ケーブル長　　5　m

(4)　主要部材質　　電極部：SUS304 相当

接続部：黒色塩化ビニール樹脂

(5)　付属品　　その他必要品

８．遠方監視装置機能増設

(1)　機能増設工事内容

①配水池計装盤更新に伴い、既設伝送装置に中央監視装置への監視情報、中央監視装置からの操作情報を追加及び変更するために必要な(ハードウェア・ソフトウェア)機能増設工事

(入出力点数は下記に示す)　　1 式

入出力点数：入出力点数表参照

②NTT フレッツ VPN のプラン「プラン 100」を使用して監視制御、運転操作をするために必要な機能増設工事　　1 式

③その他必要な工事　　1 式

第３節　　撤去機器

１．　引込開閉器盤　　１面

２．　重兼配水池遠方監視装置盤（装柱形）　　１面

３．　配水池計装盤　　１面

４．　配水残留塩素測定盤　　１面

５．　残留塩素計　　１面

撤去機器に伴う動力ケーブル及び制御・計測ケーブルの配線・配管撤去工事

第４節　　複合工事

以下内容の複合工事を行う。

名　　称	設置場所	数量	備　　考
FEP 埋設配管工事	屋外	１式	
接地極埋設工事	屋外	１式	
盤基礎築造工事	屋外	１式	

第４章　　水道監視システム工事

第１節　工事概要

本工事は、重兼配水池の水道監視システム工事である。

第２節　工事範囲

施設更新（耐震化）事業　岩友ポンプ所ほか設備更新工事における水道監視システム工事の範囲は、「東広島事務所の既設監視制御装置機能増設」「重兼配水池の遠方監視装置盤機能増設」である。

「東広島事務所の既設監視制御装置機能増設」は、東広島事務所３階中央監視室に設置されている監視制御装置に機能増設を行うものである。

「重兼配水池の遠方監視装置盤機能増設」は、重兼配水池に設置されている伝送装置に機能増設を行うものである。

第３節　既設監視制御装置機能増設及びポンプ所監視制御装置機能増設

東広島事務所３階中央監視室の既設監視制御装置、重兼配水池の既設伝送装置の機能増設により、既設監視制御装置に重兼配水池の監視情報を取り込むものである。追加及び変更する項目は、第３章　第２節　第２条　８のとおりとする。また、機器特記仕様は次のとおりである。

第1項　東広島事務所監視制御装置機能増設工事

(1)監視制御装置

(1)-1 機能増設工事内容

①今回既設監視制御装置にポンプ所の監視情報を追加及び変更するために必要な(ハードウェア・ソフトウェア)機能増設工事

(入出力点数は下記に示す)　　１式

入出力点数：入出力点数表参照

(入出力点数は記載点数の 20%の予備点数を見込むものとする)

②NTT フレッツ VPN のプラン「プラン 100」を使用して監視制御するために必要な機能増設工事　　１式

③その他必要な工事　　１式

(1)-2 既設監視制御装置の構成機器

①監視制御装置（通信装置含む)

形　　式：コンソール型　　１式(4 台)(内 1 台予備)

②情報収集装置（Web 用･汎用 PC 装置)

形　　式：コンソール型　　１式

(1 台:3 階中央監視室･1 台:2 階事務室)

③監視制御ソフトウェア　　1式
④音声通報装置　　1式

［以降は既設設備の仕様である。今回の機能増設に対しても同様の機能となるようにすること。］

第4節　機器特記仕様

既設監視制御装置の機器特記仕様は次のとおりである。今回の機能増設に対しても同様の機能とする。

第1項　共通事項

1)全般的事項

(1)監視制御装置の監視操作用画面の画面リフレッシュタイムは、1秒以内とする。

(2)監視制御装置の監視操作用画面で切換操作を行ったときのレスポンスタイムは、3秒以内とする。

(3)監視制御装置の監視操作画面、監視・制御・操作方法などは、安全性、安定性及び信頼性の向上を求めるものであり、構築段階で最適な監視制御ができる構築を行うものとする。また、最適な操作性の向上のために、現地デモなどを行い、柔軟な対応を行うものとする。

(4)監視制御装置及び設備のハードウェア及びソフトウェアは汎用化及びオープン化が可能なものとし、機器の製造業者及び関連会社以外の第三者であったとしても、機器の購入が可能で、取扱説明書、講習会などの受講により装置及び設備の構築が行え、更新工事後の修繕工事、拡張工事及びメンテナンスにおいても、機器の製造業者とその関連会社及び本工事の請負業者以外でも施工が可能なものとする。(既設ソフトウェアは、エムシステム技研製SCADALINXである。)

(5)水道監視システムの親局と子局は通信言語に合わせ、インターフェイス装置などが必要のない設備とする。

(6)長時間の連続運転に耐えられるものとする。

2)監視制御装置画面

(1)監視制御装置の画面の修正や監視項目の追加修正などは、発注者でも容易に変更が可能なものとする。

(2)監視制御装置の監視操作用画面の階層構成は、出来る限り単純なものとする。

(3)施設別画面では機器の状態表示を行い、可能な限り、各種設定（流量、率、上下限等）を表示する。異なる施設でも設定方法には一貫性をもたせるものとする。

(4)監視制御装置の画面は、複数の画面(運転・操作履歴画面とトレンド、複数水道施設のトレンドなど)を重ねて表示できるものとする。

第２項　共通事項

東広島事務所３階中央監視室の既設監視制御装置は、次の監視制御機器などで構成されている。今回の機能増設に対しても同様の機能とする。

(1)監視制御装置

東広島事務所３階の中央監理室において東広島事務所が所管する水道施設の監視制御を行うためのマンマシンインターフェイス装置であり、サーバ装置、ディスプレイなどにより構成する。

(2)制御用LAN及び情報用LAN(ネットワーク)

東広島事務所３階の中央監理室の監視制御設備用の制御に利用する制御用LANの二重化のネットワークにより構成する。尚、情報用LANは二重化のネットワークは行わないものとする。

(3)通信装置

水道施設全体の監視制御のための信号の授受を行う装置であり、信号の授受装置により構成する。

(4)汎用ミニUPS(電源分岐盤含む)

東広島事務所３階の中央監視室の機器などへの電源供給用の分岐盤で、中央監視室に設置する汎用ミニUPSから電源供給を行うものである。

第３項　構築条件

東広島事務所３階の中央監視室の既設監視制御装置は、次の条件で構築されている。今回の機能増設に対しても同様の機能とする。

(1)監視制御装置などが停電などにより停止した場合、復電後、自動的に監視制御を始動できる機能をもたせるものとする。

(2)監視制御システムのハードウェア及びソフトウェアの柔軟性のある拡張、増設、改良および修繕ができるものとする。

(3)既存の管理報やトレンドグラフ、データ修正内容などのデータは全て新規の内容などとして、一元化を行うものである。

(4)東広島事務所３階中央監視室に設置する親局のルータは常用、予備の二重化とする。また、子局のルータは全て同一の能力とし、予備として、二台を東広島事務所にて保管するものとする。

(5)切換期間中において、既設監視制御装置から新設監視制御装置に水道施設ごとに完全移行し、運転管理に支障をおこさないものとする。

(6)監視装置の汎用PC(Web監視装置)は東広島事務所２階事務室と３階中央監視室の２箇所に設置し、同様の内容が監視できるものとする。

(7)各水道施設停電時でも、10分以上は水道施設の状態を把握できるよう、バックア

ップ電源を設置するものとする。

(8)基本ソフトウェア OS が変わってもソフトウェアは柔軟に対応が可能となる監視制御装置とする。

(9)サーバなどが故障しても、メディアなどのバックアップにより、任意の PC で復旧が可能なものとする。

(10)複数の水道施設の運転水位、警報水位を 1 つの画面で管理できるものとし、その値を変更することにより、他画面(設備運転監視画面、トレンドグラフなど)への反映ができるものとする。

(11)既存サーバ装置に既存以上の負荷をかけないようにするため、東広島事務所 3 階にテレメータの子機等を設置し、テレメータ側で演算させること。

第 4 項　機器共通仕様

東広島事務所 3 階の中央監視室にある既設監視制御装置の機器などの共通仕様は、次のとおりである。今回の機能増設に対しても同様の機能とする。

(1)基本ソフトウェアは Windows 10 以降の汎用をベースとするが、将来の変化にも柔軟に対応が可能なものとする。また、監視制御システムのソフトは汎用 SCADA を使用する。

(2)サーバ及び汎用パソコンは、汎用 OA パソコンを使用する。

(3)制御系 LAN 及び情報系 LAN はバス方式の 100Mbps　Ethernet 以上とする。

(4)監視制御システム用電源：電圧、AC100V±10%、周波数は 60Hz±3Hz

(5)周囲温度：5～40℃

(6)湿度：20～80%(ただし、結露しないこと)

第 5 項　機器機能仕様

東広島事務所 3 階の中央監視室にある既設監視制御装置の機器などの機器機能仕様は、次のとおりである。今回の機能増設に対しても同様の機能とする。

1)基本機能

(1)監視機能

①計測

水量、水位、水圧、電圧、電流、残留塩素濃度、濁度などを計測し表示する。

②設備運転監視画面

数値、バー表示、指示計シンボル及び調節計シンボルなどの形式で監視対象データを 1 画面中に並べて表示し，計測値の監視が容易にできるものとする。また、主要機器ごとに簡単なメッセージを表示する。各設備について、構成機器のシンボルから成る系統図などを示すグラフィック画面を表示し、構成機器の状態、警報をシンボルの色変化、点滅などで表示するものとする。尚、原則と

して、グラフィック画面は、水道施設1箇所に画面数は2画面以上とする。

③運転・操作履歴

履歴は5,000件程度保持できるものとする。また、履歴は過去にさかのぼって検索表示できるものとする。尚、水道施設ごと、操作内容ごとに仕分けができるものとする。

④警報監視

計測値について設定した上下限値，偏差を逸脱したときや機器に異常が発生した時は，表示装置に表示し，警報を発報するものとする。異常発生項目を時系列に表示し，発生した警報200項目程度を保持できるものとする。また、警報及びメッセージは過去にさかのぼって検索表示できるものとする。尚、水道施設ごと、時間ごと、故障重要度などの条件によりメッセージの仕分けができるものとする。現地からの警報信号とは別に任意に設定した値に達した際に、警報を発報できるものとする。この警報については、水道施設ごと、警報内容ごとにメッセージ表示や発報の有無を任意に設定できるものとし、発報先についても任意に設定できるものとする。水道施設異常の際、東広島事務所2階事務室において警報表示及び鳴動発報できるものとする。

⑤調整画面

指示調節計などの各種演算係数及びパラメータの表示及び設定変更ができるものとする。

⑥トレンド記録

・各種計測値のトレンドを記録し，画面表示できるものとする。
・時間軸及び表示範囲は任意に設定できるものとする。
・複数水道施設の特定の情報や任意の別の日のグラフを重ねて表示し、比較できるものとする。
・グラフの縦軸の目盛を全てのグラフ分表示できるものとする。
・グラフ上にポンプ正常運転範囲などのラインを任意に設定でき、正常運転であることを容易に確認できるものとする。（配水池の運転水位、警報水位などのラインを表示）
・ポンプの運転状況、弁の開閉のタイミングなどが判るよう、デジタルデータについても表示できるものとする。
・クリックなどの簡単な操作で項目ごとの表示の有無を個別に設定できるものとする。
・各水道施設共、同一項目は同色で表示するものとする。

⑦ITV監視

特定の水道施設に設置されているITVの遠方監視及び操作ができるものとする。（スマートホン、タブレット端末などによる操作も含む）

⑧画面表示

各種画面が画面展開キー、ファンクションキーにて画面展開ができるものとする。また、表示されている画面はハードコピーとしてカラー印刷できるものとする。

⑨監視画面操作

重要な操作は，誤操作を防止するために二挙動操作とする。

⑩データ保存機能

・1 分データは 1 年以上、1 時間データは 5 年間以上を蓄積できるものとする。

・一定期間のデータをまとめて外部出力媒体に保存できるものとし、保存したデータから再度、トレンド、帳票画面に表示できるものとする。

(2)制御機能

①プロセス量の連続制御機能

プロセス量の制御に関して、フィードバック制御、PID 制御動作、比例動作、PID パラメータセルフチューニング、フィードフォワード、カスケード接続などの機能を有するものとする。

(3)演算制御機能

①データ演算

加算、乗算、除算、平均値、開平、指数、折れ線関数、一次遅れ、微分、積分、移動平均などの機能を有するものとする。

②論理演算

AND、OR、NOT などの論理演算ができるものとする。

③シーケンス制御機能

AND、OR、NOT、各種タイマーなどの機能を有し、工程制御シーケンスやインターロックシーケンスを実行できるものとする。

④機能パッケージ

上記各機能はパッケージ化され、これらを組み合わせて種々の制御ループが容易に構築できるものとする。

(4)帳票機能

帳票プリント出力帳票を所定の書式で印刷できるようにする。

(5)エンジニアリング

グラフィック作成機能 プラントのフロー図，設備及び機器の監視画面、表形式画面及び設定画面を作成できるものとする。

(6)システム

①システム監視

自己診断、通信系及び周辺機器の動作の確認ができるものとする。

②ログ機能

警報発生履歴、システムの操作、動作記録を外部出力媒体に保存できるものとする。

③拡張性

プラントの増設に伴い、柔軟に対応できるものとする。

2)機能詳細

(1)帳票機能

①日報，月報，年報の定時自動作成を行うものとする。

②帳票を任意に作成編集できるものとする。(比較したい項目を任意に設定)

③任意のログ記録（操作履歴、アラーム履歴）の抽出、印字ができるものとする。

④帳票データを汎用データベースに蓄積し、データ項目間演算ができるものとする。(日報データは1年以上、月報・年報は5年以上)

⑤データのバックアップ機能を有するものとする。

(2)操作機能

監視装置、信号処理装置に対する以下の機能を有するものとする。

①システム構築機能

②通信設定機能

③グラフィック作成機能

④メッセージ作成機能

⑤収集データの演算，加工機能

⑥帳票手動印字機能

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
設備工（機器費）		式		1	レベル1
ポンプ設備工		式		1	レベル2
ポンプ設備工		式		1	レベル3
設計技術費対象		式		1	レベル4
＊＊機器費＊＊					
設備工		式		1	レベル1
ポンプ設備工		式		1	レベル2
材料費		式		1	レベル3
直接材料費		式		1	レベル4
補助材料費		式		1	レベル4
労務費		式		1	レベル3
一般労務費		式		1	レベル4
機械設備据付労務費		式		1	レベル4
複合工費		式		1	レベル3
基礎工		式		1	レベル4
直接経費		式		1	レベル3
機械経費		式		1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
仮設費		式		1	レベル3
仮設材料費		式		1	レベル4
仮設労務費		式		1	レベル4
仮設複合工費		式		1	レベル4
＊＊直接工事費＊＊					
準備費					
準備費		式		1	レベル2
準備費		式		1	レベル3
準備費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
据付間接費					
＊＊据付工事原価＊＊					
設計技術費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分額					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
契約保証費					
＊＊一般管理費計＊＊					
＊＊工事価格計＊＊					
消費税相当額					
＊＊請負工事費計＊＊					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
設備工（機器費）		式		1	レベル1
電気設備工		式		1	レベル2
電気設備工		式		1	レベル3
設計技術費対象		式		1	レベル4
＊＊機器費＊＊					
設備工		式		1	レベル1
電気設備工		式		1	レベル2
材料費		式		1	レベル3
直接材料費		式		1	レベル4
補助材料費		式		1	レベル4
労務費		式		1	レベル3
一般労務費		式		1	レベル4
技術労務費		式		1	レベル4
複合工費		式		1	レベル3
盤基礎工		式		1	レベル4
土工		式		1	レベル4
直接経費		式		1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
機械経費		式		1	レベル4
仮設費		式		1	レベル3
＊＊直接工事費＊＊					
準備費					
準備費		式		1	レベル2
準備費		式		1	レベル3
準備費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
据付（技術者）間接費					
据付（機　器）間接費					
＊＊据付工事原価＊＊					
設計技術費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分額					
＊＊一般管理費計＊＊					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
＊＊工事価格計＊＊					
消費税相当額					
＊＊請負工事費計＊＊					

図面リスト

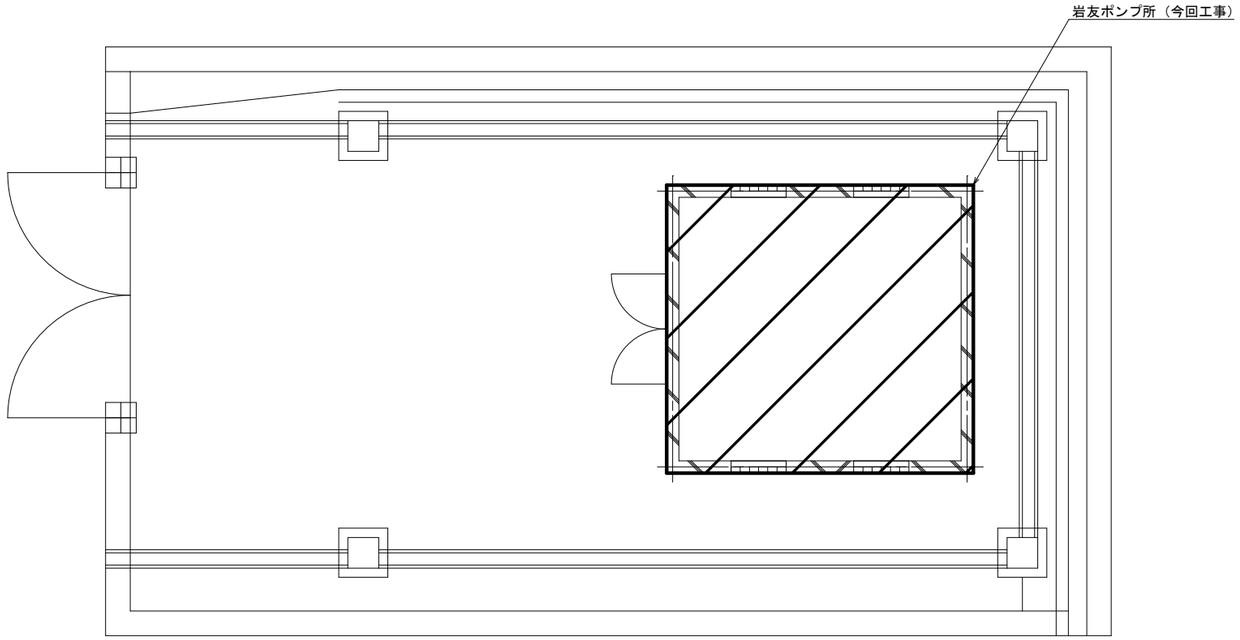
工事種別	図面番号	図面名称	縮尺
機械設備工事	PM-1	岩友ポンプ所 一般平面図	1/50
	PM-2	岩友ポンプ所 更新フローシート	NON
	PM-3	岩友ポンプ所 更新平断面図	1/30
	PM-4	岩友ポンプ所 撤去フローシート	NON
	PM-5	岩友ポンプ所 撤去平断面図	1/30
	PM-6	岩友ポンプ所 仮設参考図	1/50,1/20

工事種別	図面番号	図面名称	縮尺
電気設備工事	PE-1	システム構成図（1）	NTS
	PE-2	システム構成図（2）	NTS
	PE-3	岩友ポンプ所 一般平面図	1/50
	PE-4	岩友ポンプ所 計装フローシート	NTS
	PE-5	岩友ポンプ所 単線結線図	NTS
	PE-6	岩友ポンプ所 配置配線図	1/50
	PE-7	岩友ポンプ所 配線系統図	NTS
	PE-8	岩友ポンプ所 配置配線図（撤去）	1/50
	PE-9	岩友ポンプ所 配線系統図（撤去）	NTS
	PE-10	重兼配水池 一般平面図	1/100
	PE-11	重兼配水池 計装フローシート	NTS
	PE-12	重兼配水池 単線結線図	NTS
	PE-13	重兼配水池 機器姿図	1/10
	PE-14	重兼配水池 配置配線図	1/100
	PE-15	重兼配水池 配線系統図	NTS
	PE-16	重兼配水池 基礎図	1/10
	PE-17	重兼配水池 単線結線図（撤去）	NTS
	PE-18	重兼配水池 配置配線図（撤去）	1/100
	PE-19	重兼配水池 配線系統図（撤去）	NTS

工事種別	図面番号	図面名称	縮尺

岩友ポンプ所 一般平面図

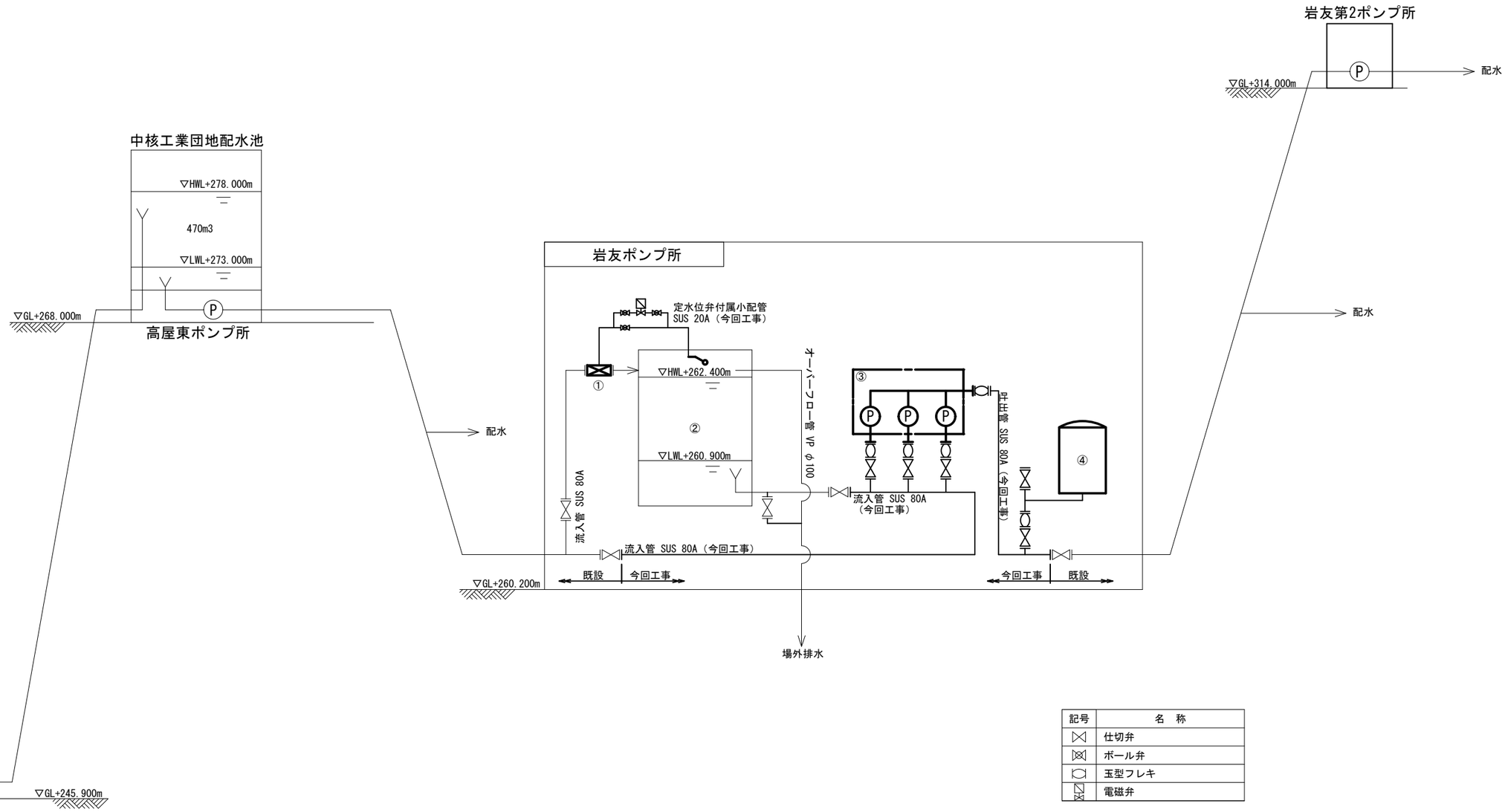
S=1/50



（注）▨ 部は今回工事範囲を示す。

図面番号	PM-1	縮尺	1/50
工　　種	令和7年度 施設更新（耐震化）事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種　　別	岩友ポンプ所 一般平面図		
工事箇所	東広島市高屋町高屋東554-5		
広島県水道広域連合企業団　東広島事務所			

岩友ポンプ所 更新フローシート



記号	名　称
⋈	仕切弁
⋈	ボール弁
⬡	玉型フレキ
⧄	電磁弁

（注1）▭ 部は今回工事範囲を示す。
（注2）定水位弁付属のパイロット弁、電磁弁、
　　及び小配管類は更新とする。
（注3）配管は全てステンレス鋼鋼管とし、
　　フランジ規格はポンプ一次側でJIS10K sch10s、
　　ポンプ二次側でJIS20K sch20sとする。

機器仕様一覧

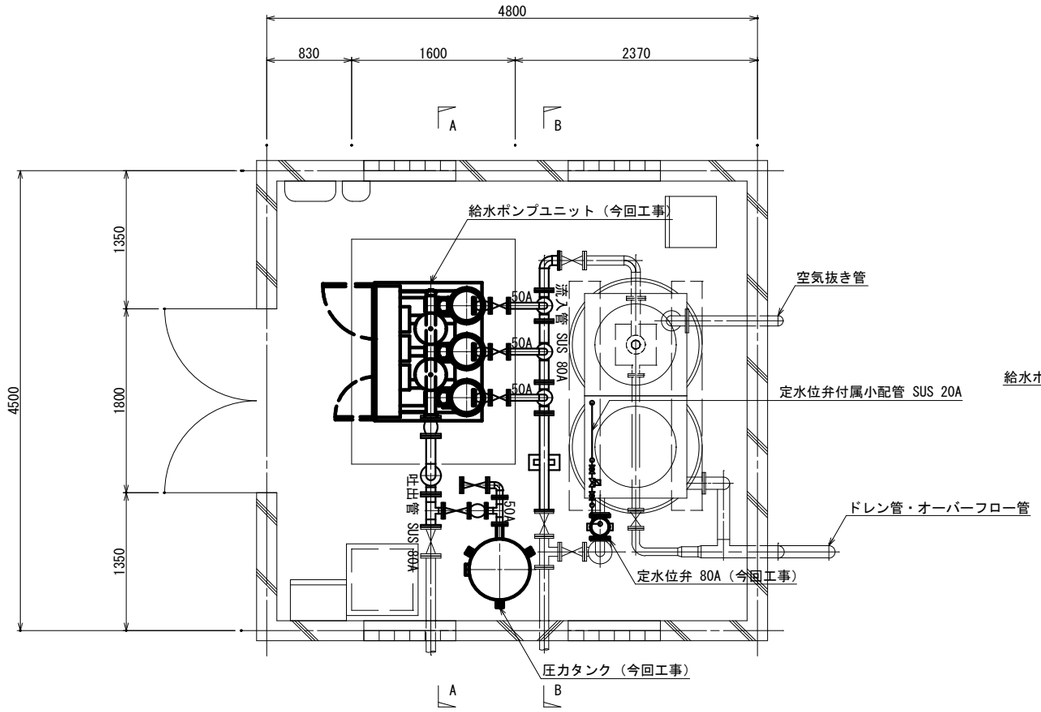
番　号				①			②			③			④		
機器名称				定水位弁			受水槽			給水ポンプユニット			圧力タンク		
形　式				定水位弁			SUS製パネルタンク			給水ユニット			鋼製円筒立形		
機器仕様				80A			有効容量 2m3			φ50×0.51m3/分×110m			200L		
電動機出力				—			—			11kW			—		
数量	既設	撤去	全体	1	1	1	1	—	1	1	1	1	1	1	1
備　考				パイロット弁　1式						給水ポンプ　3台 圧力タンク　2基 制御盤　1面					

図面番号	PM-2	縮尺	NON
工　種	令和7年度 施設更新（耐震化）事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種　別	岩友ポンプ所　更新フローシート		
工事箇所	東広島市高屋町高屋東554-5		
広島県水道広域連合企業団　東広島事務所			

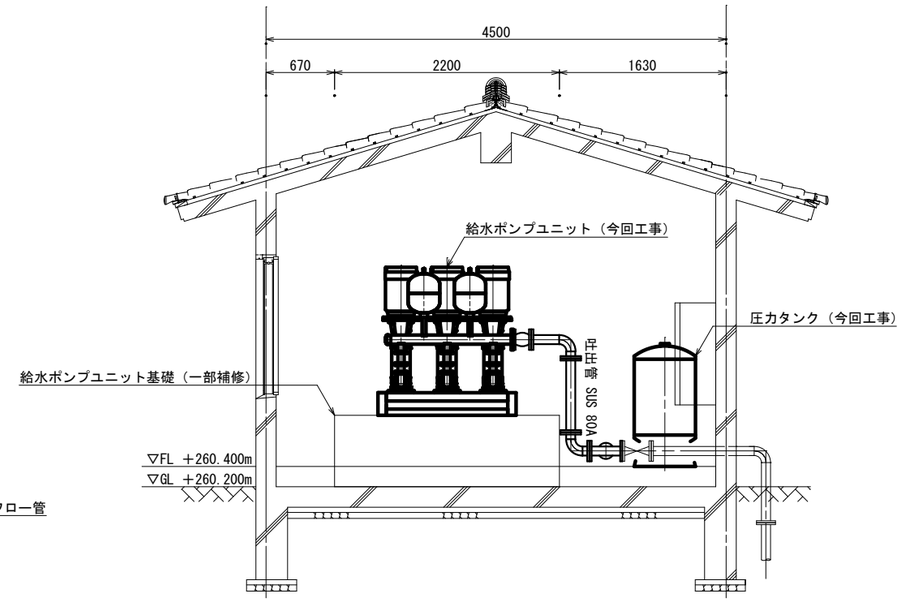
岩友ポンプ所 更新平断面図

S=1/30

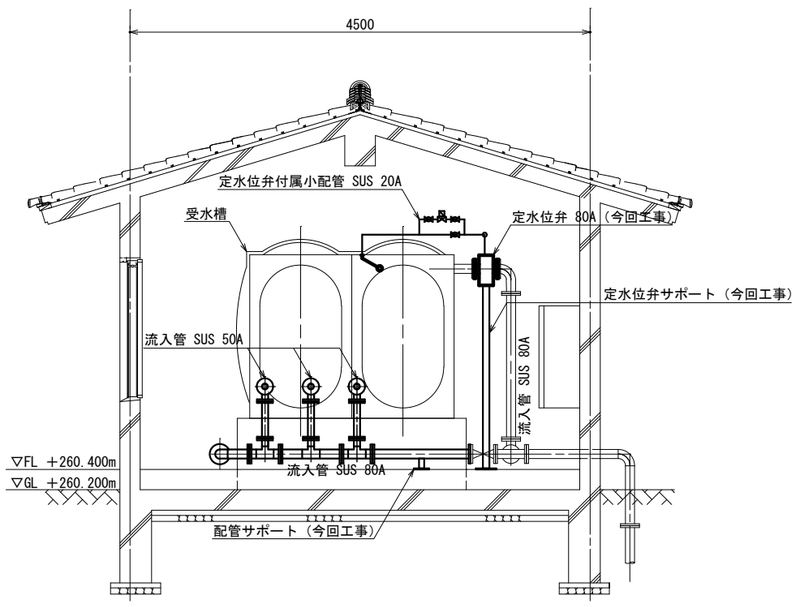
平面図



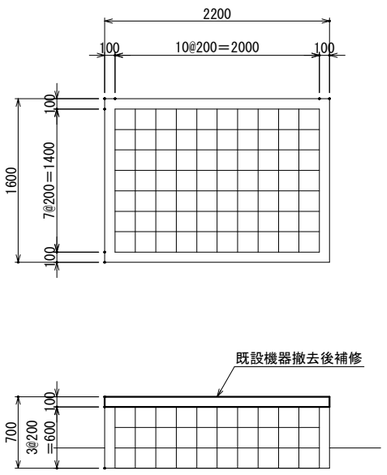
A-A断面図



B-B断面図

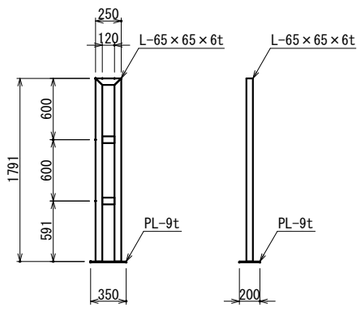


給水ポンプユニット基礎図



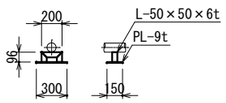
定水位弁サポート参考図

1個



配管サポート参考図

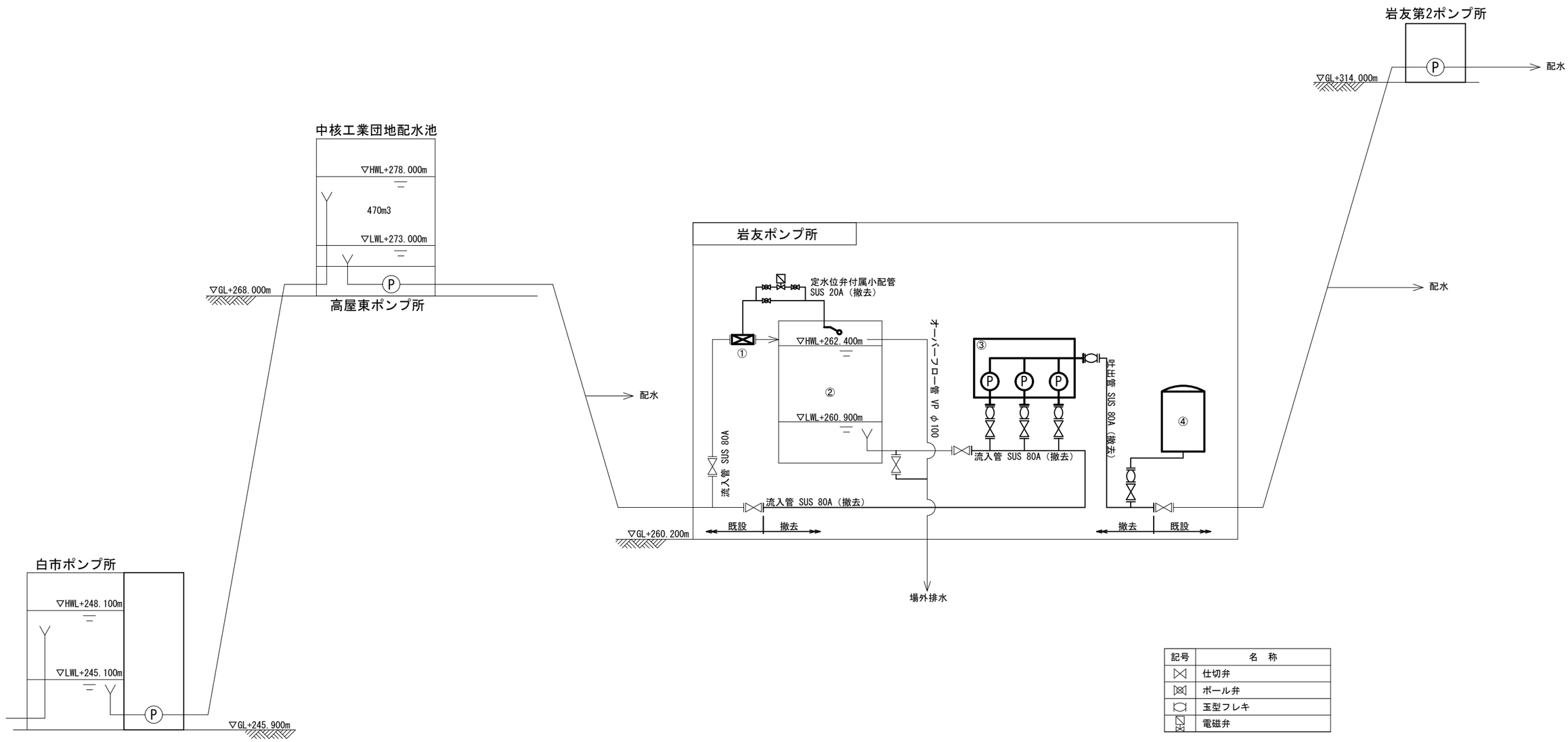
1個



（注1）□部は今回工事範囲を示す。
（注2）定水位弁付属のパイロット弁、電磁弁、
　　及び小配管類は更新とする。
（注3）給水ポンプユニット基礎は、機器撤去後に
　　補修を行い、今回機器の基礎として使用する。
（注4）配管は全てステンレス鋼鋼管とし、
　　フランジ規格はポンプ一次側でJIS10K sch10s、
　　ポンプ二次側でJIS20K sch20sとする。
（注5）鋼材は全てSUS製とする。

図面番号	PM-3	縮尺	1/30
工　種	令和7年度 施設更新（耐震化）事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種　別	岩友ポンプ所 更新平断面図		
工事箇所	東広島市高屋町高屋東554-5		
広島県水道広域連合企業団　東広島事務所			

岩友ポンプ所 撤去フローシート



記号	名　称
⋈	仕切弁
⊠	ボール弁
⬡	玉型フレキ
⊠	電磁弁

機器仕様一覧

番　号				①			②			③			④		
機器名称				定水位弁			受水槽			給水ポンプユニット			圧力タンク		
形　式				定水位弁			SUS製パネルタンク			給水ユニット			鋼製円筒立形		
機器仕様				80A			有効容量 2m3			φ50×0.51m3/分×110m			200L		
電動機出力				—			—			11kW			—		
数量	既設	撤去	全体	1	1	1	1	—	1	1	1	1	1	1	1
備　考				パイロット弁　1式						給水ポンプ　3台 圧力タンク　1基 制御盤　1面					

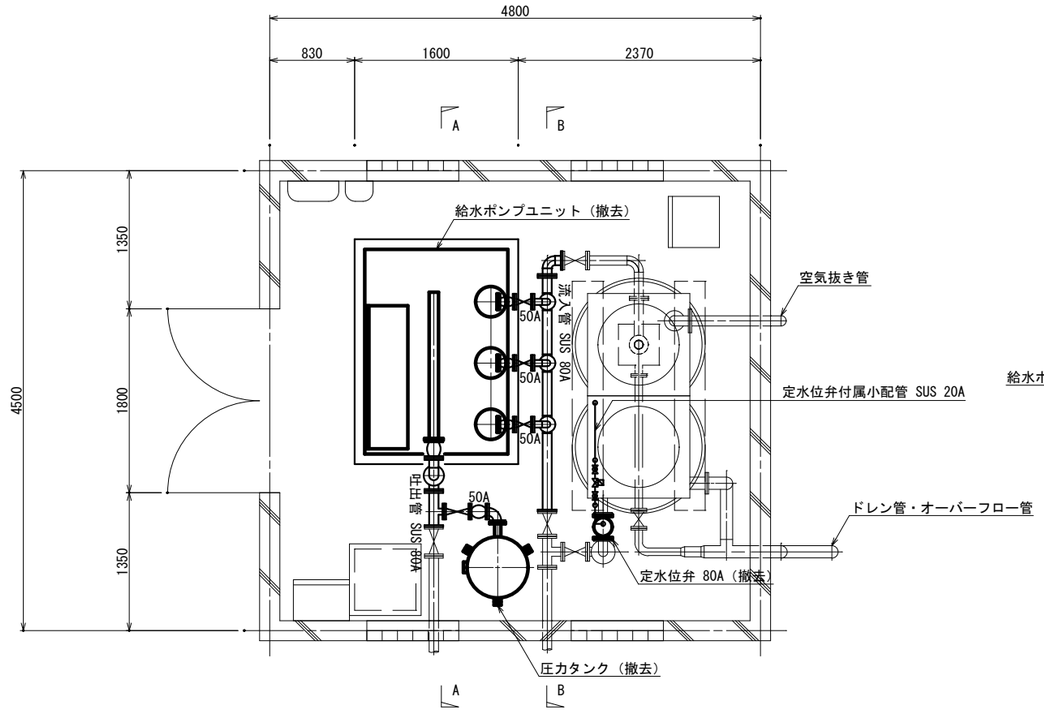
（注）□ 部は今回工事範囲を示す。

図面番号	PM-4	縮尺	NON
工　種	令和7年度 施設更新（耐震化）事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種　別	岩友ポンプ所　撤去フローシート		
工事箇所	東広島市高屋町高屋東554-5		
広島県水道広域連合企業団　東広島事務所			

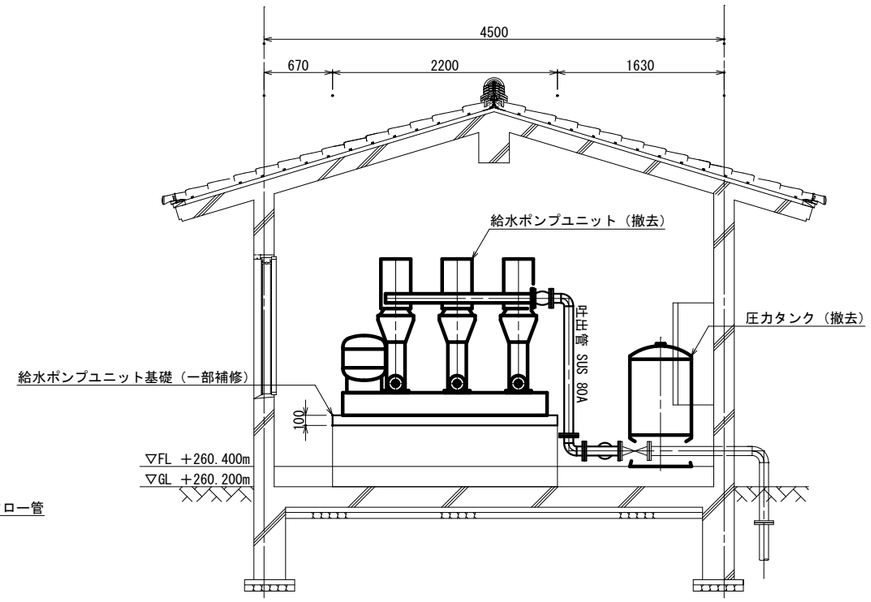
岩友ポンプ所 撤去平断面図

S=1/30

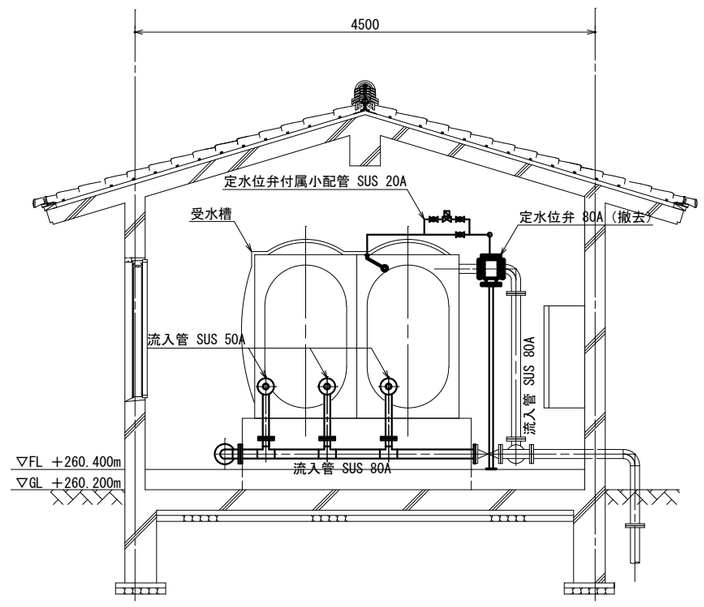
平面図



A-A断面図



B-B断面図



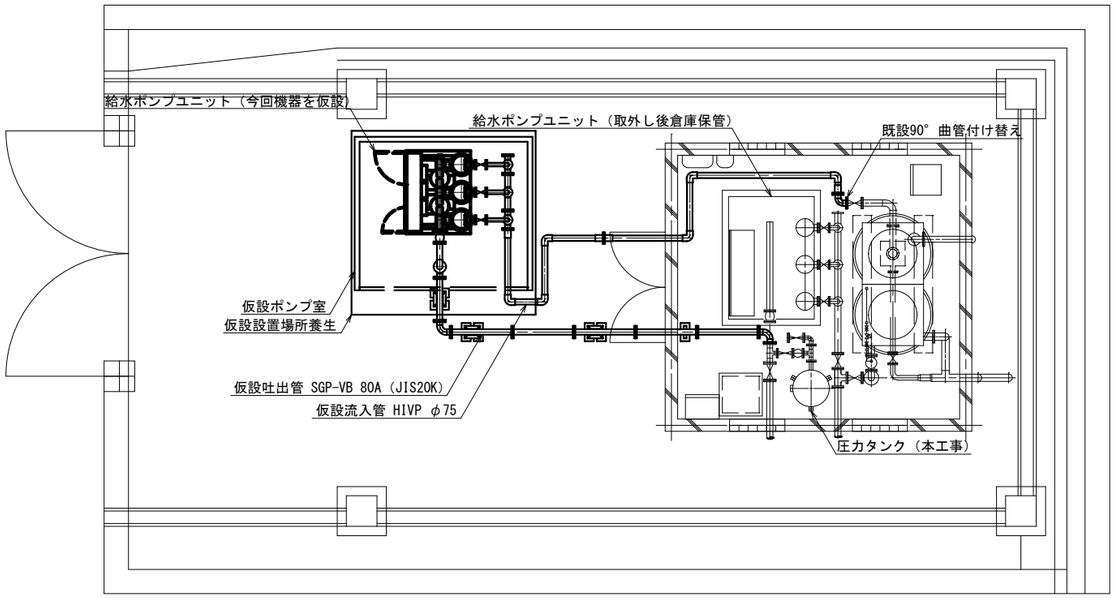
（注1）▭ 部は今回工事範囲を示す。
（注2）定水位弁付属のパイロット弁、電磁弁、及び小配管類は更新とする。
（注3）給水ポンプユニット基礎は、機器撤去後に補修を行うこと。

図面番号	PM-5	縮尺	1/30
工　種	令和7年度 施設更新（耐震化）事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種　別	岩友ポンプ所 撤去平断面図		
工事箇所	東広島市高屋町高屋東554-5		
広島県水道広域連合企業団　東広島事務所			

岩友ポンプ所 仮設参考図

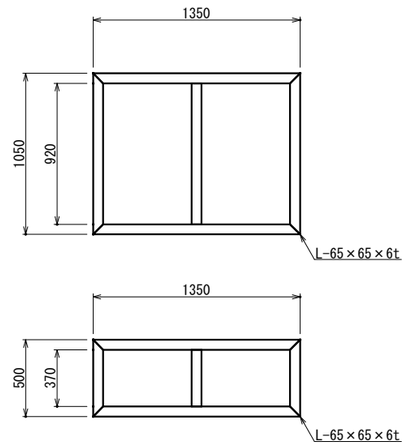
S=1/50

既設撤去時仮設参考図



仮設給水ポンプユニット架台参考図（1）

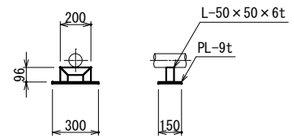
S=1/20



屋内仮設配管サポート参考図

S=1/20

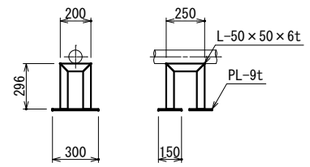
1個



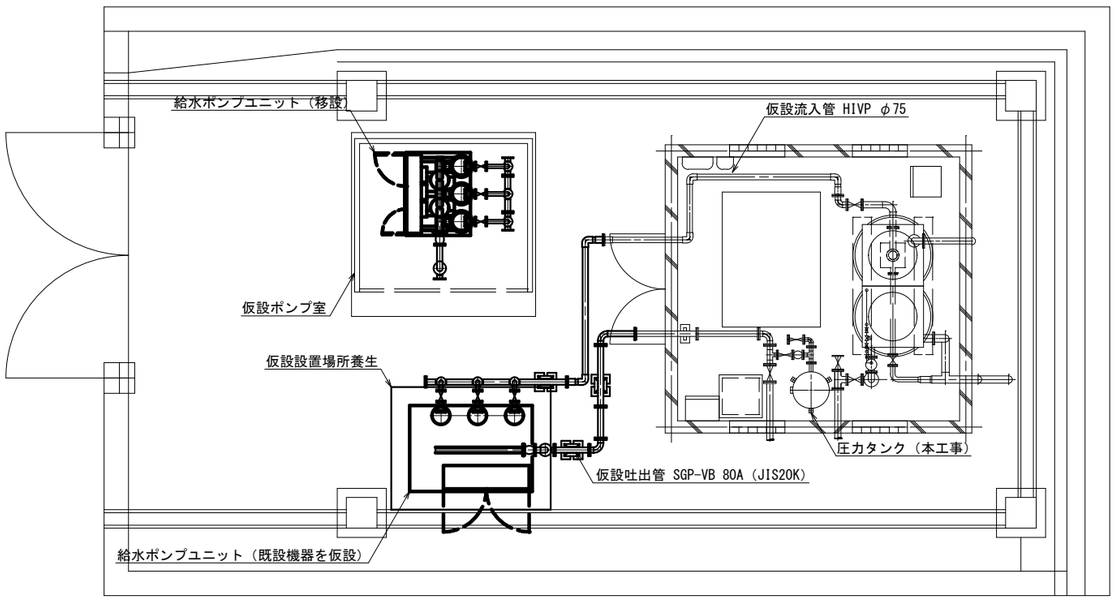
屋外仮設配管サポート参考図

S=1/20

6個

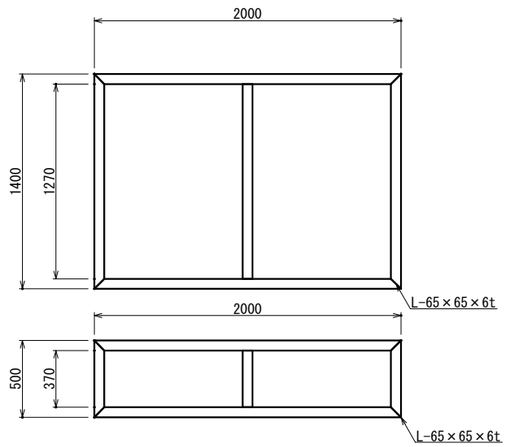


機器移設時仮設参考図



仮設給水ポンプユニット架台参考図（2）

S=1/20

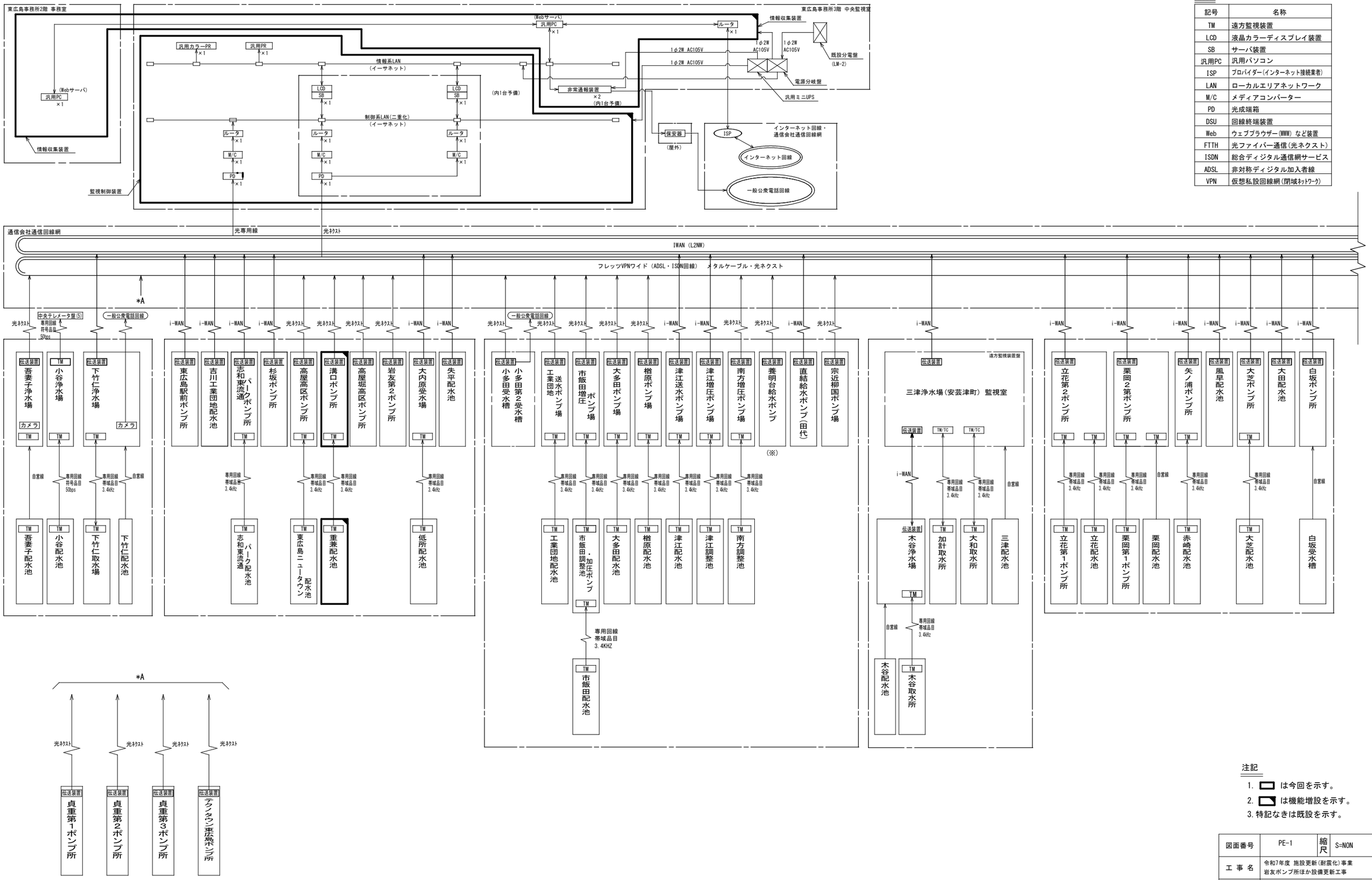


（注1）□ 部は今回工事範囲を示す。
（注2）□ 部は仮設工事範囲を示す。
（注3）仮設設置場所にはブルーシートを敷き、
　　砕石を均した上に鉄板を載せ養生すること。
（注4）仮設給水ポンプユニット架台はSUS製、
　　配管サポートはSS400製とする。
（注5）仮設設置場所は傾斜となっているため、
　　養生、又は鋼製架台類で水平を取ること。

図面番号	PM-6	縮尺	1/50,1/20
工　種	令和6年度 施設更新（耐震化）事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種　別	岩友ポンプ所 仮設参考面図		
工事箇所	東広島市高屋町高屋東554-5		
広島県水道広域連合企業団　東広島事務所			

凡例

記号	名称
TM	遠方監視装置
LCD	液晶カラーディスプレイ装置
SB	サーバ装置
汎用PC	汎用パソコン
ISP	プロバイダー(インターネット接続業者)
LAN	ローカルエリアネットワーク
M/C	メディアコンバーター
PD	光成端箱
DSU	回線終端装置
Web	ウェブブラウザー(WWW) など装置
FTTH	光ファイバー通信(光ネクスト)
ISDN	総合ディジタル通信網サービス
ADSL	非対称ディジタル加入者線
VPN	仮想私設回線網(閉域ネットワーク)



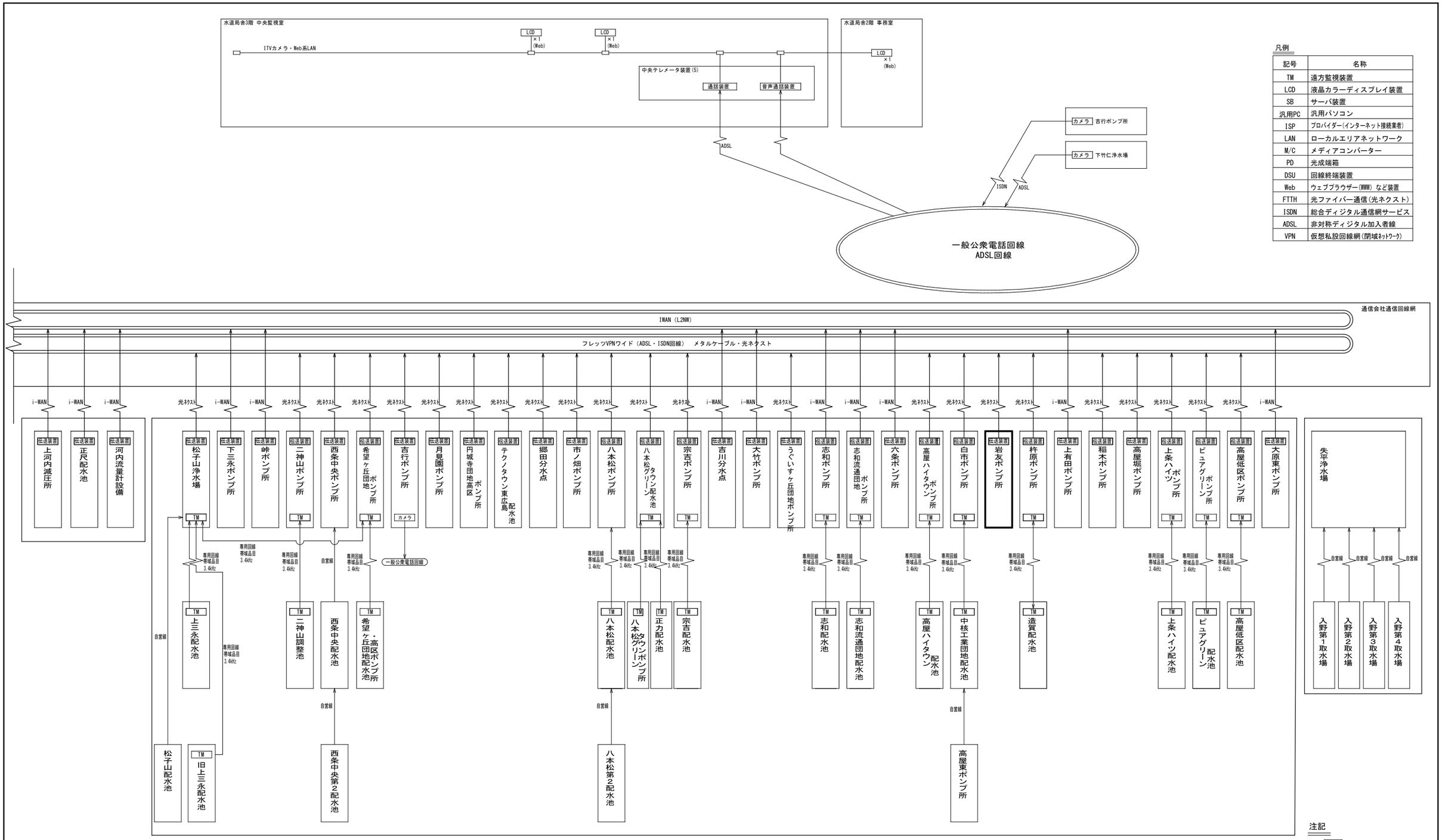
注記

1. ▭ は今回を示す。
2. ▭ は機能増設を示す。
3. 特記なきは既設を示す。

システム構成図 (1)

図面番号	PE-1	縮尺	S=NON
工事名	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種別	システム構成図 (1)		
工事箇所	—		

広島県水道広域連合企業団 東広島事務所



凡例

記号	名称
TM	遠方監視装置
LCD	液晶カラーディスプレイ装置
SB	サーバ装置
汎用PC	汎用パソコン
ISP	プロバイダー(インターネット接続業者)
LAN	ローカルエリアネットワーク
M/C	メディアコンバーター
PD	光成端箱
DSU	回線終端装置
Web	ウェブブラウザー(WWW) など装置
FTTH	光ファイバー通信(光ネクスト)
ISDN	総合ディジタル通信網サービス
ADSL	非対称ディジタル加入者線
VPN	仮想私設回線網(閉域ﾈｯﾄﾜｰｸ)

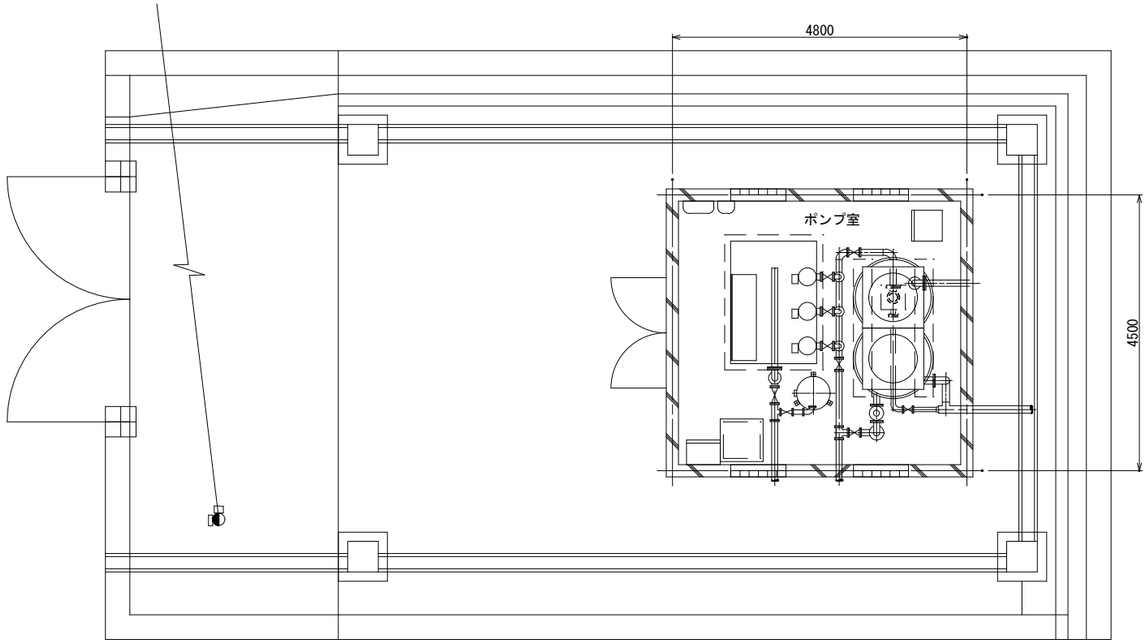
注記

1. ▭ は今回を示す。
2. ▭ は機能増設を示す。
3. 特記なきは既設を示す。

システム構成図 (2)

図面番号	PE-2	縮尺	S=NON
工 事 名	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種 別	システム構成図 (2)		
工事箇所	—		

広島県水道広域連合企業団 東広島事務所



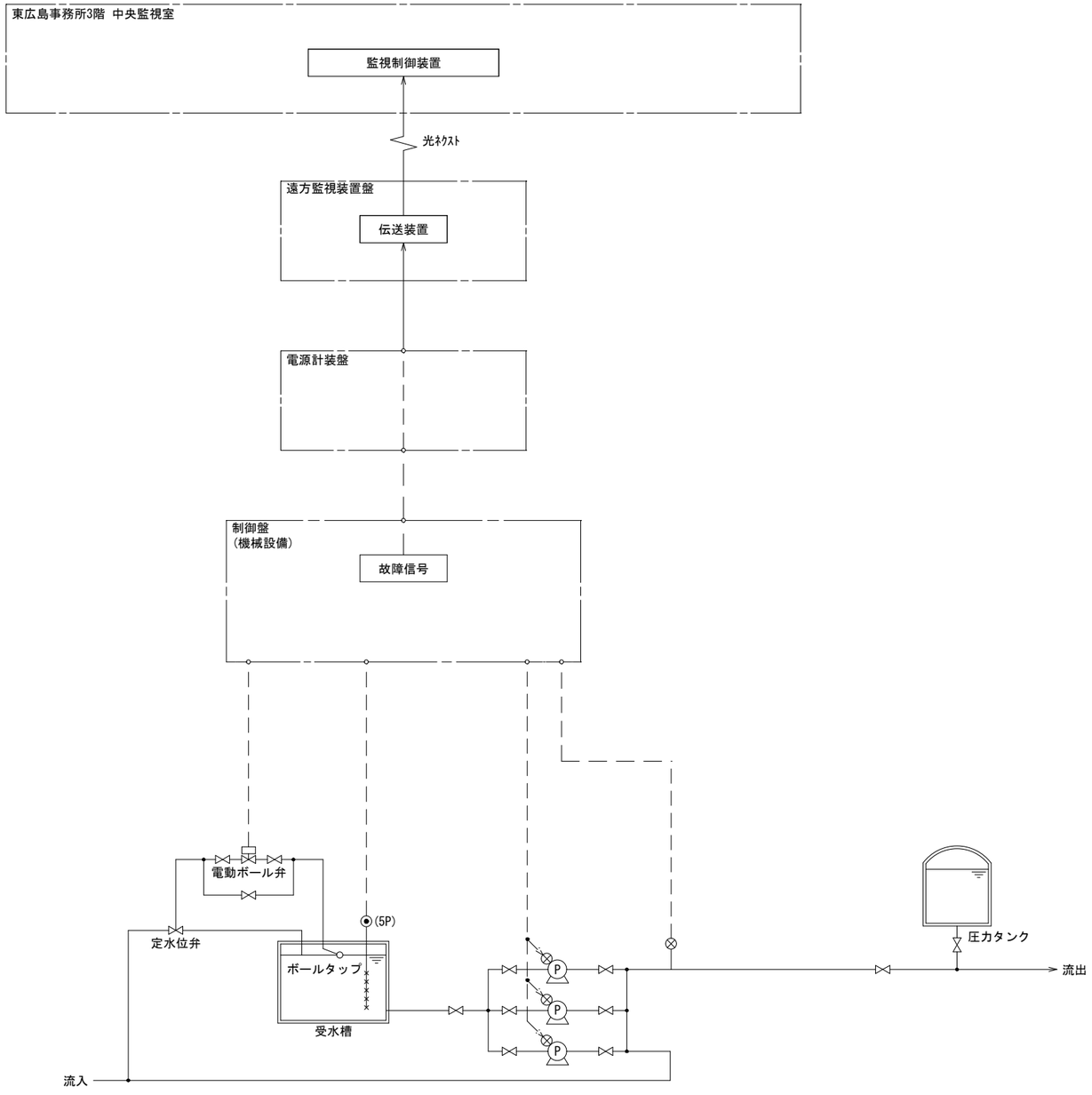
岩友ポンプ所 一般平面図

注 記

1．本図は，参考図とする。

2．特記なき事項は既設を示す。

図面番号	PE-3	縮尺	1/50
工　種	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種　別	岩友ポンプ所 一般平面図		
工事箇所	東広島市高屋町高屋東554-5		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			



注　記

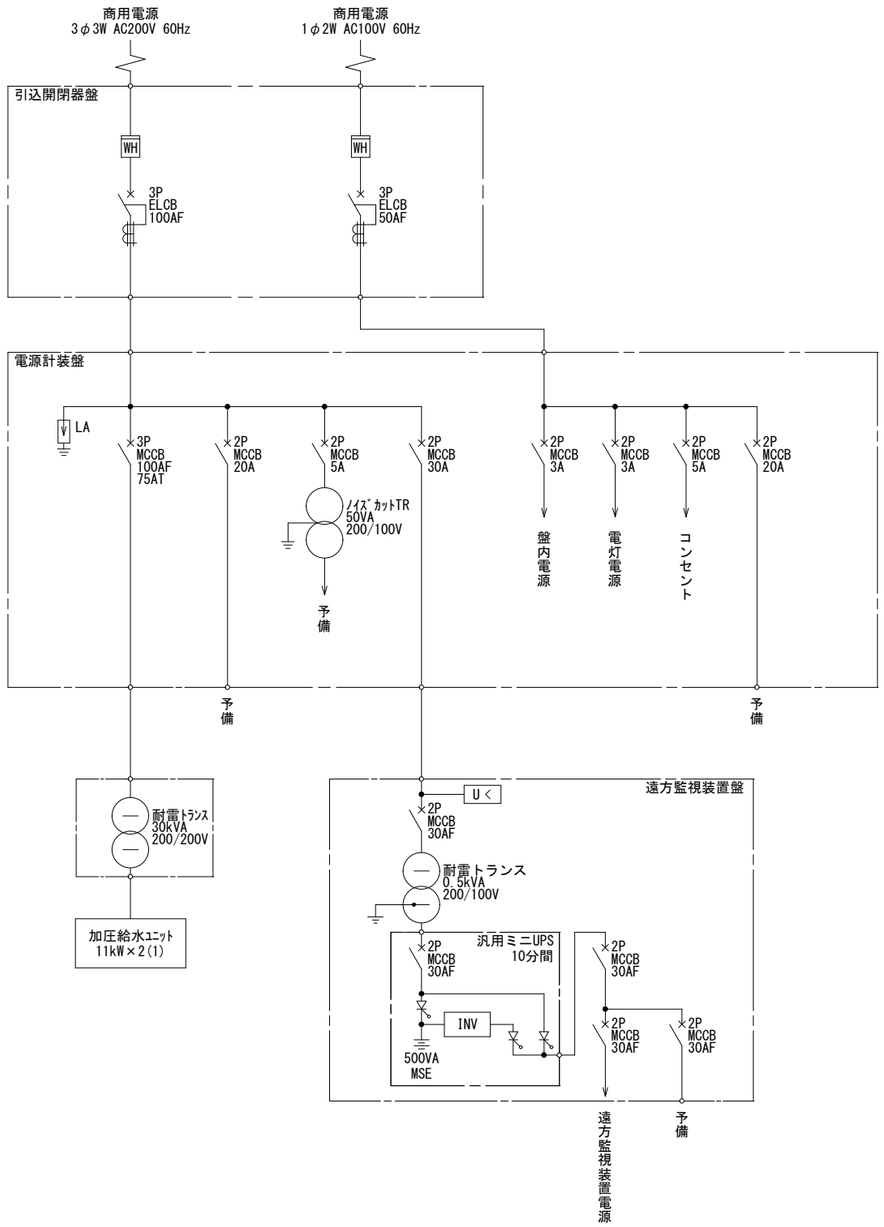
1．本図は，参考図とする。
2．特記なき事項は既設を示す。

図面番号	PE-4	縮尺	NTS
工　　種	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種　　別	岩友ポンプ所 計装フローシート		
工事箇所	東広島市高屋町高屋東554-5		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

岩友ポンプ所 計装フローシート

凡例

記号	名称
WH	積算電力計
U<	不足電圧継電器
TR	変圧器
MCCB	配線用遮断器
ELCB	漏電遮断器
INV	インバータ
LA	避雷器
	整流器



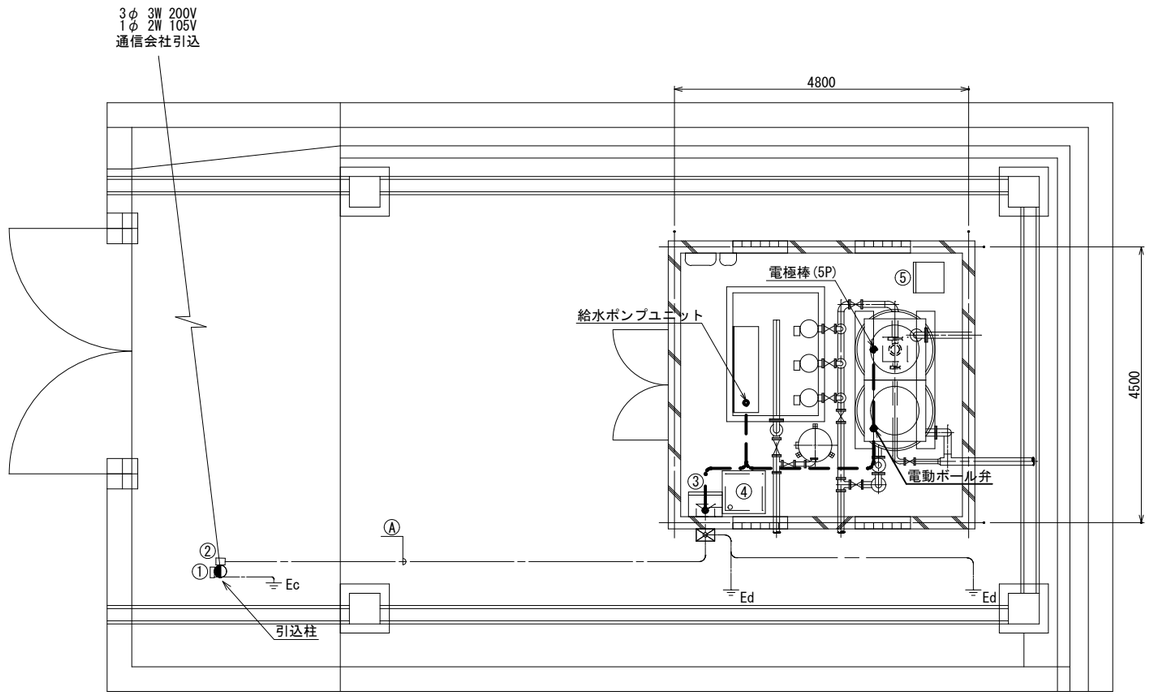
注　記

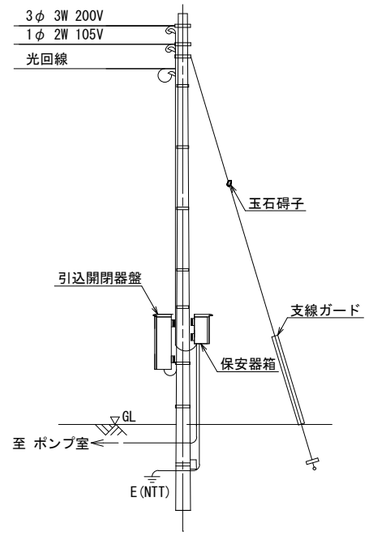
1．本図は，参考図とする。

2．特記なき事項は既設を示す。

図面番号	PE-5	縮尺	NTS
工　　種	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種　　別	岩友ポンプ所 単線結線図		
工事箇所	東広島市高屋町高屋東554-5		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

岩友ポンプ所 単線結線図





引込柱概略図 S=NONE

機器一覧表

番号	名称	備考
①	引込開閉器盤	既設
②	保安器箱	既設
③	電源計装盤	既設
④	耐雷変圧器	既設
⑤	遠方監視装置盤	既設

FEP布設一覧表

記号	種別（用途）	備考
Ⓐ	FEPφ30(通信)	既設
	FEPφ30(制御)	既設
	FEPφ40(電源)	既設

注 記

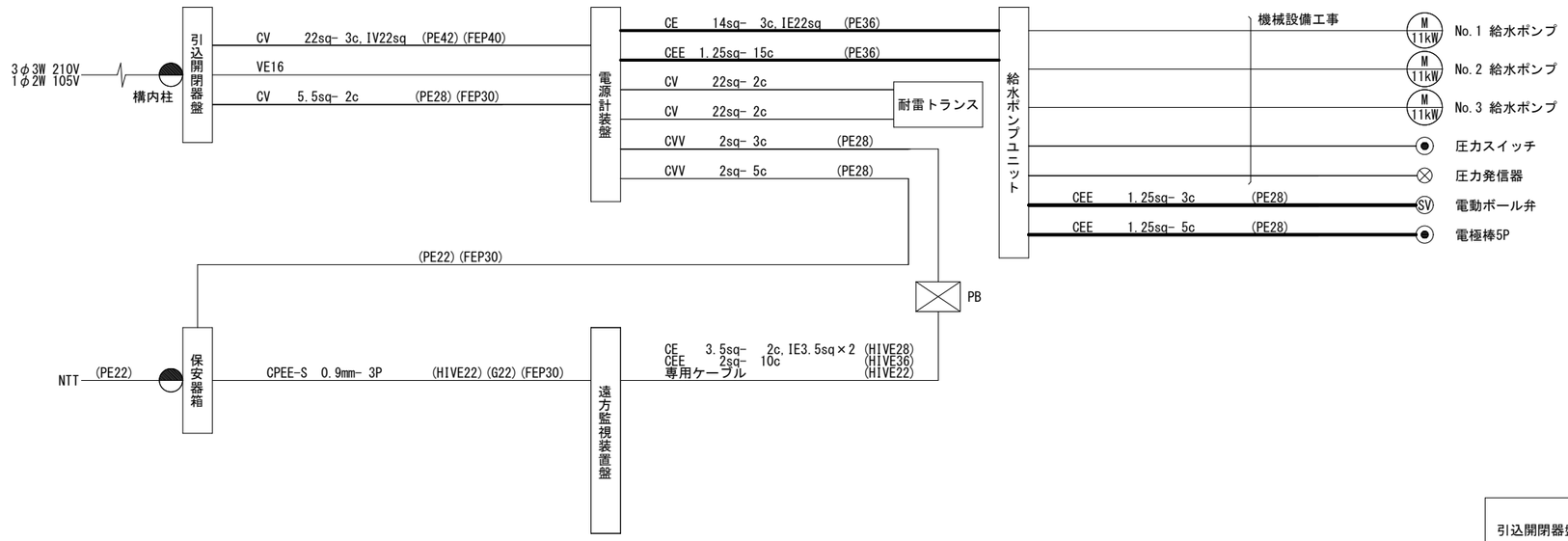
1．━━ ・ は，今回を示す。
2．本図は，参考図とする。
3．特記なき事項は既設を示す。

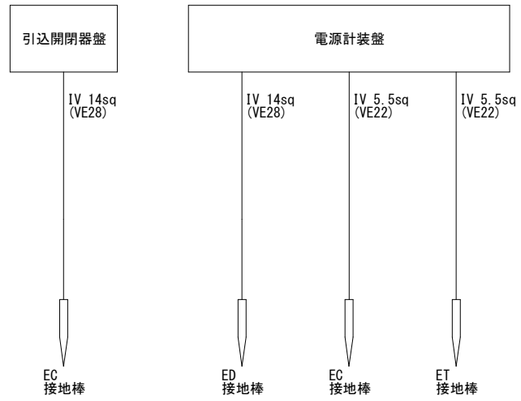
岩友ポンプ所 配置配線図

凡例

記 号	名 称	備 考
━━ ━━	埋設配管内配線	
━ ━ ━ ・	露出配管内配線	

図面番号	PE-6	縮尺	1/50
工 種	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種 別	岩友ポンプ所 配置配線図		
工事箇所	東広島市高屋町高屋東554-5		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			





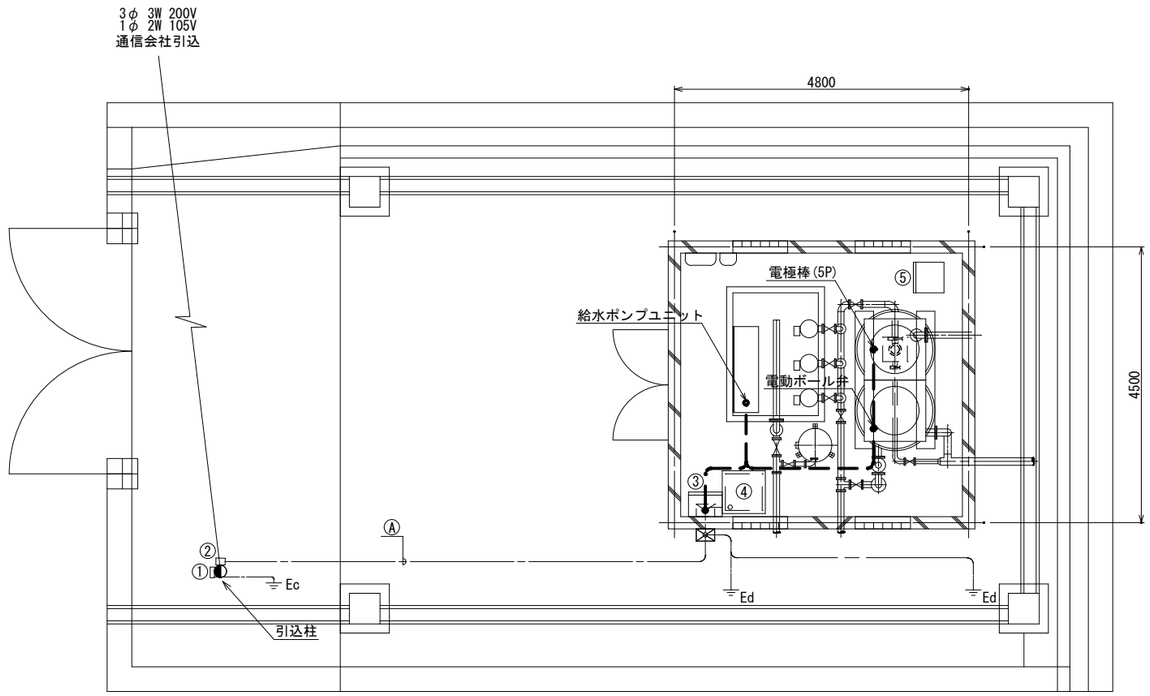
接地系統図

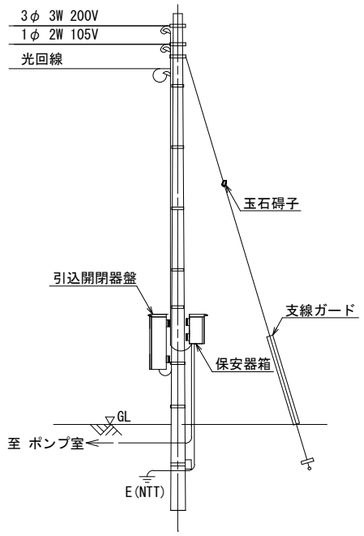
注 記

1．━━━ は，今回を示す。
2．本図は，参考図とする。
3．特記なき事項は既設を示す。

図面番号	PE-7	縮尺	NTS
工 種	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種 別	岩友ポンプ所 配線系統図		
工事箇所	東広島市高屋町高屋東554-5		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

岩友ポンプ所 配線系統図





引込柱概略図 S=NONE

機器一覧表

番号	名称	備考
①	引込開閉器盤	既設
②	保安器箱	既設
③	電源計装盤	既設
④	耐雷変圧器	既設
⑤	遠方監視装置盤	既設

FEP布設一覧表

記号	種別（用途）	備考
Ⓐ	FEPφ30(通信)	既設
	FEPφ30(制御)	既設
	FEPφ40(電源)	既設

注 記

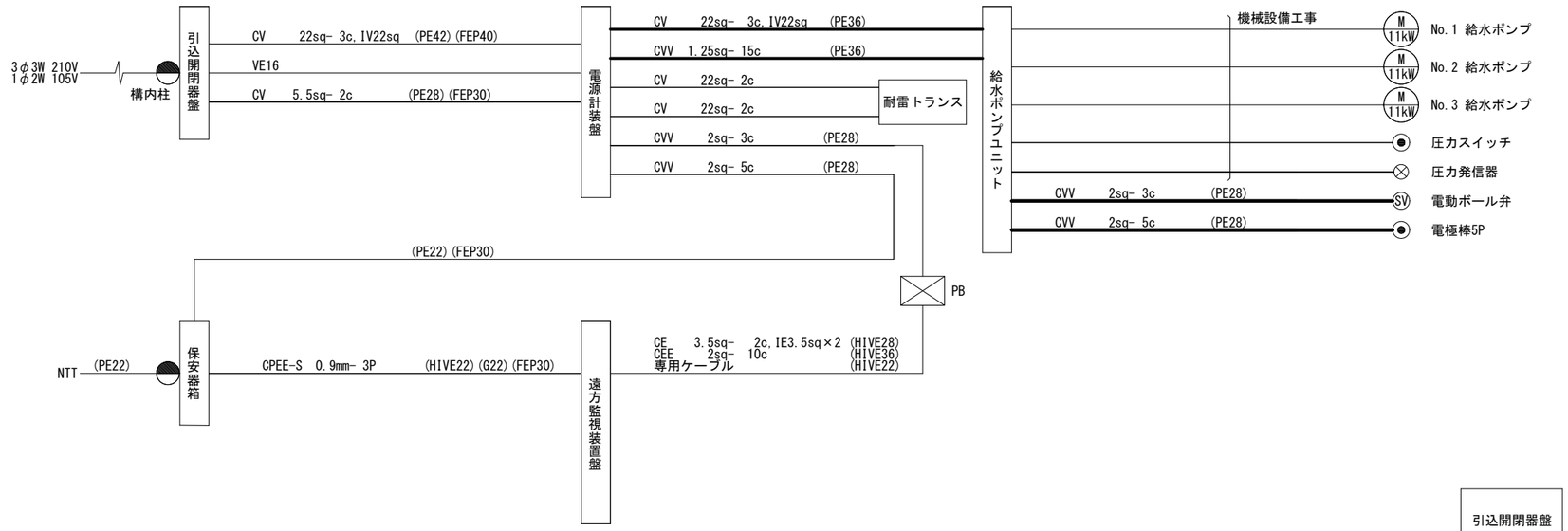
1．━ ・ は，撤去を示す。
2．本図は，参考図とする。
3．特記なき事項は既設を示す。

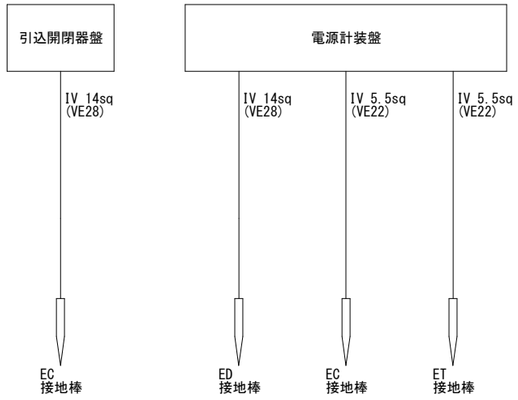
岩友ポンプ所 配置配線図(撤去)

凡例

記 号	名 称	備 考
——-———	埋設配管内配線	
━ ━ ━ ・	露出配管内配線	

図面番号	PE-8	縮尺	1/50
工 種	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種 別	岩友ポンプ所 配置配線図(撤去)		
工事箇所	東広島市高屋町高屋東554-5		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			





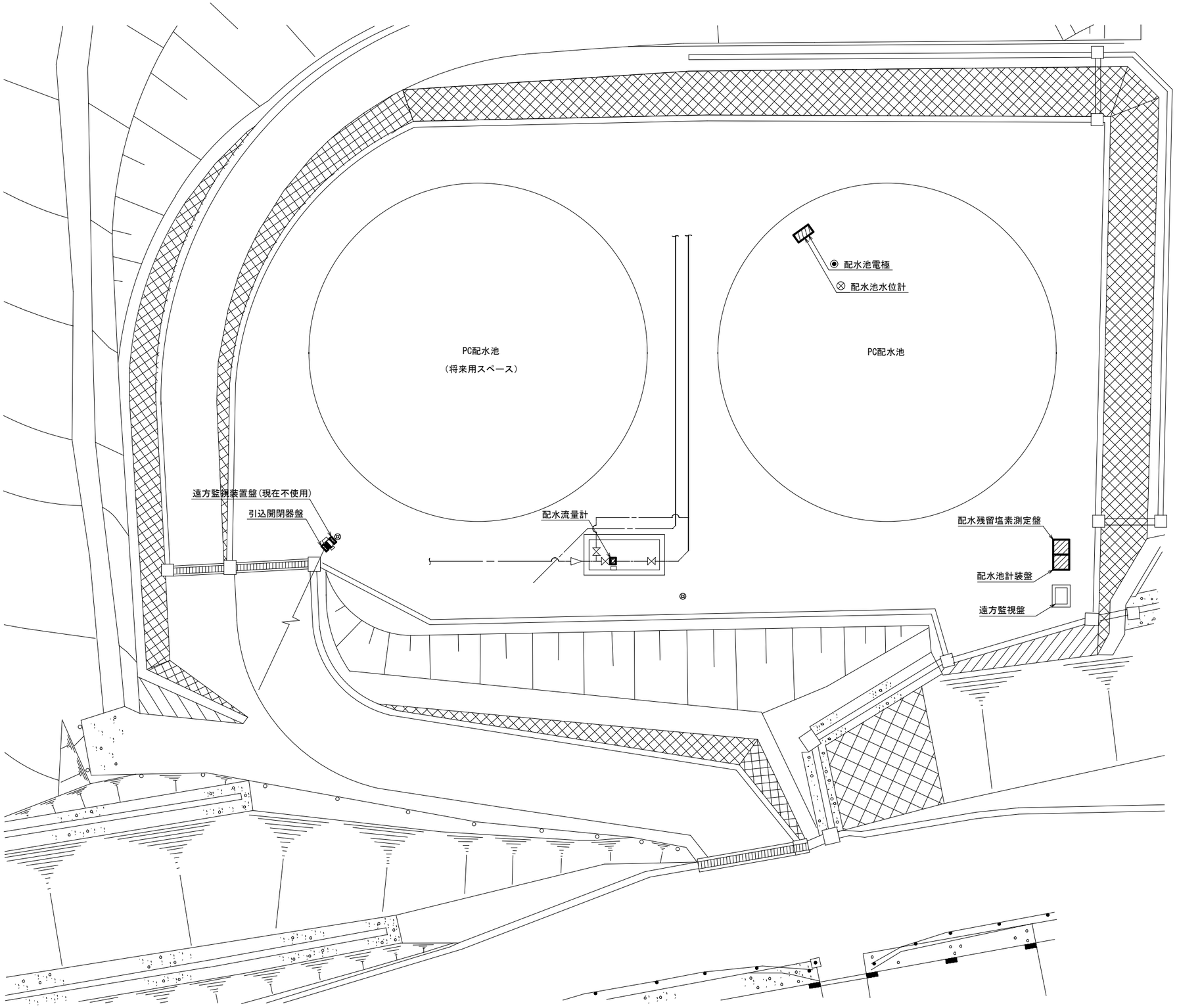
接地系統図

注 記

1．━━━ は，撤去を示す。
2．本図は，参考図とする。
3．特記なき事項は既設を示す。

図面番号	PE-9	縮尺	NTS
工 種	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種 別	岩友ポンプ所 配線系統図(撤去)		
工事箇所	東広島市高屋町高屋東554-5		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

岩友ポンプ所 配線配線図(撤去)



重兼配水池 一般平面図

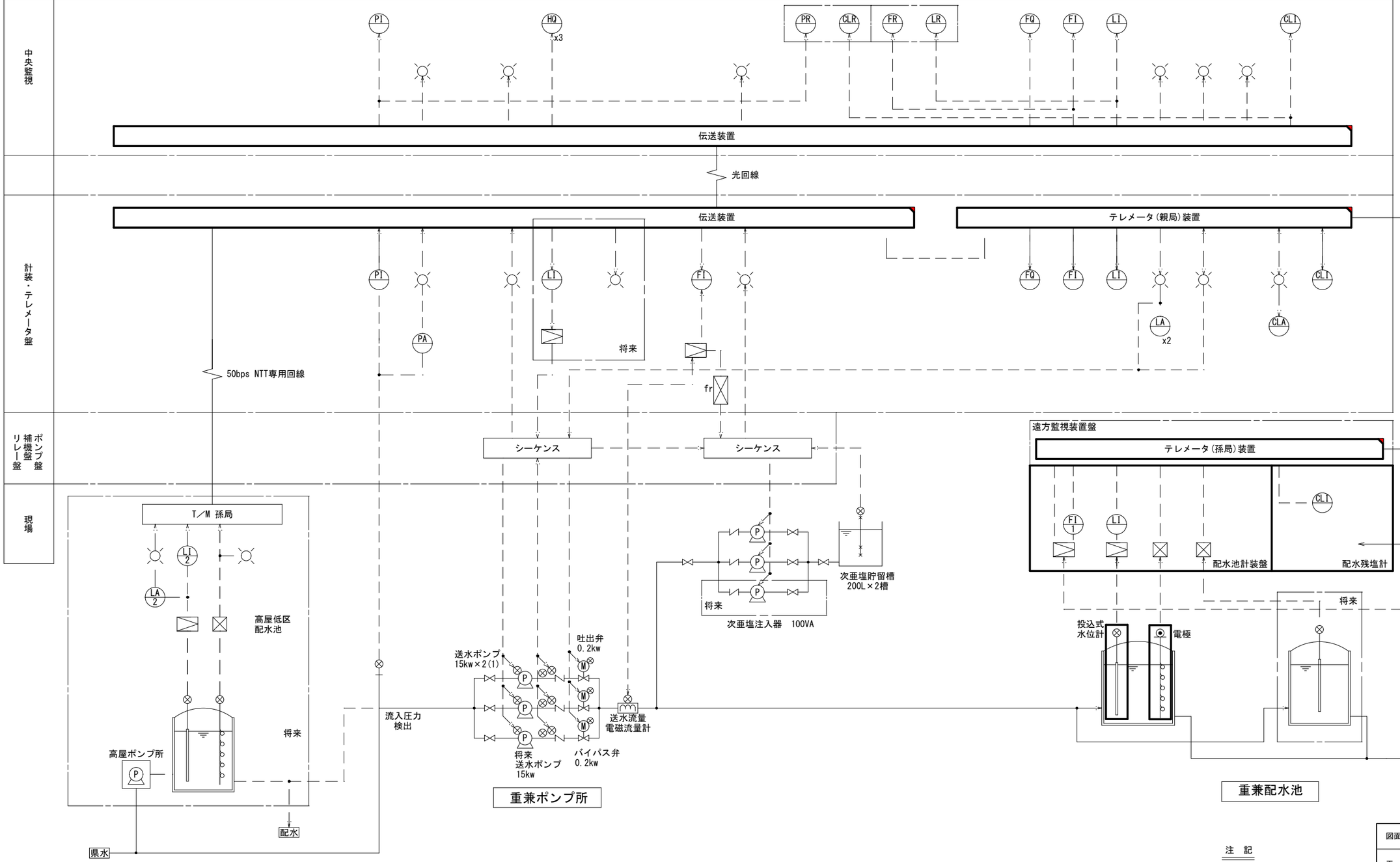
注 記

1．▨ は，今回を示す。
2．本図は，参考図とする。
3．特記なきは既設を示す。

図面番号	PE-10	縮尺	1/100
工 種	令和7年度 施設更新（耐震化）事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種 別	重兼配水池 一般平面図		
工事箇所	東広島市高屋町溝口7-72		

広島県水道広域連合企業団 東広島事務所

計測項目		流入圧力	ポンプ運転時間計(積算)	記録計	配水流量積算	配水流量	配水池水位	配水残留塩素
台数	既設	1	3	1	1	1	1	1
	今回	0	0	0	0	0	0	0
	全体	1	3	1	1	1	1	1



凡例

記号	名称
F	流量
L	水位
P	圧力
CL	塩素
I	指示
Q	積算
R	記録
A	警報
I/F	パルス変換器
33	位置検出継電器
▽	変換器
○	表示灯
◁	避雷器

注 記

1. ▭ は，今回を示す。
2. ▭ は，機能増設を示す。
3. 本図は，参考図とする。
4. 特記なき事項は既設を示す。

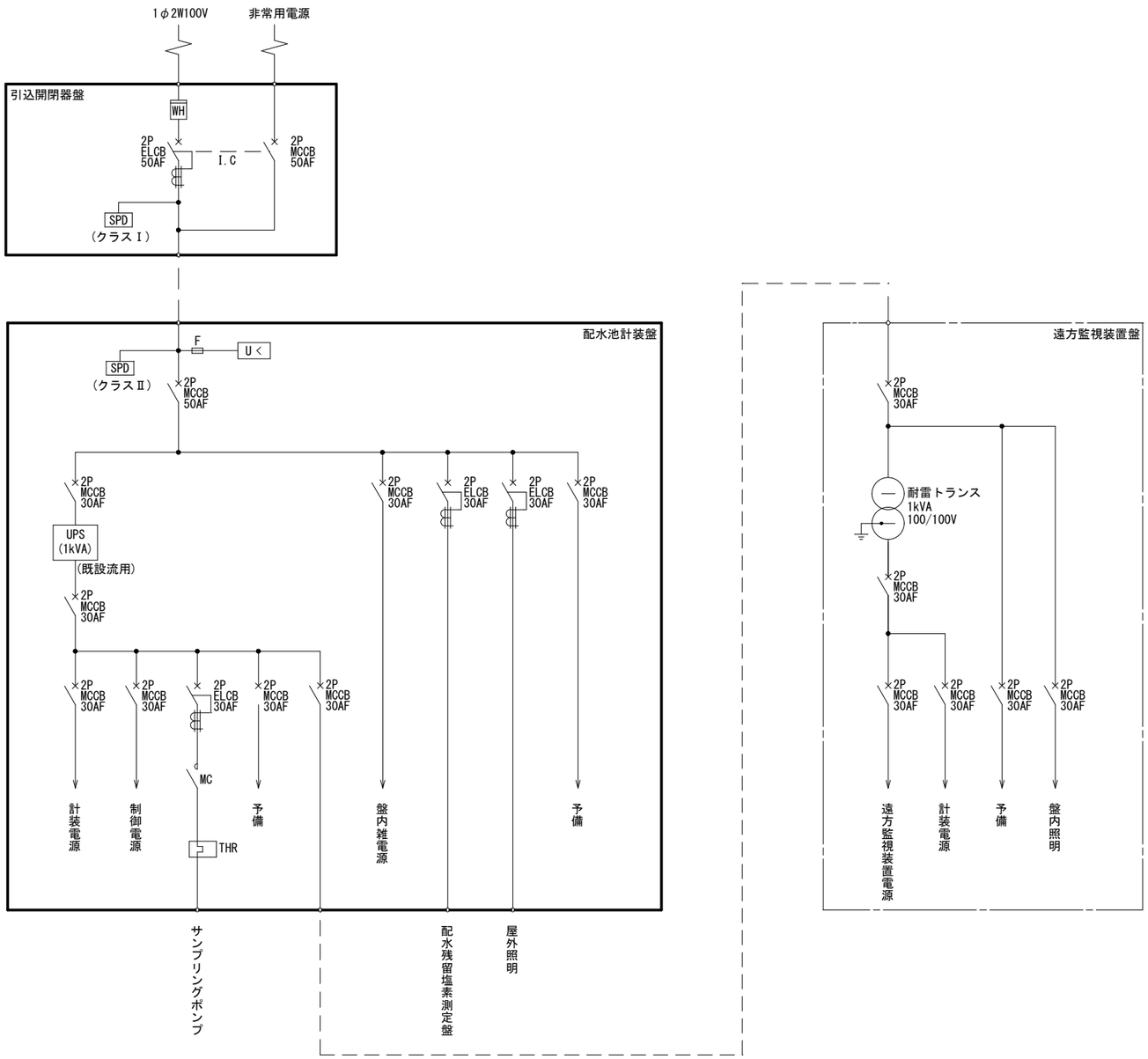
重兼配水池 計装フローシート

図面番号	PE-11	縮尺	NTS
工 種	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種 別	重兼配水池 計装フローシート		
工事箇所	東広島市高屋町溝口7-72		

広島県水道広域連合企業団 東広島事務所

凡例

記号	名称
WH	積算電力計
U＜	不足電圧継電器
THR	熱動継電器
MCCB	配線用遮断器
ELCB	漏電遮断器
MC	電磁接触器
F	ヒューズ
SPD	避雷器
I.C	インターロック

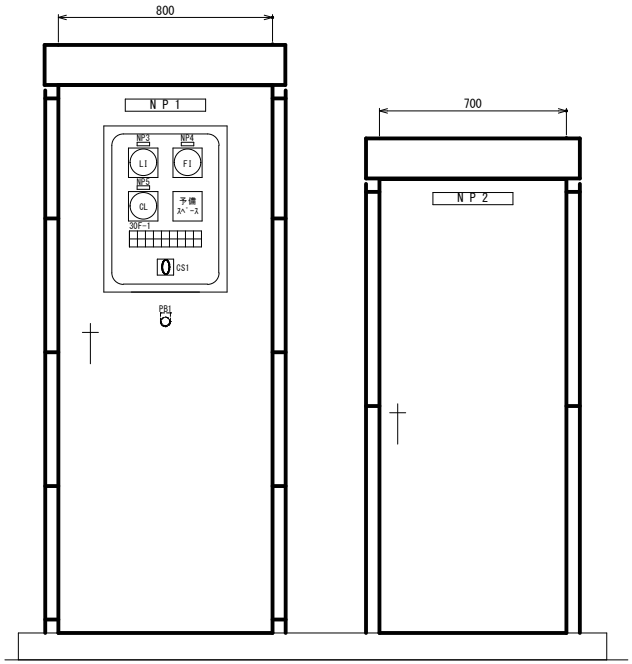


注　記

1．□は，今回を示す。
2．本図は，参考図とする。
3．特記なき事項は既設を示す。

図面番号	PE-12	縮尺	NTS
工　　種	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種　　別	重兼配水池 単線結線図		
工事箇所	東広島市高屋町溝口7-72		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

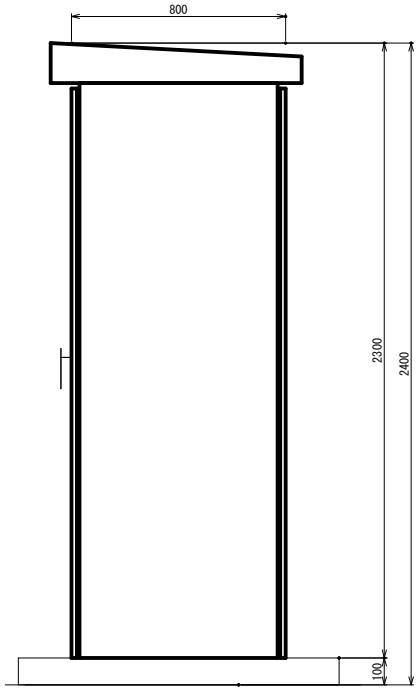
重兼配水池 単線結線図



正面図

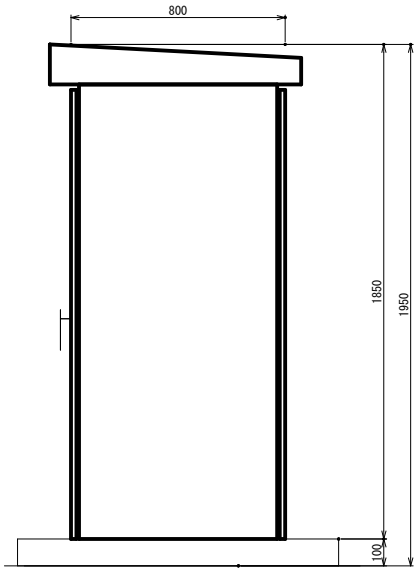
配水池計装盤 S=1/10

残留塩素計盤 S=1/10



側面図

配水池計装盤 S=1/10



側面図

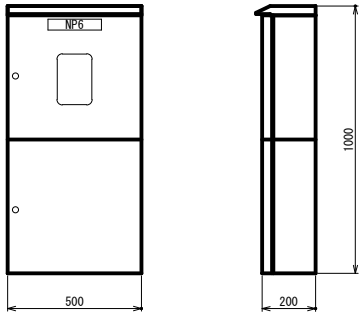
残留塩素計盤 S=1/10

30F-1

受電	引込主電源 漏　電	UPS 一次MCCB トリップ	配水残塩計 漏　電	盤内温度 異　常	予　備	配水池 水位高	配水 残留塩素 異常高	予　備
停電	UPS 異常	UPS 二次MCCB トリップ	サンプリング ポンプ 漏　電	外　灯 漏　電	予　備	配水池 水位低	配水 残留塩素 異常低	予　備

凡例-1

記　号	名　　称	備　考
NP1	配水池計装盤	
NP2	配水残留塩素計盤	
NP3	配水池水位	
NP4	配水流量	
NP5	配水残留塩素	
NP6	引込開閉器盤	
CS1	操作開閉器	「水位計」-「電極」
PB1	押釦開閉器	ランプテスト



正面図　　側面図

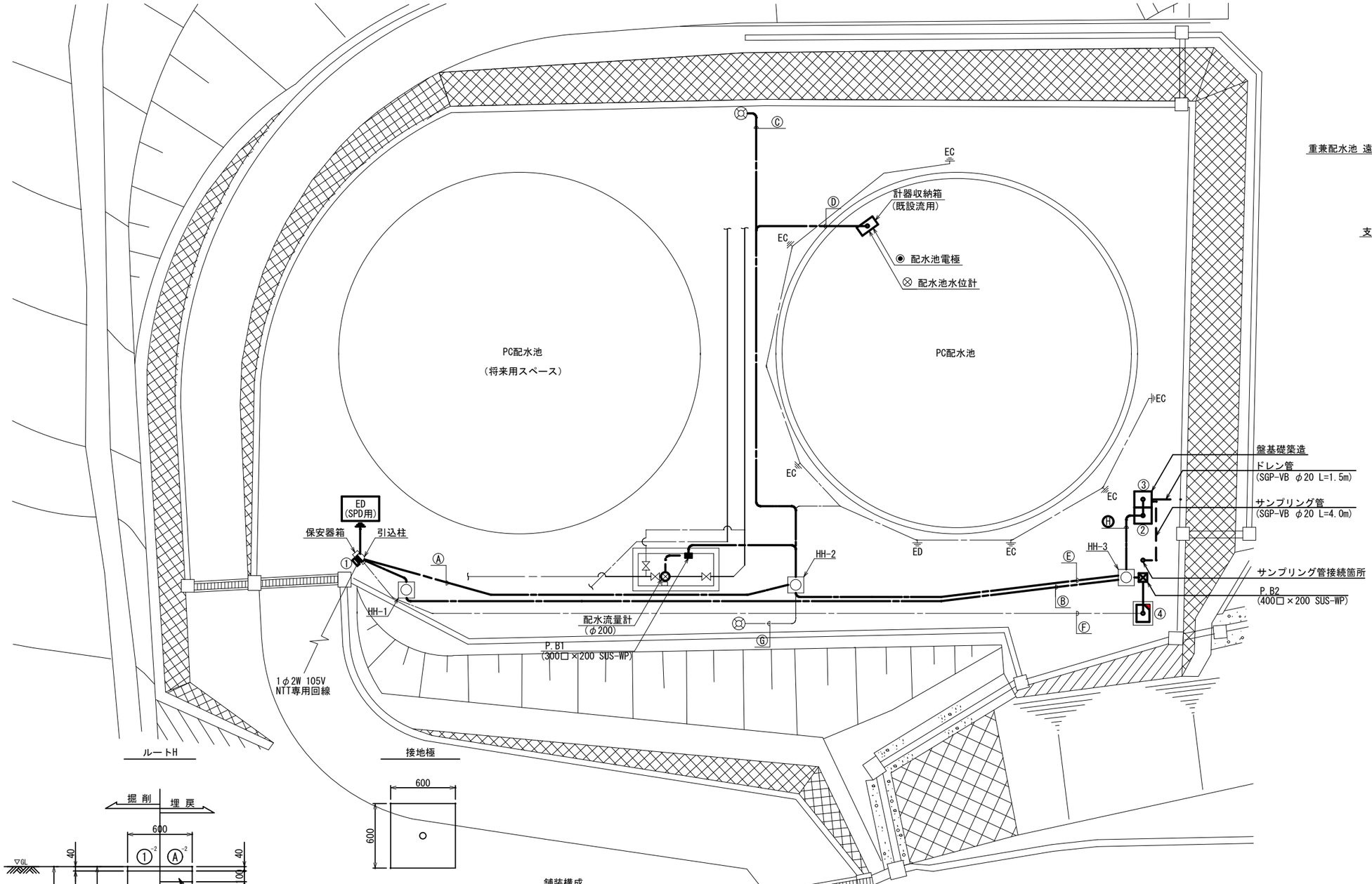
引込開閉器盤 S=1/10

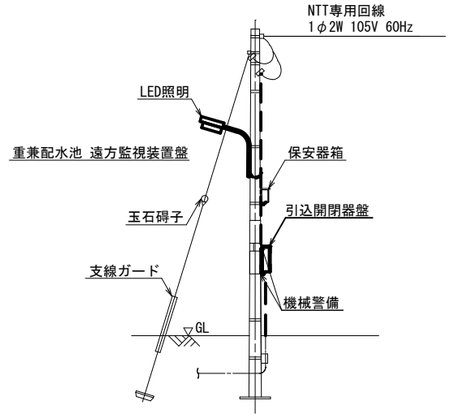
注　記

1．▭ は，今回を示す。
2．本図は，参考図とする。
3．特記なき事項は既設を示す。

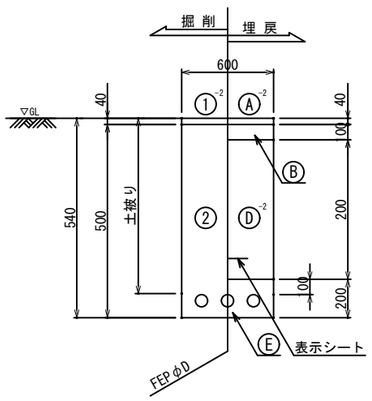
図面番号	PE-13	縮尺	1/10
工　　種	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種　　別	重兼配水池 機器姿図		
工事箇所	東広島市高屋町清口7-72		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

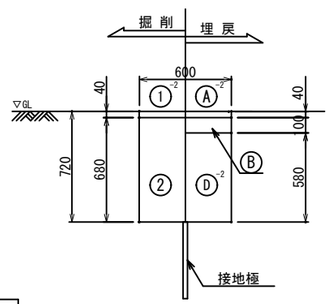
重兼配水池 機器姿図





引込柱概略図 S=NONE





機器一覧表

番号	名称	備考
①	引込開閉器盤	今回
②	配水池計装盤	今回
③	配水残留塩素測定盤	今回
④	遠方監視装置盤	機能増設

FEP布設一覧表

記号	種別（用途）	備考
Ⓐ	FEPφ30(照明)	既設
Ⓑ	FEPφ40(制御)	既設
	FEPφ50(電源)	既設
Ⓒ	FEPφ30(照明)	既設
Ⓓ	FEPφ30(水位計)×2	既設
Ⓔ	FEPφ30(水位計)×2	既設
	FEPφ30(流量計)	既設
	FEPφ30(照明)	既設
Ⓕ	FEPφ30(動力)	既設
	FEPφ30(制御)	既設
	FEPφ40(制御)	既設
Ⓖ	FEPφ30(照明)	既設
Ⓗ	FEPφ50(動力)	今回
	FEPφ40(制御)	今回
	FEPφ40(計装)	今回

舗装構成

		復　旧
掘削工	①-2	舗装版掘削積込（Con）
	②	機械掘削積込(管路土工)
埋戻工	Ⓐ-2	表層工〔アスファルト舗装〕
	Ⓑ	上層路盤工〔再生粒調砕石〕
	Ⓓ-2	埋戻工〔発生土〕
	Ⓔ	埋戻工〔再生砂(チップ)〕人力併用タンパ

寸法表

ルート	φ D	幅(m)	深さ(m)	距離(m)	備考
H	φ50×1	0.55	0.57	1.1	3列1段
	φ40×2				

注　記

1．▭ は，今回を示す。
2．▭ は，機能増設を示す。
3．―― は，今回を示す。
4．本図は，参考図とする。
5．特記なき事項は既設を示す。

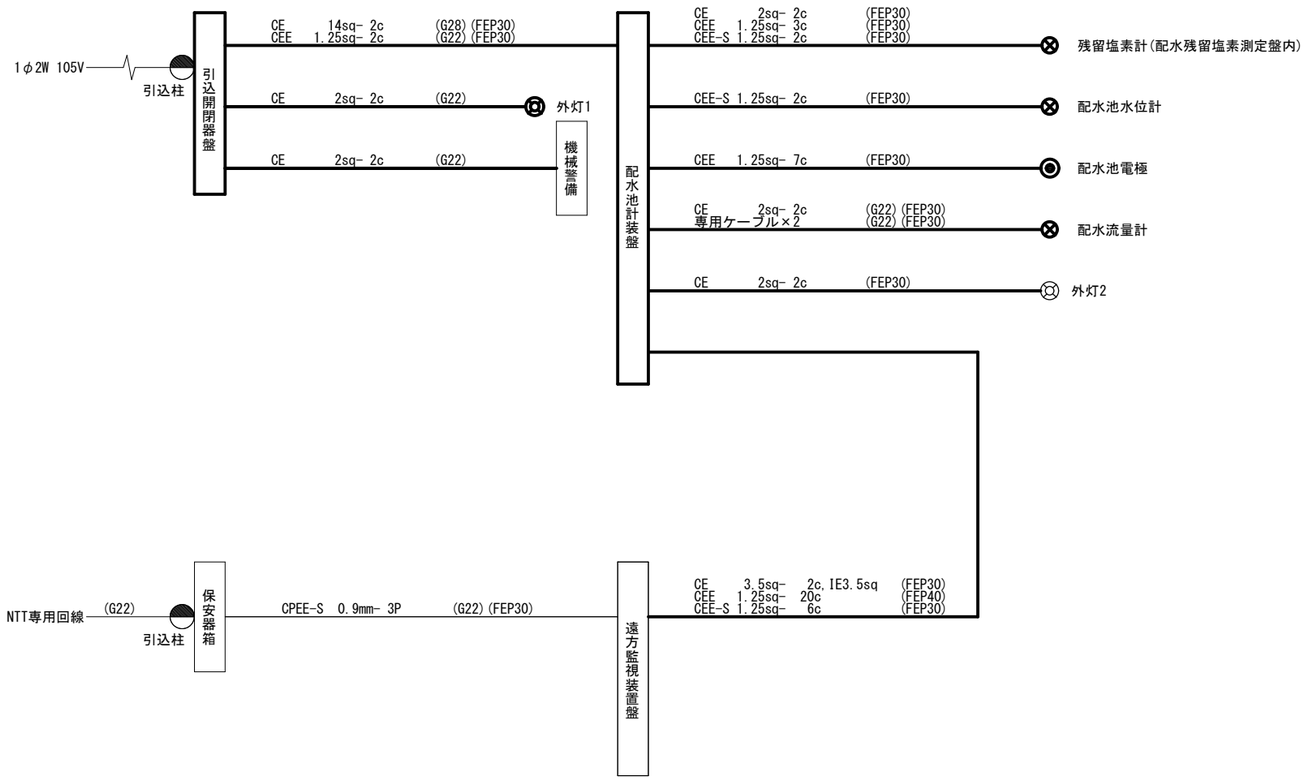
重兼配水池 配置配線図

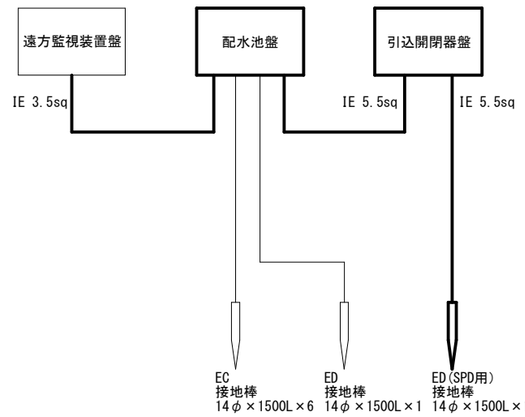
凡例

記　号	名　称	備　考
――――	埋設配管内配線	
―・―・―	露出配管内配線	

図面番号	PE-14	縮尺	1/100
工　種	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種　別	重兼配水池　配置配線図		
工事箇所	東広島市高屋町溝口7-72		

広島県水道広域連合企業団 東広島事務所





接地系統図

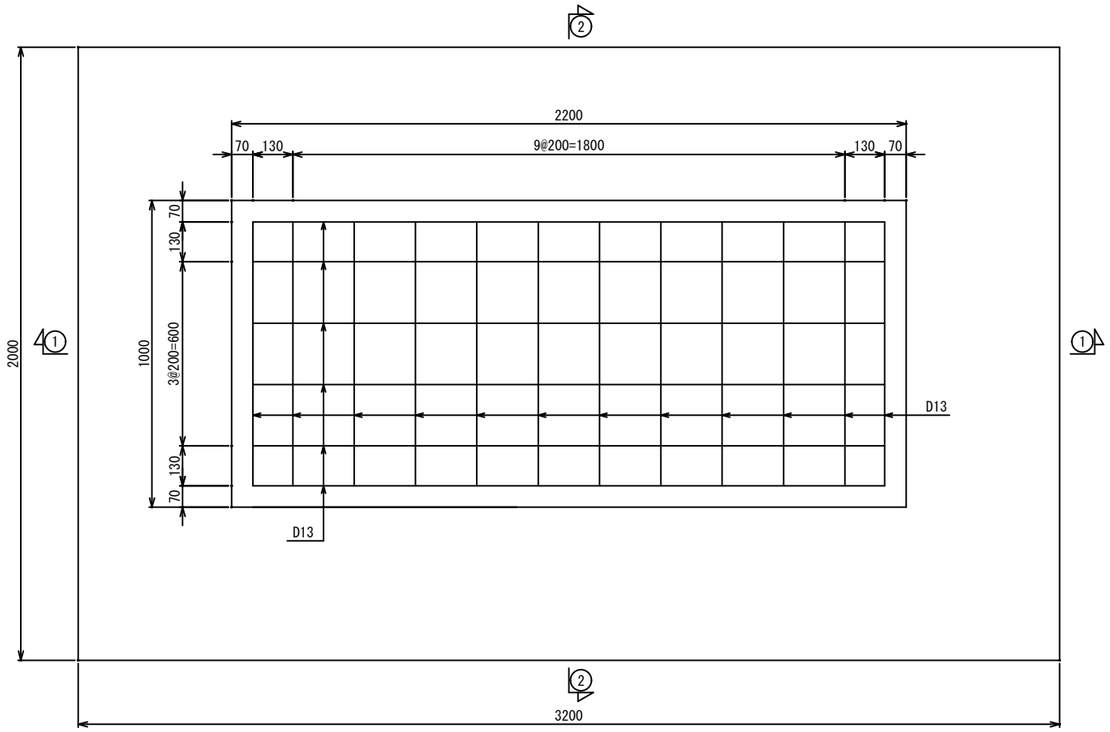
注　記

1．▭ は，今回を示す。
2．―― は，今回を示す。
3．本図は，参考図とする。
4．特記なき事項は既設を示す。

図面番号	PE-15	縮尺	NTS
工　種	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種　別	重兼配水池 配線系統図		
工事箇所	東広島市高屋町溝口7-72		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

重兼配水池 配線系統図

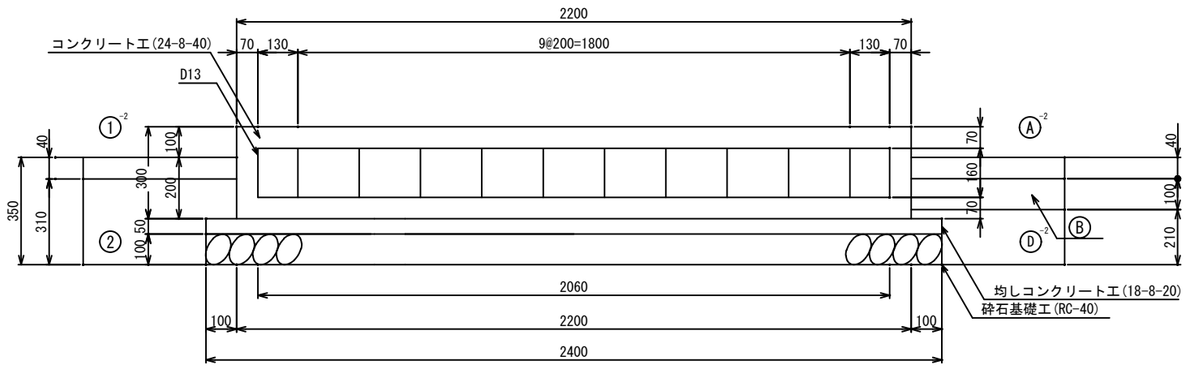
平 面 図



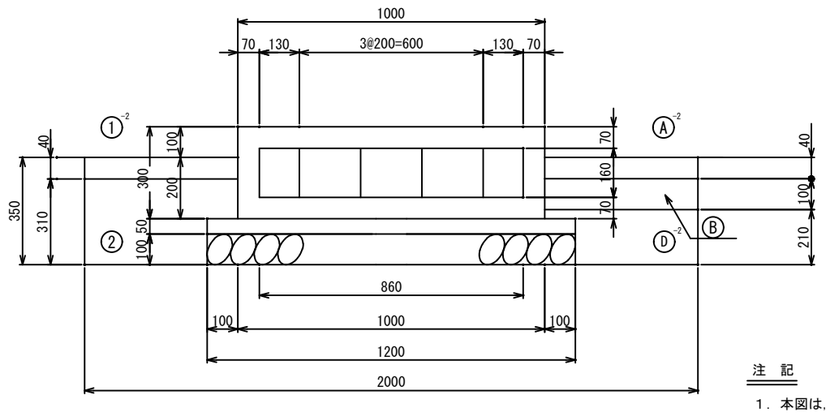
舗装構成

		復　　旧
掘削工	①-2	舗装版掘削積込（As）
	②	機械掘削積込(管路土工)
埋戻工	Ⓐ-2	表層工〔As20〕
	Ⓑ	上層路盤工〔RM-30〕
	Ⓓ-2	埋戻工〔発生土〕
	Ⓔ	埋戻工〔再生砂〕人力併用タンパ

断 面 図 ①－①



断 面 図 ②－②



注　記

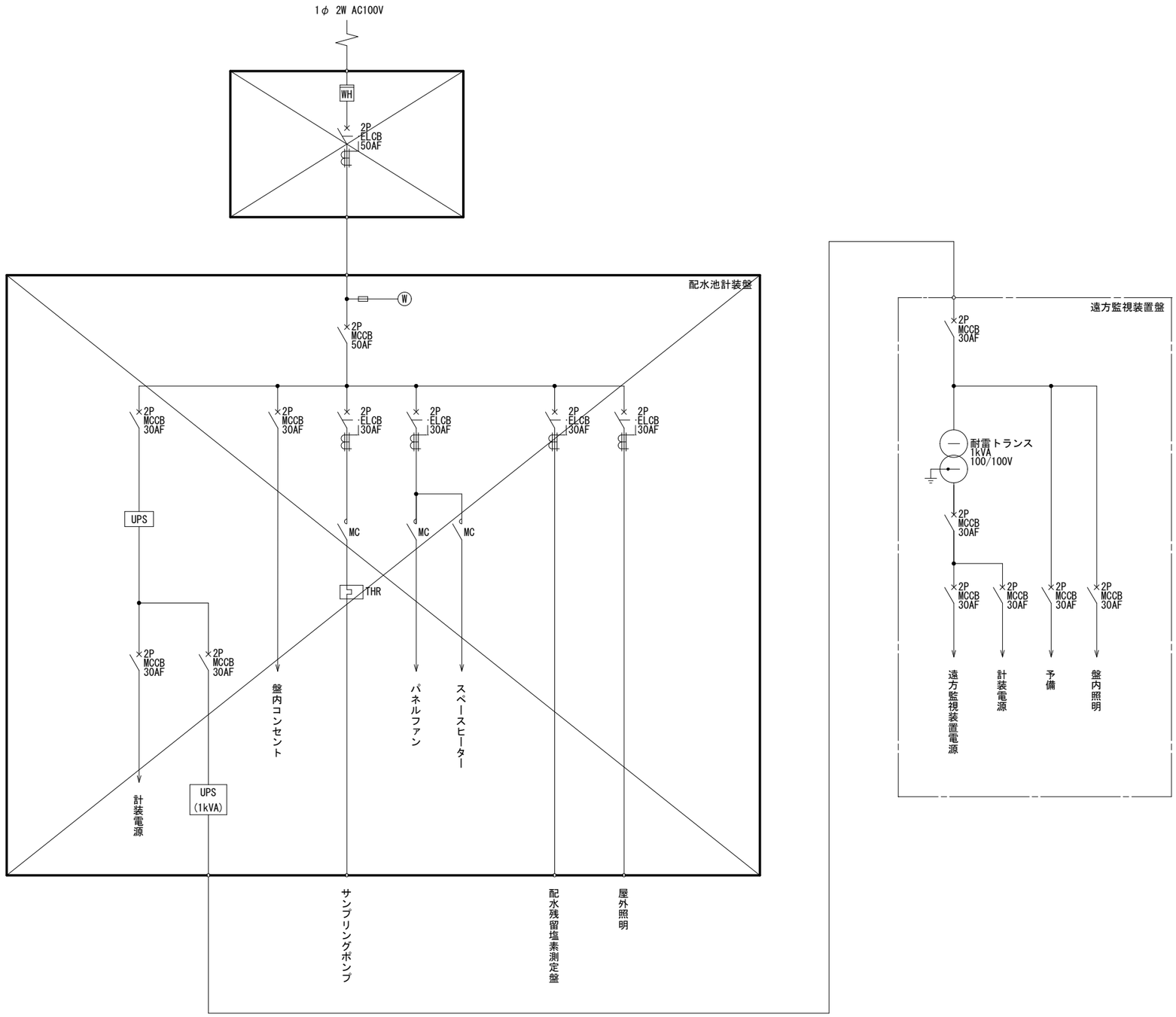
1．本図は，参考図とする。

図面番号	PE-16	縮尺	1/10
工　　種	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種　　別	重兼配水池 基礎図		
工事箇所	東広島市高屋町溝口7-72		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

重兼配水池 基礎図

凡例

記号	名称
V	交流電圧計
VS	電圧切換スイッチ
WH	積算電力計
THR	熱動継電器
TR	変圧器
MCCB	配線用遮断器
ELCB	漏電遮断器
CP	サーキットプロテクタ
MC	電磁接触器
F	ヒューズ
SC	進相コンデンサ
LA	避雷器
NF	ノイズフィルタ
E3	第D種接地

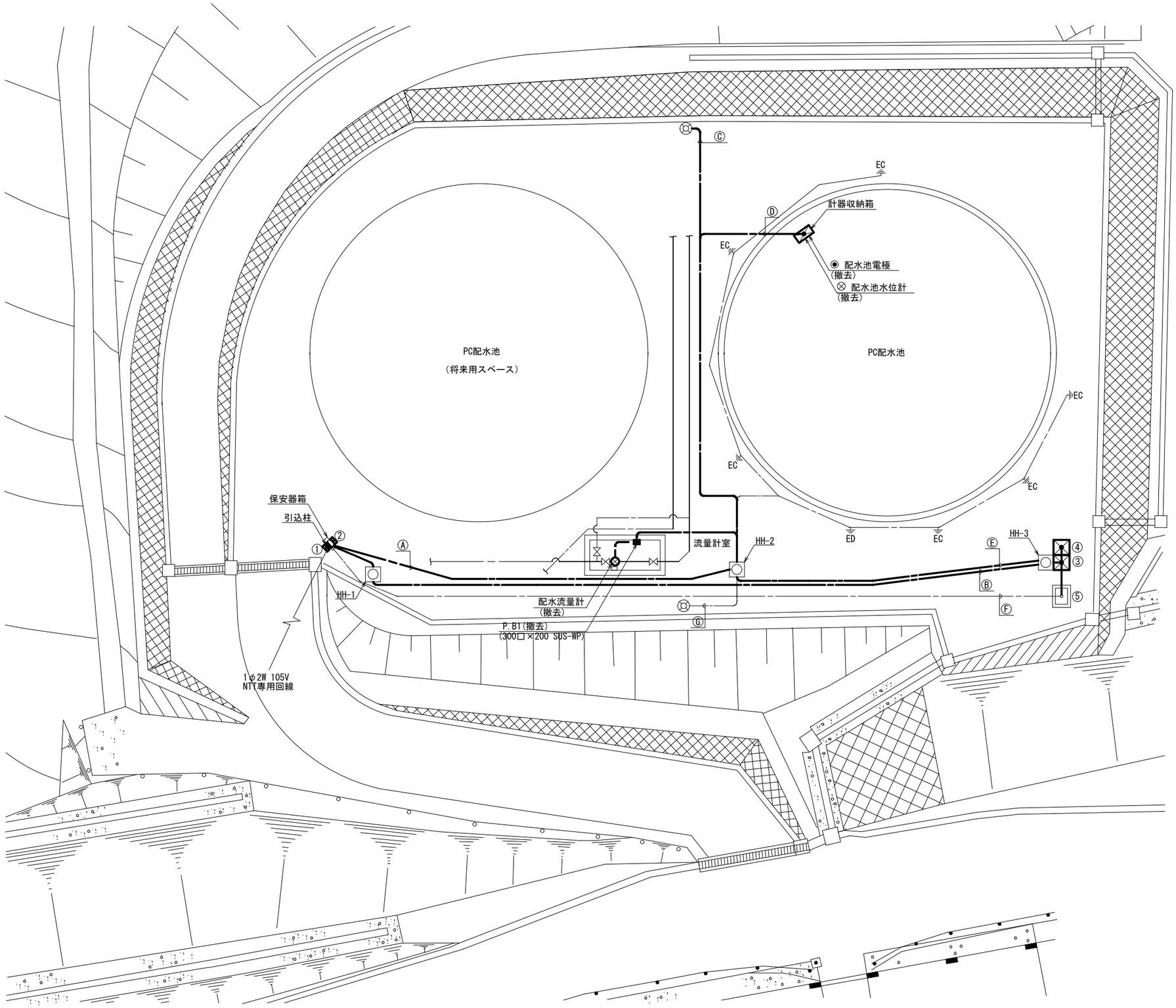


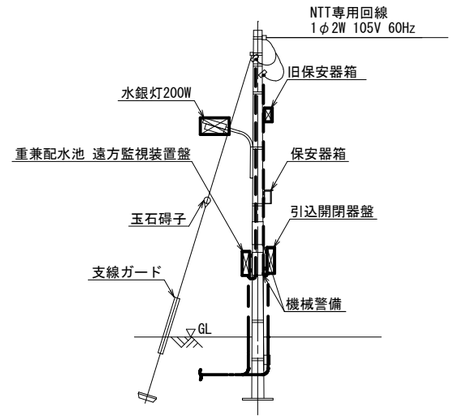
注　記

1．☒ は，撤去を示す。
2．本図は，参考図とする。
3．特記なき事項は既設を示す。

図面番号	PE-17	縮尺	NTS
工　種	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種　別	重兼配水池 単線結線図(撤去)		
工事箇所	東広島市高屋町溝口7-72		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

重兼配水池 単線結線図(撤去)





引込柱概略図 S=NONE

機器一覧表

番号	名称	備考
①	引込開閉器盤	撤去
②	重兼配水池 遠方監視装置盤	撤去
③	配水池計装盤	撤去
④	配水残留塩素測定盤	撤去
⑤	遠方監視装置盤	既設

FEP布設一覧表

記号	種別（用途）	備考
Ⓐ	FEPφ30(照明)	既設
Ⓑ	FEPφ40(制御)	既設
	FEPφ50(電源)	既設
Ⓒ	FEPφ30(照明)	既設
Ⓓ	FEPφ30(水位計)×2	既設
Ⓔ	FEPφ30(水位計)×2	既設
	FEPφ30(流量計)	既設
	FEPφ30(照明)	既設
Ⓕ	FEPφ30(動力)	既設
	FEPφ30(制御)	既設
	FEPφ40(制御)	既設
Ⓖ	FEPφ30(照明)	既設

注 記

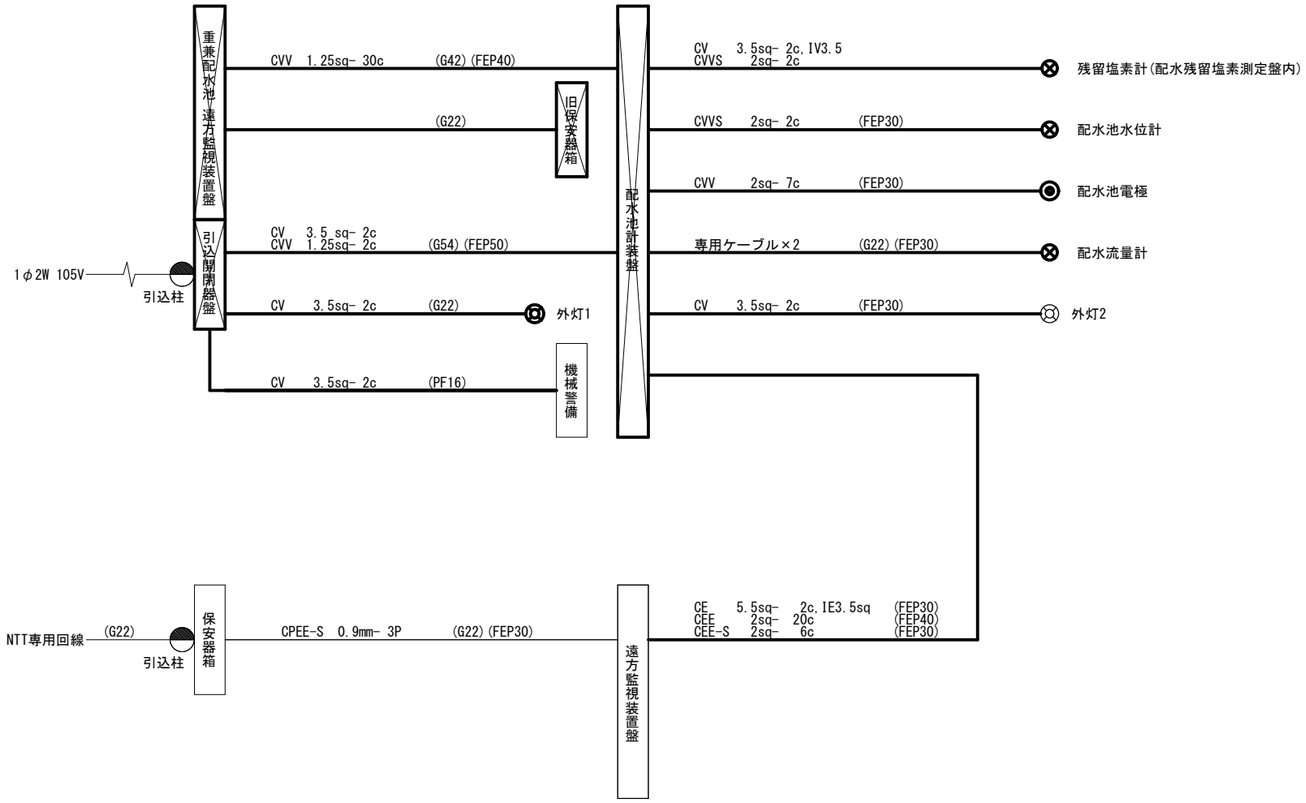
1．⊠ は，撤去を示す。
2．―― は，撤去を示す。
3．本図は，参考図とする。
4．特記なき事項は既設を示す。

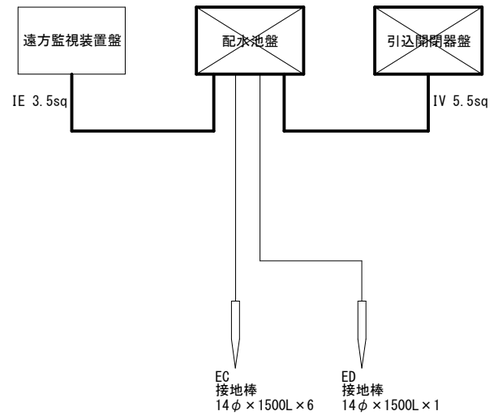
重兼配水池 配置配線図(撤去)

凡例

記 号	名 称	備 考
――――	埋設配管内配線	
― ― ―	露出配管内配線	

図面番号	PE-18	縮尺	1/100
工 種	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種 別	重兼配水池 配置配線図（撤去）		
工事箇所	東広島市高屋町溝口7-72		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			





接地系統図

注 記

1．☒ は，撤去を示す。
2．―― は，撤去を示す。
3．本図は，参考図とする。
4．特記なき事項は既設を示す。
5．重兼配水池遠方監視装置盤
及び旧保安器箱は現在機能停止。

図面番号	PE-19	縮尺	NTS
工　種	令和7年度 施設更新(耐震化)事業 岩友ポンプ所ほか設備更新工事		
種　別	重兼配水池 配線系統図(撤去)		
工事箇所	東広島市高屋町溝口7-72		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

重兼配水池 配線系統図(撤去)

参　考　図　書

工事名称　　：　　令和7年度　施設更新(耐震化)事業
　　岩友ポンプ所ほか設備更新工事

＜注意事項＞

１　本工事は、数量公開の対象工事です。

２　この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。
　数量は参考数量であり、設計図書ではありません。
　内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

３　この工事の積算にあたっては、次の図書を用いています。
　　下水道用設計標準歩掛表　令和７年度　－第２巻　ポンプ場・処理場－

４　本工事は広島県制定『土木工事共通仕様書』の規定のほか
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所制定 『広島県水道広域連合企業団 東広島事務所設計・施工指針（施工指針編)』、『広島県水道広域連合企業団 東広島事務所設計・施工指針（配管標準図集)』、『土工断面工事写真撮影例』、『立会・段階確認項目一覧表』に基づいて実施することとしておりますので、これらの入手もお願いいたします。

　入手先：広島県水道広域連合企業団ホームページよりダウンロードできます
　　トップページ＞事業者の皆様＞東広島事務所＞契約図書関係書類ダウンロード
　　（東広島事務所でもCDを貸し出ししております。）

5　その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

工事箇所	施設の名称	所在地	運搬距離
重兼配水池	株式会社大地リサイクルセンター第 9 残土処分場	東広島市河内町入野字大内原 987-1	8.6km

・当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

工事箇所	施設の名称	所在地	運搬距離
重兼配水池	光陽産業(株)河内営業所	東広島市河内町入野 2589	5.6km

・当該工事により発生するCo殻(有筋)は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

工事箇所	施設の名称	所在地	運搬距離
岩友ポンプ所	光陽産業(株)河内営業所	東広島市河内町入野 2589	6.4km

・当該工事により発生する鉄スクラップは、搬出先として、次の施設を見込んでいる。

工事箇所	施設の名称	所在地	運搬距離
岩友ポンプ所	(株)本田春荘商店 東広島営業所	東広島市西条中央4丁目 2-46	13.4km
重兼配水池	(株)本田春荘商店 東広島営業所	東広島市西条中央4丁目 2-46	9.1km

・当該工事により発生する廃プラスチック類は、搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種　別	施設の名称	所在地	運搬距離
岩友ポンプ所	(有)トラスト	東広島市西条町上三永 348-14	14.5km
重兼配水池	(有)トラスト	東広島市西条町上三永 348-14	8.9km

・当該工事により発生する建設汚泥は、搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種　別	施設の名称	所在地	運搬距離
重兼配水池	(有)トラスト	東広島市西条町上三永 348-14	8.9km

総括情報表

変更回数	0	
適用単価地区	44 東広島市	
単価適用日	00-07.12.01(0)	
諸経費体系	F　下水道機械設備	
	当世代	前世代
復興補正区分	00　補正なし	
前払金支出割合区分	00　補正無し	
週休補正区分	09　閉所型・月単位	
契約保証区分	01　金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工（機器費）	1	式			Y1800F　レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y28003F　レベル2
ポンプ設備工	1	式			Y280031F　レベル3
設計技術費対象	1	式			Y48003101F　レベル4
定水位弁 JIS10K　80A	1	台			F1001　00 岩友ポンプ所
給水ポンプユニット 0.51m3/min*110m*200V*60hz*11kW*3台	1	台			F1002　00 岩友ポンプ所
圧力タンク JIS20K　50A　200L	1	基			F1003　00 岩友ポンプ所
＊＊機器費＊＊					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
設備工	1	式			Y1900F　レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y29003F　レベル2
材料費	1	式			Y390032F　レベル3
直接材料費	1	式			Y49003201F　レベル4
2F単管 JIS10K　50A　362L SUS304　Sch10s	3	本			F1005　00 岩友ポンプ所
2F単管 JIS10K　80A　958L SUS304　Sch10s	1	本			F1006　00 岩友ポンプ所
2F単管 JIS20K　80A　719L SUS304　Sch20s	1	本			F1007　00 岩友ポンプ所
2F90°曲管 JIS10K　50A　142L*348L SUS304　Sch10s	3	本			F1008　00 岩友ポンプ所
2F90°曲管 JIS10K　80A　289L*150L SUS304　Sch10s	1	本			F1009　00 岩友ポンプ所

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
2F90°曲管 JIS20K　50A　117L*117L SUS304　Sch20s	1	本			F1010　00 岩友ポンプ所
2F90°曲管 JIS20K　80A　385L*182L SUS3004　Sch20s	1	本			F1011　00 岩友ポンプ所
2F90°曲管 JIS20K　80A　182L*182L SUS304　Sch20s	1	本			F1012　00 岩友ポンプ所
3FT字管 JIS10K　80A*50A*300L*150H SUS304　Sch10s	2	本			F1013　00 岩友ポンプ所
3FT字管 JIS10K　80A*50A*594L*150H SUS304　Sch10s	1	本			F1014　00 岩友ポンプ所
3FT字管 JIS20K　50A*2260L*130H SUS304　Sch20s	1	本			F1015　00 岩友ポンプ所
3FT字管 JIS20K　80A*50A*318L*120H SUS304　Sch20s	1	本			F1016　00 岩友ポンプ所
仕切弁 外ねじ式手動仕切弁 JIS10K　50A	3	個			F1023　00 岩友ポンプ所
仕切弁 外ねじ式手動仕切弁 JIS20K　50A	2	個			F1024　00 岩友ポンプ所

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
玉形フレキ JIS10K　50A	3	個			F1026　00 岩友ポンプ所
玉形フレキ JIS20K　50A	1	個			F1027　00 岩友ポンプ所
玉形フレキ JIS20K　80A	1	個			F1028　00 岩友ポンプ所
閉止フランジ JIS20K　50A SUS304	1	枚			F1029　00 岩友ポンプ所
付属材料費 ステンレス鋼管 50A,80A	1	式			F2001　00 岩友ポンプ所
配管サポート サポート① SUS製	1	個			F1030　00 岩友ポンプ所
配管サポート サポート② SS400製	1	個			F1031　00 岩友ポンプ所
配管材 SUS304　Sch40 20A	2.68	m			F0001　00 岩友ポンプ所
ボール弁 20A　ねじ込み式 SUS製	3	個			F0003　00 岩友ポンプ所

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
電磁弁 ねじ込み式電磁弁 20A　SUS製	1	個			F1025　00 岩友ポンプ所
付属材料費 ステンレス鋼管 20A	1	式			F2002　00 岩友ポンプ所
補助材料費	1	式			Y49003202F　レベル4
補助材料費（率分）	1	式			SY49202F　00 機械設備 単第0 -0001　表
労務費	1	式			Y390033F　レベル3
一般労務費	1	式			Y49003301F　レベル4
普通作業員	2	人			R0020　00
配管工	8	人			R0360　00
設備機械工	8	人			R0367　00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械設備据付労務費	1	式			Y49003302F レベル4
機械設備据付工標準賃金	9	人			R1130 00 A
複合工費	1	式			Y390034F レベル3
基礎工	1	式			Y49003403F レベル4
はつり工 人力施工	0.4	m3			SDT00033 00 単第0 -0002 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	0.8	m2			SPK25040159 00 単第0 -0003 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	0.4	m3			SPK25040157 00 単第0 -0004 表
モルタル工 仕上げ厚さ20mm	4	m2			V0001 00 単第0 -0005 表
直接経費	1	式			Y390035F レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械経費	1	式			Y49003503F レベル4
機械経費（率分）	1	式			SY49503F 00 機械設備 単第0 -0007 表
仮設費	1	式			Y390036F レベル3
仮設費（率分） ポンプ設備工	1	式			SY396F 00 機械設備 単第0 -0008 表
仮設材料費	1	式			Y4999 レベル4
仮設ポンプ室 3.05mW*2.63mD*2.33mH程度	1	式			F1004 00 岩友ポンプ所
配管材 HIVP φ75	11.1	m			F0002 00 岩友ポンプ所
付属材料費 HIVP	1	式			F2004 00 岩友ポンプ所
2F単管 JIS20K 80A 521L SGP-VB	1	本			F1017 00 岩友ポンプ所

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
2F単管 JIS20K　80A　565L SGP-VB	1	本			F1018　00 岩友ポンプ所
2F単管 JIS20K　80A　698L SGP-VB	1	本			F1019　00 岩友ポンプ所
2F単管 JIS20K　80A　1000L SGP-VB	6	本			F1020　00 岩友ポンプ所
2F90°曲管 JIS20K　80A 182L*182L SGP-VB	2	本			F1021　00 岩友ポンプ所
2F90°曲管 JIS20K　80A　568L*182L SGP-VB	1	本			F1022　00 岩友ポンプ所
付属材料費 SGP-VB	1	式			F2003　00 岩友ポンプ所
仮設労務費	1	式			Y4999　レベル4
普通作業員	3	人			R0020　00
配管工	18	人			R0360　00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
設備機械工	15	人			R0367　00
機械設備据付工標準賃金	22	人			R1130　00
仮設複合工費	1	式			Y4999　レベル4
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	14	m2			SPK25040034 00 単第0 -0009　表
＊＊直接工事費＊＊					
準備費					Z0002
準備費	1	式			YZ902　レベル2
準備費	1	式			YZ902001　レベル3
準備費	1	式			YZ902001001レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土運搬費(2t積、4t積) 運搬距離6.4ｋｍ　ＤＩＤ区間無し ４ｔ積 コンクリート塊（鉄筋）	0.9	m3			SQ007　00 単第0 -0010　表
殻処分費 Co殻（有筋）	2.25	t			F0102　00 岩友ポンプ所
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付トラック　４ｔ積・２．９ｔ 片道運搬距離　13.4km	1	回			SQ601　00 単第0 -0012　表
鉄屑(ヘビーH1) 厚さ6mm以上,幅高500mm以下 長さ1,200mm以下,質量1,000kg以下	3.08	t			T100E007　00
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付トラック　２ｔ積・２ｔ吊 片道運搬距離　14.5km	1	回			SQ601　00 単第0 -0014　表
産業廃棄物処分費 廃プラスチック類	0.02	t			F0103　00 岩友ポンプ所
共通仮設費率分					Z0010
計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
＊＊共通仮設費＊＊					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
据付間接費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊据付工事原価＊＊					
設計技術費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分額 計算情報…… 対象額…… 率……		機器補正率…			前払補正率… 対象額合計…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
＊＊一般管理費計＊＊					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事価格計＊＊					
消費税相当額 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊請負工事費計＊＊					

施工単価表

補助材料費（率分）　SY49202F　単第0 -0001　表

機械設備　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
補助材料費（率分）	1.00	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

はつり工　　SDT00033　　単第0 -0002　表

人力施工　　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 人力施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 D=1　時間的制約なし			B=2　人力施工		

施工単価表

型枠　SPK25040159　単第0 -0003　表

一般型枠　鉄筋・無筋構造物　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 10,100.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

コンクリート　SPK25040157　単第0 -0004　表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB　人力打設　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 28.68%　材料構成比: 71.32%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 30,615.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

モルタル工　　V0001　　単第0 -0005　表

仕上げ厚さ20mm　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
モルタル仕上げ	1	m2			
モルタル練 高炉	0.02	m3			単第0-0006　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

モルタル練　　SPK25040158　　単第0 -0006　表

高炉　　1　m3　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　82.04%　材料構成比:　17.96%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　102,720.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	54.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	12.48%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.48%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1　高炉			B=1　-(全ての費用)		

施工単価表

機械経費（率分）　SY49503F　単第0 -0007　表

機械設備　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
機械経費（率分）	1.00	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

仮設費（率分）　SY396F　単第0 -0008　表

ポンプ設備工　機械設備　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設費率分額	1.00	式			機械設備
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=3　ポンプ設備工					

施工単価表

基礎砕石　SPK25040034　単第0 -0009　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　RC-40　1　m2　当り

機械構成比:　5.33%　労務構成比:　78.32%　材料構成比:　16.35%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,263.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	5.30%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	37.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.75%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	9.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40～0mm	11.39%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.93%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

基礎砕石　SPK25040034　単第0 -0009　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　RC-40　1　m2　当り

機械構成比:　5.33%　労務構成比:　78.32%　材料構成比:　16.35%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,263.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2　砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 D=1　-(全ての費用)			B=1　RC-40		

施工単価表

発生土運搬費(2t積、4t積)　SQ007　単第0 -0010　表

運搬距離6.4ｋｍ　ＤＩＤ区間無し　４ｔ積 コンクリート塊（鉄筋）　10　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル・４ｔ積級	0.754	日			単第0-0011　表 0.55*1.37
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=2　４ｔ積 C=6.4　運搬距離（ｋｍ） E=0　運搬日数			B=4　BH山積0.45m3又クレーン付2.9t吊山積0.45m3 D=1　ＤＩＤ区間無し F=3　コンクリート塊（鉄筋）		

施工単価表

ダンプトラック運転　S9050　単第0 -0011　表

オンロード・ディーゼル・４ｔ積級　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	32.00	L			
運転手(一般)	1.00	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック　４ｔ（良）	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=2　オンロード・ディーゼル・４ｔ積級 C=32　軽油消費量（Ｌ／日） E=1　路面状況：良好 G=0　労務単価の夜間等割増率			B=1　運転労務数量（人／日） D=1.29　機械損料数量（供用日／日） F=1		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬　SQ601　単第0 -0012　表

クレーン装置付トラック　４ｔ積・２．９ｔ　片道運搬距離　13.4km　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.313	人			
機-01_トラック(クレーン装置付)運転 ベーストラック4～4.5t積_吊能力2.9t	1.668	時間			単第0-0013　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=2　４ｔ積・２．９ｔ吊 C=3.1　運搬１回当り平均積載質量：ｑ（ｔ）			B=13.4　片道運搬距離：Ｌ（km）		

施工単価表

機-01_トラック(クレーン装置付)運転　S9056　単第0 -0013　表

ベーストラック4～4.5t積_吊能力2.9t　1　時間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.17	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.30	L			
トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t	1	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	時間			
A=4　ベーストラック4～4.5t積_吊能力2.9t C=0　特殊運転手数量(人/h) 省略=自動計算			B=0　労務単価の夜間等割増率 D=0　燃料消費量 (L/h) 標準=省略		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬　SQ601　単第0 -0014　表

クレーン装置付トラック　２ｔ積・２ｔ吊　片道運搬距離　14.5km　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.186	人			
機-01_トラック(クレーン装置付)運転 ベーストラック2t積_吊能力2.0t	0.992	時間			単第0-0015　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=1　２ｔ積・２ｔ吊 C=0.1　運搬１回当り平均積載質量：ｑ（ｔ）			B=14.5　片道運搬距離：Ｌ（km）		

施工単価表

機-01_トラック(クレーン装置付)運転　S9056　単第0 -0015　表

ベーストラック2t積_吊能力2.0t　1　時間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.17	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.90	L			
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.0t	1	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	時間			
A=2　ベーストラック2t積_吊能力2.0t C=0　特殊運転手数量(人/h) 省略=自動計算			B=0　労務単価の夜間等割増率 D=0　燃料消費量 (L/h) 標準=省略		

総括情報表

変更回数	0	
適用単価地区	44 東広島市	
単価適用日	00-07.12.01(0)	
諸経費体系	G 下水道電気設備	
	当世代	前世代
復興係数区分	00 補正なし	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
週休補正区分	09 閉所型・月単位	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工（機器費）	1	式			Y1800G　レベル1
電気設備工	1	式			Y28001G　レベル2
電気設備工	1	式			Y280011G　レベル3
設計技術費対象	1	式			Y28001101G　レベル4
引込開閉器盤 屋外装柱形　W500*H1000*D200 SUS製	1	面			F1001　00 重兼配水池
配水池計装盤 屋外自立前面扉形　W800*H2300*D800 SUS製	1	面			F1002　00 重兼配水池
残留塩素測定盤 屋外自立前面扉形　W800*H1850*D800 SUS製	1	面			F1003　00 重兼配水池
残留塩素計 ポーラログラフ式　0～2mg/L AC100V	1	台			F1004　00 重兼配水池

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
配水流量計 電磁式　0～200m3/h JIS10K　200A	1	台			F1005　00 重兼配水池
配水池水位計 投込式　0～6m	1	組			F1006　00 重兼配水池
吊下式水中電極 5m	1	組			F1007　00 重兼配水池
遠方監視装置盤機能増設	1	式			F1008　00 重兼配水池
東広島事務所監視制御装置機能増設	1	式			F1009　00 重兼配水池
＊＊機器費＊＊					
設備工	1	式			Y1900G　レベル1
電気設備工	1	式			Y29001G　レベル2
材料費	1	式			Y390012G　レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
直接材料費	1	式			Y49001201G レベル4
低圧ケーブル 600V EM-CE 14sq-3c	3.9	m			F0001 00 岩友ポンプ所
制御ケーブル EM-CEE 1.25sq-15c	3.9	m			F0002 00 岩友ポンプ所
制御ケーブル EM-CEE 1.25sq-5c	8.0	m			F0003 00 岩友ポンプ所
制御ケーブル EM-CEE 1.25sq-3c	6.7	m			F0004 00 岩友ポンプ所
その他電線 EM-IE 22sq	3.9	m			F0005 00 岩友ポンプ所
付属材料費 ケーブル類	1	式			F0009 00 岩友ポンプ所
液位検出端 電極保持器5P	1	個			F0006 00 岩友ポンプ所
保護カバー	1	個			F0007 00 岩友ポンプ所

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
電極棒 SUS製	3	m			F0008 00 岩友ポンプ所
低圧ケーブル 600V EM-CE 14sq-2c	49.4	m			F0101 00 重兼配水池
低圧ケーブル 600V EM-CE 3.5sq-2c	7.3	m			F0102 00 重兼配水池
低圧ケーブル 600V EM-CE 2sq-2C	81.2	m			F0103 00 重兼配水池
制御ケーブル EM-CEE 1.25sq-20C	7.3	m			F0104 00 重兼配水池
制御ケーブル EM-CEE 1.25sq-7c	48.8	m			F0105 00 重兼配水池
制御ケーブル EM-CEE 1.25sq-3c	2.0	m			F0106 00 重兼配水池
制御ケーブル EM-CEE 1.25sq-2c	43.9	m			F0107 00 重兼配水池
制御ケーブル EM-CEE-S 1.25sq-6c	7.3	m			F0108 00 重兼配水池

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
制御ケーブル EM-CEE-S　1.25sq-2c	50.8	m			F0109　00 重兼配水池
その他電線 EM-IE　3.5sq	7.3	m			F0110　00 重兼配水池
付属材料費 ケーブル類	1	式			F0010　00 重兼配水池
電線管類 FEP50 難燃性	3.6	m			F0111　00 重兼配水池
電線管類 FEP40 難燃性	7.2	m			F0112　00 重兼配水池
電線管類 FEP30 難燃性	6.0	m			F0113　00 重兼配水池
電線管類 G28	7.0	m			F0114　00 重兼配水池
電線管類 G22	10.2	m			F0115　00 重兼配水池
付属材料費 電線管類	1	式			F0011　00 重兼配水池

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
接地装置 接地棒φ14*1500	1	本			F0116　00 重兼配水池
接地埋設標 黄銅製　国土交通省仕様	1	枚			F0121　00 重兼配水池
電線管類 プルボックス SUS-WP　400*400*200	1	個			F0117　00 重兼配水池
電線管類 プルボックス SUS-WP 300*300*200	1	個			F0118　00 重兼配水池
配管材 SGP-VB　20A	5.5	m			F0119　00 重兼配水池
付属材料費 SGP-VB	1	式			F0012　00 重兼配水池
照明器具 LED照明器具 屋外用　ブラケット形	1	個			F0120　00 重兼配水池
補助材料費	1	式			Y49001202G レベル4
補助材料費（率分）	1	式			SY49202G　00 電気設備 単第0 -0001　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
労務費	1	式			Y390013G　レベル3
一般労務費	1	式			Y49001301G レベル4
電工	2	人			R0090　00 岩友ポンプ所
電工	38	人			R0090　00 重兼配水池
配管工	1	人			R0360　00 重兼配水池
技術労務費	1	式			Y49001302G レベル4
電気通信技術者（据付）	5	人			R1110　00 重兼配水池 A
電気通信技術者（単体調整）	3	人			R1110　00 重兼配水池 A
電気通信技術者（組合試験）	1	人			R1110　00 重兼配水池 A

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
複合工費	1	式			Y390014G　レベル3
盤基礎工	1	式			Y49001403G レベル4 重兼配水池
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	3	m2			SPK25040034 00 単第0 -0002　表
均しコンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.1	m3			SPK25040157 00 単第0 -0003　表
鉄筋 SD295 D13	0.06	t			SPK25040335 00 単第0 -0004　表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	3	m2			SPK25040159 00 単第0 -0005　表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	0.7	m3			SPK25040157 00 単第0 -0006　表
土工	1	式			Y49001404G レベル4 重兼配水池
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	15	m			SPK25040307 00 単第0 -0007　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破砕積込(小規模土工)	7	m2			SPK25040018 00 単第0 -0008 表
管路掘削 クローラ型山積0.08m3(平積0.06m3)	3	m3			SQ005 00 単第0 -0009 表
管路埋戻 BH投入・タンパ締固め クローラ型山積0.08m3(平積0.06m3)	1	m3			SQ006 00 単第0 -0011 表
巻砂工	0.1	m3			SG1D0019001 00 単第0 -0013 表
路盤工 施工幅　1.8m未満 一層仕上り厚10cm	5	m2			SQZ10 00 単第0 -0014 表
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚40mm	5	m2			SPK25040244 00 単第0 -0016 表
直接経費	1	式			Y390015G レベル3
機械経費	1	式			Y49001503G レベル4
機械経費（率分）	1	式			SY49503G 00 電気設備 単第0 -0017 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設費	1	式			Y390016G　レベル3
仮設費（率分）	1	式			SY396G　00 電気設備 単第0 -0018　表
＊＊直接工事費＊＊					
準備費					Z0002
準備費	1	式			YZ902　レベル2
準備費	1	式			YZ902001　レベル3
準備費	1	式			YZ902001001レベル4
スクラップ処理 2号銅線	-4.04	kg			F0123　00 岩友ポンプ所
スクラップ処理 ナゲット処理	3.86	kg			F0124　00 岩友ポンプ所

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付トラック　２ｔ積・２ｔ吊 片道運搬距離　13.4km	1	回			SQ601　00 岩友ポンプ所 単第0 -0019　表
残土処分費	2	m3			F0126　00 重兼配水池
発生土運搬費(2t積、4t積) 運搬距離8.6ｋｍ　ＤＩＤ区間無し ２ｔ積 土砂	2	m3			SQ007　00 重兼配水池 単第0 -0021　表
排水汚泥処分費	0.01	m3			F000000300　00 重兼配水池
汚泥運搬工	0.07	日			V000000100　00 重兼配水池 単第0 -0023　表
殻処分費 As殻	0.7	t			F0128　00 重兼配水池
発生土運搬費(2t積、4t積) 運搬距離5.6ｋｍ　ＤＩＤ区間無し ２ｔ積 As塊・Co塊（無筋）	0.3	m3			SQ007　00 重兼配水池 単第0 -0025　表
スクラップ処理 2号銅線	-29.2	kg			F0123　00 重兼配水池
スクラップ処理 ナゲット処理	49	kg			F0124　00 重兼配水池

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄屑(ヘビーH1) 厚さ6㎜以上,幅高500㎜以下 長さ1,200㎜以下,質量1,000kg以下	-0.67	t			T100E007　00 重兼配水池
鉄屑(ヘビーH3) 厚さ1㎜以上3㎜未満,幅高500㎜以下 長さ1,200㎜以下,質量1,000kg以下	-0.05	t			T100E005　00 重兼配水池
産業廃棄物処理 廃プラスチック類	0.0002	t			F0125　00 重兼配水池
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付トラック　２ｔ積・２ｔ吊 片道運搬距離　9.1㎞	1	回			SQ601　00 重兼配水池 単第0 -0026　表
共通仮設費率分					Z0010
計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
＊＊共通仮設費＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
据付（技術者）間接費 計算情報…… 対象額…… 率……					
据付（機　器）間接費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
＊＊据付工事原価＊＊					
設計技術費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分額 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 対象額合計…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
＊＊一般管理費計＊＊					
＊＊工事価格計＊＊					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
消費税相当額 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊請負工事費計＊＊					

施工単価表

補助材料費（率分）　SY49202G　単第0 -0001　表

電気設備　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
補助材料費（率分）	1.00	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

基礎砕石　SPK25040034　単第0 -0002　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　RC-40　1　m2　当り

機械構成比:　5.33%　労務構成比:　78.32%　材料構成比:　16.35%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,263.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	5.30%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	37.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.75%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	9.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40～0mm	11.39%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.93%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

基礎砕石　SPK25040034　単第0 -0002　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　RC-40　1　m2　当り

機械構成比:　5.33%　労務構成比:　78.32%　材料構成比:　16.35%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,263.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2　砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 D=1　-(全ての費用)			B=1　RC-40		

施工単価表

均しコンクリート　SPK25040157　単第0 -0003　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB　人力打設　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 26.35%　材料構成比: 73.65%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 29,644.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	11.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	5.96%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	73.65%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=1 養生工無し J=1 -		

施工単価表

鉄筋　SPK25040335　単第0 -0004　表

SD295 D13　1　t　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 69.62%　材料構成比: 30.38%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 406,140.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	39.58%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	18.76%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD295,D13 単位質量0.995kg/m	30.38%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPCD0446 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=2　SD295 D13			B=1　-(全ての費用)		

施工単価表

型枠　SPK25040159　単第0 -0005　表

一般型枠　鉄筋・無筋構造物　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 10,100.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

コンクリート　SPK25040157　単第0 -0006　表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB　人力打設　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 28.68%　材料構成比: 71.32%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 30,615.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

舗装版切断　SPK25040307　単第0 -0007　表

アスファルト舗装版　アスファルト舗装版厚15cm以下　1　m　当り

機械構成比: 15.05%　労務構成比: 58.43%　材料構成比: 26.52%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 700.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　SPK25040307　単第0 -0007　表

アスファルト舗装版　アスファルト舗装版厚15cm以下　1　m　当り

機械構成比:　15.05%　労務構成比:　58.43%　材料構成比:　26.52%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　700.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1　アスファルト舗装版 E=1　-(全ての費用)			B=1　アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

舗装版破砕積込(小規模土工)　SPK25040018　単第0 -0008　表

1　m2　当り

機械構成比:　20.13%　労務構成比:　71.97%　材料構成比:　7.90%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　1,747.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　-(全ての費用)					

施工単価表

管路掘削　SQ005　単第0 -0009　表

クローラ型山積0.08m3(平積0.06m3)　100　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.800	人			
普通作業員	7.800	人			
機-23,24_小型バックホウ運転 クローラ[標準型]山積0.08m3(平積0.06m3) 排出ガス対策型1次基準	2.632	日			単第0-0010　表 100/38
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　クローラ型山積0.08m3(平積0.06m3)			B=2　排出ガス対策型1次基準		

施工単価表

機-23,24_小型バックホウ運転　S9001　単第0 -0010　表

クローラ[標準型]山積0.08m3(平積0.06m3)　排出ガス対策型1次基準　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	17.00	L			
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.08/平積0.06m3	1.78	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　運転労務数量（人/日） C=1.78　機械損料数量（供用日/日） E=1			B=17　軽油消費量（L/日） D=3　クローラ[標準型]山積0.08m3(平積0.06m3) F=2　排出ガス対策型1次基準		

施工単価表

管路埋戻　　SQ006　　単第0 -0011　表

BH投入・タンパ締固め　　クローラ型山積0.08m3(平積0.06m3)　　100　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	6.8	人			
機-23,24_小型バックホウ運転 クローラ[標準型]山積0.08m3(平積0.06m3) 排出ガス対策型1次基準	1.754	日			単第0-0010　表 100/57
タンパ運転（賃料） 質量　６０～８０kg	3	日			単第0-0012　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　BH投入・タンパ締固め C=1　クローラ型山積0.08m3(平積0.06m3)			B=1　材料別途計上 D=2　排出ガス対策型1次基準		

施工単価表

タンパ運転（賃料）　S9000017　単第0 -0012　表

質量　６０～８０kg　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	5.00	L			
特殊作業員	1.00	人			
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	1.38	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　運転労務数量（人／日） C=1.38　機械賃料数量（供用日／日）			B=5　燃料消費量（L／日）		

施工単価表

巻砂工　　SG1D0019001　　単第0 -0013　表

1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
再生砂	1.200	m3			
砂基礎設置【手間のみ】 人力施工	1	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=2　砂(各種) C=1.2　土量変化率を考慮した土量(m3/m3) E=1　-			B=100　【F】砂(m3) D=1　-		

施工単価表

路盤工　　SQZ10　　単第0 -0014　表

施工幅　1.8m未満　　一層仕上り厚10cm　　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.780	人			
再生粒度調整砕石 30～0mm	12.700	m3			
タンパ運転（賃料） 質量　６０～８０kg	0.450	日			単第0-0015　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　施工幅　1.8m未満 C=10　一層仕上り厚（cm）			B=9　再生粒度調整砕石（RM-30）		

施工単価表

タンパ運転（賃料）　S9000017　単第0 -0015　表

質量　６０～８０kg　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	4.00	L			
特殊作業員	1.00	人			
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	1.61	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　運転労務数量（人／日） C=1.61　機械賃料数量（供用日／日）			B=4　燃料消費量（L／日）		

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK25040244　単第0 -0016　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚40mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.43%　労務構成比: 44.34%　材料構成比: 55.23%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 2,891.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg	0.13%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.57%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.28%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	50.52%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.48%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK25040244　単第0 -0016　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚40mm　1　m2　当り

機械構成比:　0.43%　労務構成比:　44.34%　材料構成比:　55.23%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　2,891.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1　平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6　再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1　- I=1　-(全ての費用)			B=40　1層当り平均仕上り厚(mm) E=2　PK-3 H=1　-		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):40.000(mm)					

施工単価表

機械経費（率分）　SY49503G　単第0 -0017　表

電気設備　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
機械経費（率分）	1.00	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

仮設費（率分）　SY396G　単第0 -0018　表

電気設備　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設費率分額	1.00	式			電気設備
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬　SQ601　単第0 -0019　表

クレーン装置付トラック　２ｔ積・２ｔ吊　片道運搬距離　13.4km　岩友ポンプ所　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.172	人			
機-01_トラック(クレーン装置付)運転 ベーストラック2t積_吊能力2.0t	0.918	時間			単第0-0020　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=1　２ｔ積・２ｔ吊 C=0.1　運搬１回当り平均積載質量：ｑ（ｔ）			B=13.4　片道運搬距離：Ｌ（km）		

施工単価表

機-01_トラック(クレーン装置付)運転　S9056　単第0 -0020　表

ベーストラック2t積_吊能力2.0t　1　時間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.17	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.90	L			
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.0t	1	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	時間			
A=2　ベーストラック2t積_吊能力2.0t C=0　特殊運転手数量(人/h) 省略=自動計算			B=0　労務単価の夜間等割増率 D=0　燃料消費量 (L/h) 標準=省略		

施工単価表

発生土運搬費(2t積、4t積)　SQ007　単第0 -0021　表

運搬距離8.6ｋｍ　ＤＩＤ区間無し　２ｔ積 土砂　重兼配水池　10　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル・２ｔ積級	1.500	日			単第0-0022　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　２ｔ積 C=8.6　運搬距離（ｋｍ） E=0　運搬日数			B=1　小型BH山積0.08m3(平積0.06m3) D=1　ＤＩＤ区間無し F=1　土砂		

施工単価表

ダンプトラック運転　S9050　単第0 -0022　表

オンロード・ディーゼル・２ｔ積級　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	21.00	L			
運転手(一般)	1.00	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 2t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック　２ｔ（良）	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　オンロード・ディーゼル・２ｔ積級 C=21　軽油消費量（Ｌ／日） E=1　路面状況：良好 G=0　労務単価の夜間等割増率			B=1　運転労務数量（人／日） D=1.29　機械損料数量（供用日／日） F=1		

施工単価表

汚泥運搬工　V000000100　単第0 -0023　表

重兼配水池　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ライトバン運転 二輪駆動 排気量1.5L	1	日			単第0-0024　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

ライトバン運転　　V000000200　　単第0 -0024　表

二輪駆動　　排気量1.5L　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1	人			
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	17.4	L			
ライトバン運転 二輪駆動　乗車定員5名　排気量1.5L	1.19	供用日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

発生土運搬費(2t積、4t積)　SQ007　単第0 -0025　表

運搬距離5.6ｋｍ　ＤＩＤ区間無し　２ｔ積 As塊・Co塊（無筋）　重兼配水池　10　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル・２ｔ積級	1.690	日			単第0-0022　表 1.3*1.3
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　２ｔ積 C=5.6　運搬距離（ｋｍ） E=0　運搬日数			B=1　小型BH山積0.08m3(平積0.06m3) D=1　ＤＩＤ区間無し F=2　As塊・Co塊（無筋）		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬　SQ601　単第0 -0026　表

クレーン装置付トラック　２ｔ積・２ｔ吊　片道運搬距離　9.1km　重兼配水池　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.161	人			
機-01_トラック(クレーン装置付)運転 ベーストラック2t積_吊能力2.0t	0.857	時間			単第0-0020　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=1　２ｔ積・２ｔ吊 C=1　運搬１回当り平均積載質量：ｑ（ｔ）			B=9.1　片道運搬距離：Ｌ（km）		

岩友ポンプ所ほか設備更新工事

機械設備数量計算書

数量集計表

工　種	名　称	形状・寸法	算　　式	単位	数　量
＜ 機 器 ＞	定水位弁	定水位弁 80A		台	1
	給水ポンプユニット	給水ユニット φ50×0.51m³/分×110m×11kW		式	1
	圧力タンク	鋼板製圧力タンク 200L		基	1

数量集計表

工　種	名　称	形状・寸法	算　　式	単位	数　量
＜小配管＞	SUS	SUS304 sch40 20A 支持材料有り、塗装無し		m	2.68
	付属材料費	SUS 20A 材料費×1.40倍		式	1
＜配管類＞	2F短管	SUS304 sch10s JIS10K 50A×362L		本	3
	2F短管	SUS304 sch10s JIS10K 80A×958L		本	1
	2F短管	SUS304 sch20s JIS20K 80A×719L		本	1
	2F90°曲管	SUS304 sch10s JIS10K 50A×142L×348L		本	3
	2F90°曲管	SUS304 sch10s JIS10K 80A×289L×150L		本	1
	2F90°曲管	SUS304 sch20s JIS20K 50A×117L×117L		本	1
	2F90°曲管	SUS304 sch20s JIS20K 80A×385L×182L		本	1
	2F90°曲管	SUS304 sch20s JIS20K 80A×182L×182L		本	1
	3FT字管	SUS304 sch10s JIS10K 80A×50A×300L×150H		本	2
	3FT字管	SUS304 sch10s JIS10K 80A×50A×594L×150H		本	1
	3FT字管	SUS304 sch20s JIS20K 50A×260L×130H		本	1
	3FT字管	SUS304 sch20s JIS20K 80A×50A×318L×120H		本	1

数量集計表

工　種	名　称	形状・寸法	算　　式	単位	数　量
＜ 材 料 ＞	仕切弁	JIS10K 50A		個	3
	仕切弁	JIS20K 50A		個	2
	ボール弁	SUS製 ねじ込み式 20A		個	3
	電磁弁	ねじ込み式 20A		個	1
	玉形フレキ	JIS10K 50A		個	3
	玉形フレキ	JIS20K 50A		個	1
	玉形フレキ	JIS20K 80A		個	1
	閉止フランジ	SUS304 JIS20K 50A		枚	1
	定水位弁サポート			個	1
	配管サポート			個	1

数量集計表

工　種	名　称	形状・寸法	算　　式	単位	数　量
＜複合工＞	コンクリート工	鉄筋　強度24		m^3	0.40
	はつり工	鉄筋コンクリート		m^3	0.40
	モルタル工	モルタル仕上工 厚さ20mm		m^2	4.00
	型枠工			m^2	0.80
＜処分工＞	産業廃棄物処理工	コンクリートガラ 有筋		m^3	0.90
	スクラップ	H1		t	0.22
＜ 運 搬 ＞	搬出運搬（4t車）	コンクリートガラ 有筋		t	2.25
	搬出運搬（4t車）	スクラップ（H1）		t	0.22

数量集計表

工　種	名　称	形状・寸法	算　　式	単位	数　量
＜ 労 務 ＞	一般労務				
	機械設備据付工		9.341　→　9	人	9
	普通作業員		2.004　→　2	人	2
	配管工		8.807　→　8	人	8
	設備機械工		8.883　→　8	人	8

数量集計表

工　種	名　称	形状・寸法	算　　式	単位	数　量
	＜積み上げ仮設費＞				
＜ 機 器 ＞	仮設ポンプ室	3100W×2650D×2350H（参考）		式	1
＜小配管＞	HIVP	φ75 支持材料無し、塗装無し		m	11.1
	付属材料費	HIVP φ75 材料費×1.35倍		式	1
＜配管類＞	2F短管	SGP-VB JIS20K 80A×521L		本	1
	2F短管	SGP-VB JIS20K 80A×565L		本	1
	2F短管	SGP-VB JIS20K 80A×698L		本	1
	2F短管	SGP-VB JIS20K 80A×1000L		本	6
	2F90° 曲管	SGP-VB JIS20K 80A×182L×182L		本	2
	2F90° 曲管	SGP-VB JIS20K 80A×568L×182L		本	1

数量集計表

工　種	名　称	形状・寸法	算　　式	単位	数　量
＜複合工＞	砕石			m^3	14
＜処分工＞	産業廃棄物処理工	廃プラ		t	0.02
	スクラップ	H1		t	2.86
＜ 運 搬 ＞	搬出運搬（4t車）	廃プラ		式	1
	搬出運搬（4t車）	スクラップ（H1）		式	1

数量集計表

工　種	名　称	形状・寸法	算　　式	単位	数　量
＜ 労 務 ＞	積上げ仮設労務費				
	機械設備据付工		22.468　→　22	人	22
	普通作業員		3.684　→　3	人	3
	配管工		18.805　→　18	人	18
	設備機械工		15.631　→　15	人	15

直接労務費集計表　　給水ポンプ設備　　単位：人

項目	機械設備据付工	普通作業員	配管工	設備機械工	ダクト工	電工	技術者	
機械等据付工	9.341	1.038		0.147				
小配管布設工 （ステンレス鋼鋼管）			5.818					
機械等撤去工		0.930＋0.036＝ 0.966		8.369＋0.368＝ 8.736				
小配管撤去工 （ステンレス鋼鋼管）			2.586＋0.404＝ 2.990					
計	9.341	2.004	8.807	8.883				
設計書計上数量	9	2	8	8				

機器等据付け歩掛り分類表

分類	分類目標	機器等名称	歩掛り
第1類	比較的高速回転の回転機器	ポンプ、送風機、電動機、減速機 真空ポンプ、空気圧縮機、エンジン 遠心濃縮機、遠心脱水機	12.2 X $^{0.711}$
第2類	しん(芯)出し調整の楽な機器	弁類（自動弁φ100mm以上、手動弁 φ400mm以上）、フィルタ（油式・乾式） 電動機用抵抗制御器、水中ポンプファン、水中機械曝気機	4.8 X $^{0.776}$
第3類	しん(芯)出し調整が必要な機器	阻水ゲート、制水ゲート、塩素機器 ボイラ	14.2 X $^{0.676}$
第4類	貯留機器	タンク類、塔類（スクラバ、サイレンサ） 熱交換器、ストレーナ類、急速ろ過器	4.8 X
第5類	散気設備	散気板、散気筒（散気管）	別表により算出
第6類	比較的低速回転で、現場粗立部品の多いもの	沈砂池機械、沈殿池機械、コンベア ホッパ、汚泥濃縮タンク機械 物上げ機械、脱水機（BP、加圧） 機械曝気（OD用）	7.5 X
第7類	安全設備，架台	鋼製渡り、手すり、鋼製蓋類 管支持架台、防泡金網、階段	4.9 X

注　本表は、機械設備工事に使用される主な機種を分類掲載したものである。本表に掲載されていない機種を使用する場合は、分類目標により分類し使用するものとする。

給水ポンプ設備（据付）

機器名称	種別	単位重量	台数	歩掛り		据付工		電工		輸送重量	備考
		（t/台）		（人/台）	補正率	据付人工	設備機械工		電 工	(t)	
定水位弁	第4類	0.030	1	0.144	1.0	0.144				0.030	
給水ポンプユニット	第1類	0.700	1	9.467	1.0	9.467				0.700	
圧力タンク	第4類	0.160	1	0.768	1.0	0.768				0.160	
鋼製架台類	第7類	0.030	1	0.147	1.0		0.147			0.030	鋼材料集計表より
										（合計）	
										0.920t	輸送費

計	10.379	0.147				
機械設備据付工　×0.9	9.341					9.341人
普通作業員　×0.1	1.038					1.038人
設備機械工		0.147				0.147人
電工						

ステンレス鋼鋼管布設工

管 種： ステンレス鋼鋼管

呼び径 (mm)	屋内			屋外			埋設			呼び径 (mm)
	設計数量 (m)	配　管　工		設計数量 (m)	配　管　工		設計数量 (m)	配　管　工		
		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）	
13										13
15		0.17			0.13			0.07		15
20	2.68	0.20	0.536		0.16			0.09		20
25		0.24			0.19			0.11		25
32		0.29			0.23			0.12		32
40		0.35			0.28			0.15		40
50	5.45	0.42	2.289		0.33			0.19		50
65		0.53			0.42			0.21		65
80	4.75	0.63	2.993		0.50			0.24		80
100		0.78			0.62			0.35		100
125		0.96			0.76			0.45		125
150		1.14			0.91			0.54		150
200		1.50			1.20			0.75		200
250		1.86			1.48			1.00		250
300		2.22			1.77			1.27		300
350		2.58			2.20			1.50		350
小　計			5.818							小　計

配　管　工	5.818	5.818　人

小配管材料集計表

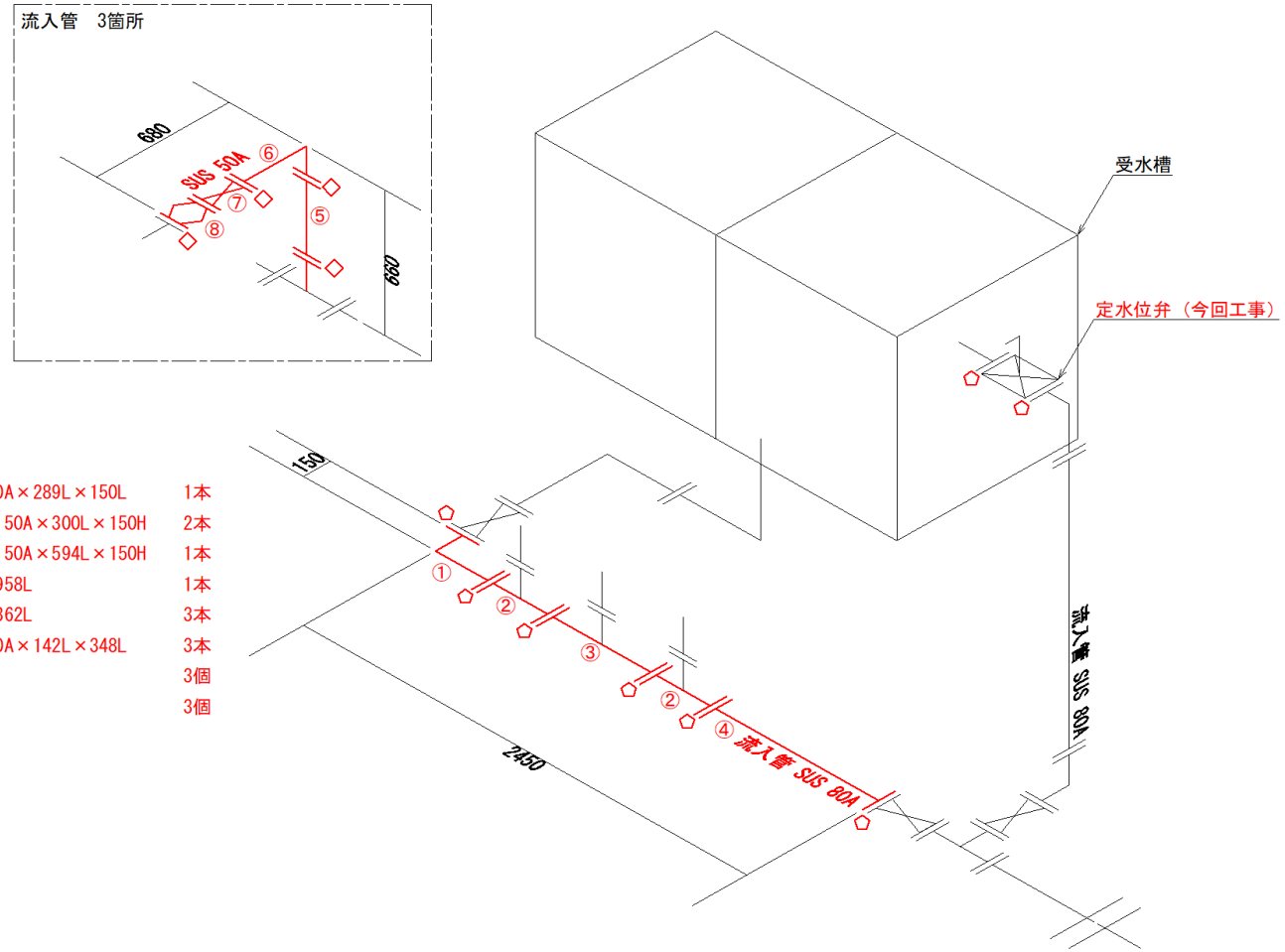
工　種	名　称	形状・寸法	算　　式	単位	数　量
＜小配管＞	SUS	SUS304 sch40 20A 支持材料有り、塗装無し	小配管拾い集計表より 2.68	m	2.68
	付属材料費	SUS 20A 材料費×1.40倍	1	式	1
＜配管類＞	2F短管	SUS304 sch10s JIS10K 50A×362L	スケルトン1 3	本	3
	2F短管	SUS304 sch10s JIS10K 80A×958L	スケルトン1 1	本	1
	2F短管	SUS304 sch20s JIS20K 80A×719L	スケルトン2 1	本	1
	2F90°曲管	SUS304 sch10s JIS10K 50A×142L×348L	スケルトン1 3	本	3
	2F90°曲管	SUS304 sch10s JIS10K 80A×289L×150L	スケルトン1 1	本	1
	2F90°曲管	SUS304 sch20s JIS20K 50A×117L×117L	スケルトン2 1	本	1
	2F90°曲管	SUS304 sch20s JIS20K 80A×385L×182L	スケルトン2 1	本	1
	2F90°曲管	SUS304 sch20s JIS20K 80A×182L×182L	スケルトン2 1	本	1
	3FT字管	SUS304 sch10s JIS10K 80A×50A×300L×150H	スケルトン1 2	本	2
	3FT字管	SUS304 sch10s JIS10K 80A×50A×594L×150H	スケルトン1 1	本	1
	3FT字管	SUS304 sch20s JIS20K 50A×260L×130H	スケルトン2 1	本	1
	3FT字管	SUS304 sch20s JIS20K 80A×50A×318L×120H	スケルトン2 1	本	1

小配管材料集計表

工　種	名　称	形状・寸法	算　　式	単位	数　量
＜ 材 料 ＞	仕切弁	JIS10K 50A	スケルトン1 3	個	3
	仕切弁	JIS20K 50A	スケルトン2 2	個	2
	ボール弁	SUS製 ねじ込み式 20A	スケルトン3 3	個	3
	電磁弁	ねじ込み式 20A	スケルトン3 1	個	1
	玉形フレキ	JIS10K 50A	スケルトン1 3	個	3
	玉形フレキ	JIS20K 50A	スケルトン2 1	個	1
	玉形フレキ	JIS20K 80A	スケルトン2 1	個	1
	閉止フランジ	SUS304 JIS20K 50A	スケルトン2 1	枚	1

小配管拾い集計表

管種	口径	配管場所			支持材料		塗装		スケルトンNo.					計	補完率	小計	設計書計上数量	付属材料費
		屋内	屋外	埋設	有	無	有	無	1	2	3			(m)		(m)	(m)	(倍)
SUS	20A	○			○			○			2.440			2.440	0.100	2.684	2.68	1.40
SUS	50A	○				○		○	4.020	1.430				5.450		5.450	5.45	
SUS	80A	○				○		○	2.600	2.150				4.750		4.750	4.75	



配管・材料類

①2F90° 曲管 SUS304 sch10s JIS10K 80A×289L×150L	1本
②3FT字管 SUS304 sch10s JIS10K 80A×50A×300L×150H	2本
③3FT字管 SUS304 sch10s JIS10K 80A×50A×594L×150H	1本
④2F短管 SUS304 sch10s JIS10K 80A×958L	1本
⑤2F短管 SUS304 sch10s JIS10K 50A×362L	3本
⑥2F90° 曲管 SUS304 sch10s JIS10K 50A×142L×348L	3本
⑦仕切弁 JIS10K 50A	3個
⑧玉形フレキ JIS10K 50A	3個

フランジ接合材

◇ ：JIS10K 50A　12組

⬠ ：JIS10K 80A　8組

SUS	50A 屋内	支持材料無し	塗装無し：	（0.660＋0.680）×3＝	4.020 m
SUS	80A 屋内	支持材料無し	塗装無し：	0.150＋2.450＝	2.600 m

スケルトン1（更新）

流入管

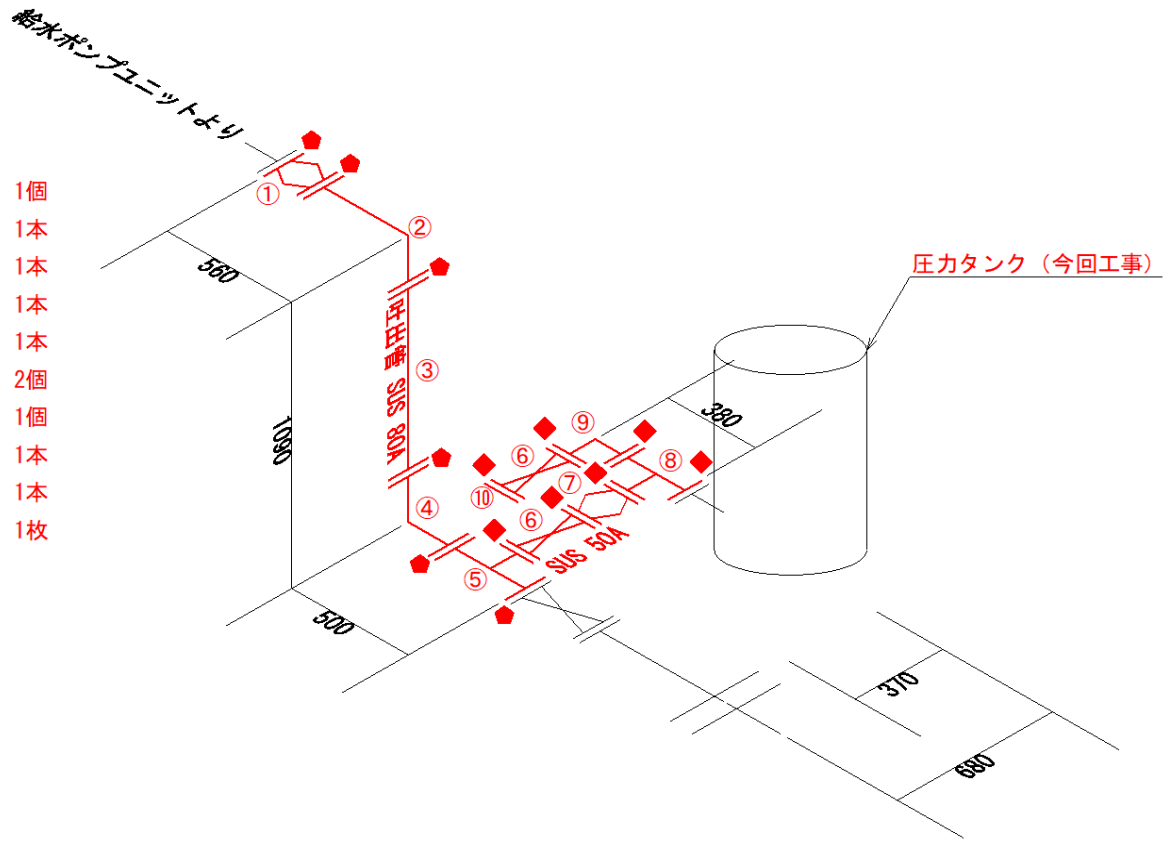
配管・材料類

①玉形フレキ JIS20K 80A	1個
②2F90° 曲管 SUS304 sch20s JIS20K 80A×385L×182L	1本
③2F短管 SUS304 sch20s JIS20K 80A×719L	1本
④2F90° 曲管 SUS304 sch20s JIS20K 80A×182L×182L	1本
⑤3FT字管 SUS304 sch20s JIS20K 80A×50A×318L×120H	1本
⑥仕切弁 JIS20K 50A	2個
⑦玉形フレキ JIS20K 50A	1個
⑧3FT字管 SUS304 sch20s JIS20K 50A×260L×130H	1本
⑨2F90° 曲管 SUS304 sch20s JIS20K 50A×117L×117L	1本
⑩閉止フランジ SUS304 JIS20K 50A	1枚

フランジ接合材

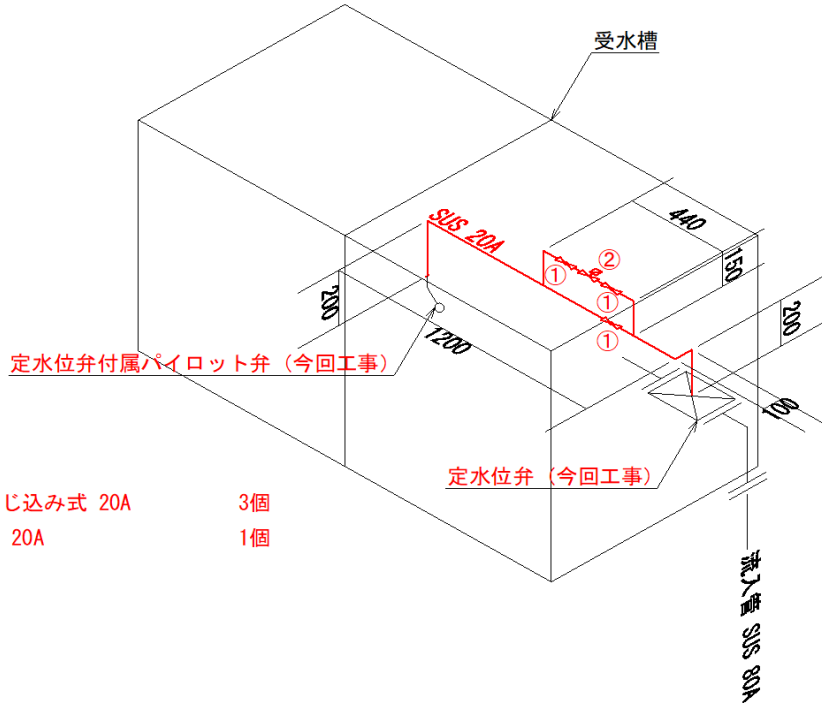
◆ ：JIS20K 50A　7組

⬟ ：JIS20K 80A　6組



SUS	50A 屋内	支持材料無し	塗装無し： 0.680＋0.380＋0.370＝	1.430 m
SUS	80A 屋内	支持材料無し	塗装無し： 0.560＋1.090＋0.500＝	2.150 m

スケルトン2（更新）
吐出管



配管・材料類

①ボール弁 SUS製 ねじ込み式 20A	3個
②電磁弁 ねじ込み式 20A	1個

SUS　　20A 屋外　支持材料有り 塗装無し： 0.200＋0.100＋1.200＋0.200＋0.150＋0.440＋0.150＝　　2.440 m

スケルトン3（更新）
定水位弁周り小配管

鋼材加工工集計表

名　　称	数量	据付工											
		単位重量(kg)	計(kg)										
定水位弁サポート	1	29.315	29.315										
配管サポート	1	4.974	4.974										
計			34.289										
			↓										
(端数処理)			0.03t										

↓

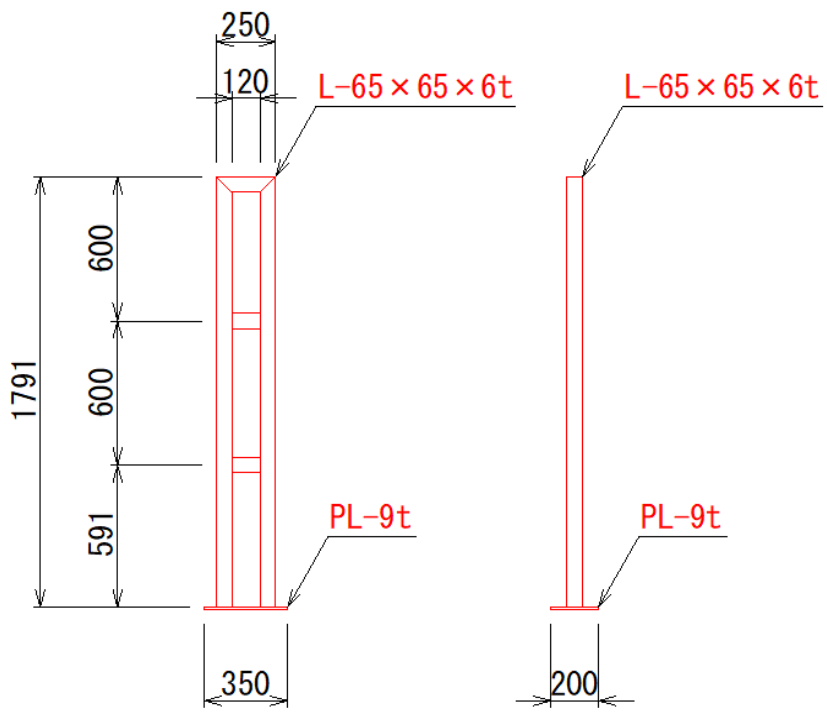
機器等据付表７類へ

鋼材料集計表

名　　称	数量	SUS304						SS400					
		L-65×65×6t		L-50×50×6t		PL-9t		SGP 25A		SGP 32A		PL-9t	
		単位重量(kg)	計(kg)	単位重量(kg)	計(kg)	単位重量(kg)	計(kg)	単位重量(kg)	計(kg)	単位重量(kg)	計(kg)	単位重量(kg)	計(kg)
定水位弁サポート	1	24.310	24.310			5.005	5.005						
配管サポート	1			1.756	1.756	3.218	3.218						
計			24.310		1.756		8.223						
			↓		↓		↓						
(端数処理)			24.31kg		1.76kg		8.22kg						

鋼製架台計算書（1/2）

No. 1	名称	定水位弁サポート	数量	1



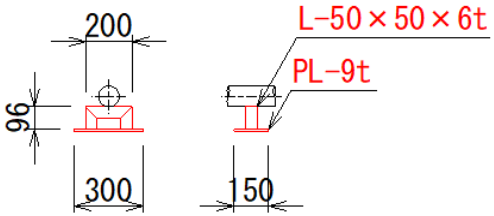
使用材料	計　　算　　式	数量	単位重量	小計
L-65×65×6t	0.250＋1.791×2＋0.120×2＝	4.072 m	5.97 kg/m	24.310
PL-9t	0.200×0.350＝	0.070 m²	71.50 kg/m²	5.005
			据付重量 (kg)	29.315
			鋼材重量 (kg)	29.315

塗装面積	

使用材料	計　　算　　式	小計
	合計 (m²)	

鋼製架台計算書（2/2）

No.2	名称	配管サポート	数量	1



使用材料	計　　算　　式	数量	単位重量	小計
L-50×50×6t	0.200＋0.096×2＝	0.392 m	4.48 kg/m	1.756
PL-9t	0.150×0.300＝	0.045 m²	71.50 kg/m²	3.218

据付重量（kg）	4.974
鋼材重量（kg）	4.974

塗装面積	

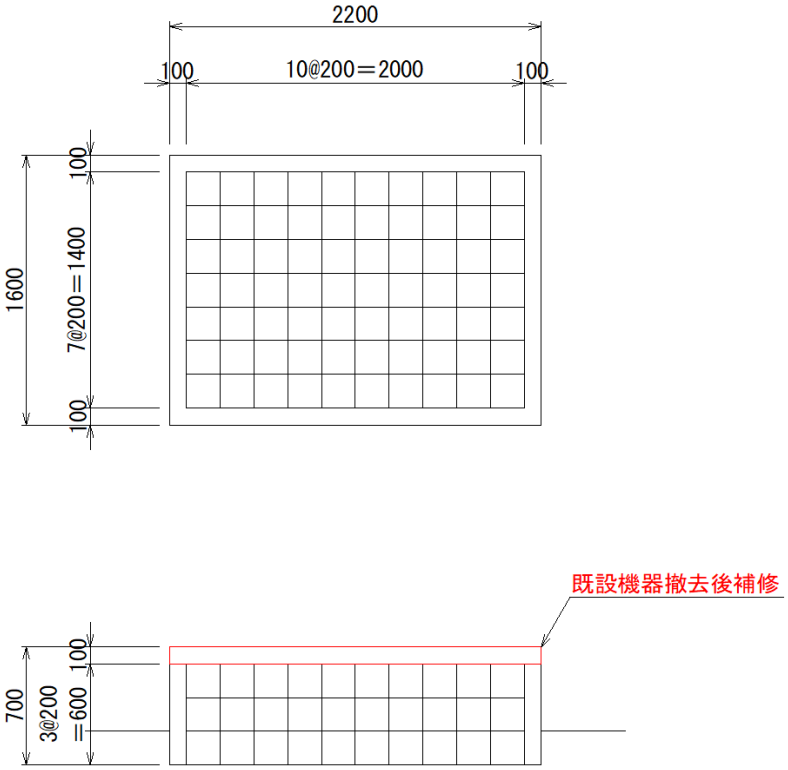
使用材料	計　　算　　式	小計
	合計　（m²）	

複合工集計表

名　　称	コンクリート工			はつり工		モルタル工		型枠工	産業廃棄物処理工						スクラップ
	鉄筋	無筋	鉄筋	有筋	無筋	仕上工	充填		コンクリートガラ		アスファルト	土砂	廃プラ	混合物	
	強度 24	強度 18	SD345			厚　20mm			有筋	無筋					
			D13						(2.50t/m³)	(2.35t/m³)	(2.35t/m³)	(1.80t/m³)	(0.35t/m³)		(1.13t/m³)
	(m³)	(m³)	(kg)	(m³)	(m³)	(m²)	(m³)	(m²)	(m³)	(m³)	(m³)	(m³)	(t)	(m³)	(t)
給水ポンプユニット基礎補修	0.352					4.280		0.760							
複合工集計表（撤去）より				0.352					0.880						0.221
計	0.352			0.352		4.280		0.760	0.880						0.221
設計数量	0.4			0.4		4.0		0.8	0.9						0.221

複合工計算書（1/1）

No. 1	給水ポンプユニット基礎補修	数量	1	項目	計算式	計
				コンクリート工（有筋）	1.600×2.200×0.100＝	0.352 m³
				型枠工	（1.600＋2.200）×0.100×2＝	0.760 m²
				モルタル仕上工（20mm）	1.600×2.200＋（1.600＋2.200）×0.100×2＝	4.280 m²



機器等据付け歩掛り分類表

分類	分類目標	機器等名称	歩掛り
第1類	比較的高速回転の回転機器	ポンプ、送風機、電動機、減速機 真空ポンプ、空気圧縮機、エンジン 遠心濃縮機、遠心脱水機	$12.2\ X^{0.711}$
第2類	しん(芯)出し調整の楽な機器	弁類（自動弁φ100mm以上、手動弁 φ400mm以上）、フィルタ（油式・乾式） 電動機用抵抗制御器、水中ポンプファン、水中機械曝気機	$4.8\ X^{0.776}$
第3類	しん(芯)出し調整が必要な機器	阻水ゲート、制水ゲート、塩素機器 ボイラ	$14.2\ X^{0.676}$
第4類	貯留機器	タンク類、塔類（スクラバ、サイレンサ） 熱交換器、ストレーナ類、急速ろ過器	4.8 X
第5類	散気設備	散気板、散気筒（散気管）	別表により算出
第6類	比較的低速回転で、現場粗立部品の多いもの	沈砂池機械、沈殿池機械、コンベア ホッパ、汚泥濃縮タンク機械 物上げ機械、脱水機（BP、加圧） 機械曝気（OD用）	7.5 X
第7類	安全設備，架台	鋼製渡り、手すり、鋼製蓋類 管支持架台、防泡金網、階段	4.9 X

注　本表は、機械設備工事に使用される主な機種を分類掲載したものである。本表に掲載されていない機種を使用する場合は、分類目標により分類し使用するものとする。

給水ポンプ設備（撤去）　（再利用あり）

機器名称	種別	単位重量	台数	歩掛り		据付工		電工		複合工拾い	備考
		（t/台）		（人/台）	補正率	据付人工	設備機械工		電 工	(t)	
給水ポンプユニット	第1類	1.400	1	15.497	0.6	9.298				1.400	
										（合計）	
										1.400t	
計						9.298					
設備機械工			×0.9			8.369					8.369人
普通作業員			×0.1			0.930					0.930人
設備機械工											
電工											

機器等据付け歩掛り分類表

分類	分類目標	機器等名称	歩掛り
第1類	比較的高速回転の回転機器	ポンプ、送風機、電動機、減速機 真空ポンプ、空気圧縮機、エンジン 遠心濃縮機、遠心脱水機	12.2 X $^{0.711}$
第2類	しん(芯)出し調整の楽な機器	弁類（自動弁φ100mm以上、手動弁 φ400mm以上）、フィルタ（油式・乾式） 電動機用抵抗制御器、水中ポンプファン、水中機械曝気機	4.8 X $^{0.776}$
第3類	しん(芯)出し調整が必要な機器	阻水ゲート、制水ゲート、塩素機器 ボイラ	14.2 X $^{0.676}$
第4類	貯留機器	タンク類、塔類（スクラバ、サイレンサ） 熱交換器、ストレーナ類、急速ろ過器	4.8 X
第5類	散気設備	散気板、散気筒（散気管）	別表により算出
第6類	比較的低速回転で、現場粗立部品の多いもの	沈砂池機械、沈殿池機械、コンベア ホッパ、汚泥濃縮タンク機械 物上げ機械、脱水機（BP、加圧） 機械曝気（OD用）	7.5 X
第7類	安全設備，架台	鋼製渡り、手すり、鋼製蓋類 管支持架台、防泡金網、階段	4.9 X

注　本表は、機械設備工事に使用される主な機種を分類掲載したものである。本表に掲載されていない機種を使用する場合は、分類目標により分類し使用するものとする。

給水ポンプ設備（撤去）　（再利用なし）

機器名称	種別	単位重量	台数	歩掛り		据付工		電工		複合工拾い	備考
		（t/台）		（人/台）	補正率	据付人工	設備機械工		電　工	（t）	
定水位弁	第4類	0.030	1	0.144	0.4	0.058				0.030	
圧力タンク	第4類	0.160	1	0.768	0.4	0.307				0.160	
鋼製架台類	第7類	0.020	1	0.098	0.4		0.039			0.020	鋼材料集計表（撤去）より
										（合計）	
										0.210t	

計	0.365	0.039				
設備機械工　×0.9	0.328	0.039				0.368人
普通作業員　×0.1	0.036					0.036人
設備機械工						
電工						

ステンレス鋼鋼管撤去工 （再利用あり）

管 種： ステンレス鋼鋼管

呼び径 (mm)	屋内			屋外			埋設			呼び径 (mm)
	設計数量 (m)	配　管　工		設計数量 (m)	配　管　工		設計数量 (m)	配　管　工		
		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）	
13										13
15		0.17			0.13			0.07		15
20		0.20			0.16			0.09		20
25		0.24			0.19			0.11		25
32		0.29			0.23			0.12		32
40		0.35			0.28			0.15		40
50	3.39	0.42	1.424		0.33			0.19		50
65		0.53			0.42			0.21		65
80	4.58	0.63	2.885		0.50			0.24		80
100		0.78			0.62			0.35		100
125		0.96			0.76			0.45		125
150		1.14			0.91			0.54		150
200		1.50			1.20			0.75		200
250		1.86			1.48			1.00		250
300		2.22			1.77			1.27		300
350		2.58			2.20			1.50		350
小　計			4.309							小　計

配　管　工	4.309　×0.6	2.586　人

ステンレス鋼鋼管撤去工 （再利用なし）

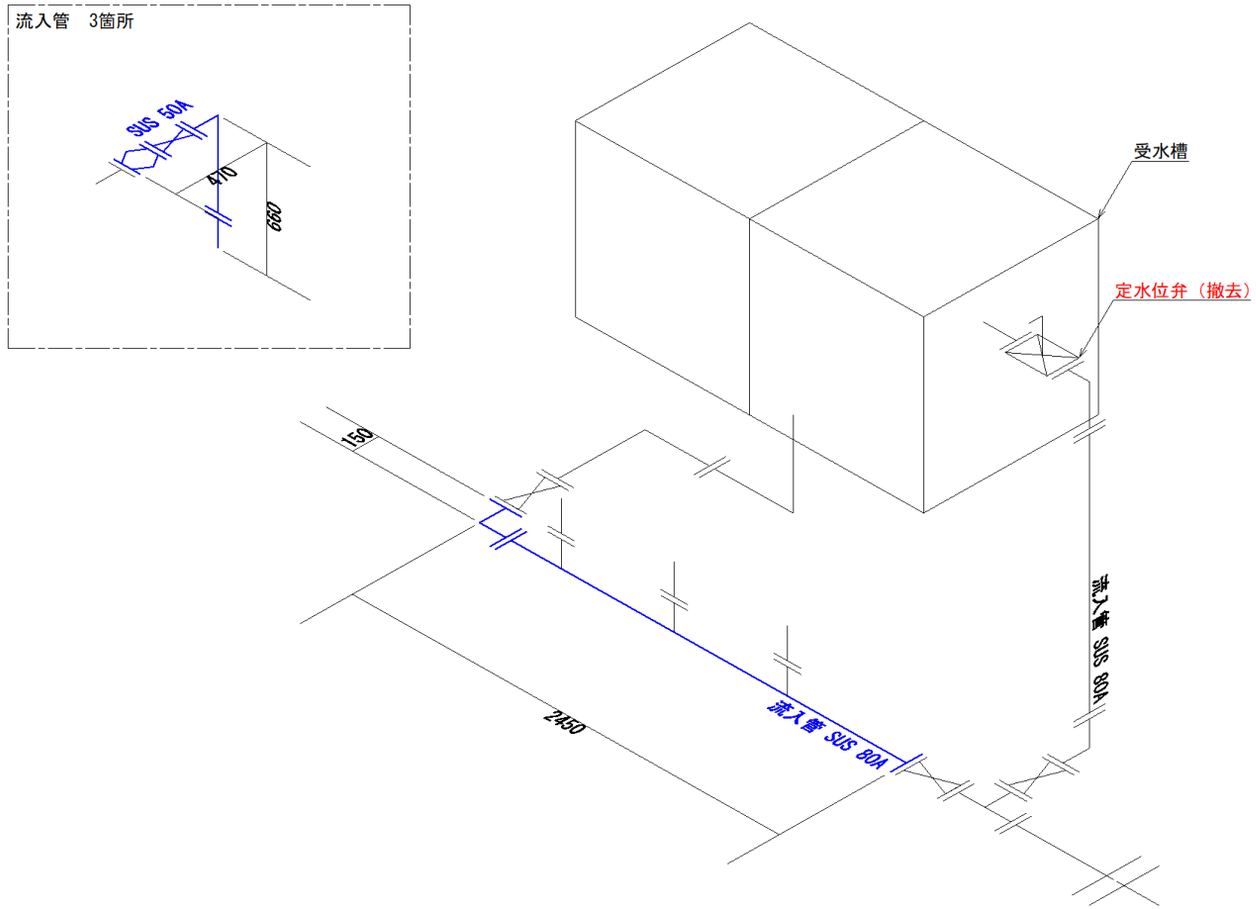
管 種： ステンレス鋼鋼管

呼び径 (mm)	屋内			屋外			埋設			呼び径 (mm)
	設計数量 (m)	配 管 工		設計数量 (m)	配 管 工		設計数量 (m)	配 管 工		
		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）	
13										13
15		0.17			0.13			0.07		15
20	2.44	0.20	0.488		0.16			0.09		20
25		0.24			0.19			0.11		25
32		0.29			0.23			0.12		32
40		0.35			0.28			0.15		40
50	0.72	0.42	0.302		0.33			0.19		50
65		0.53			0.42			0.21		65
80	0.35	0.63	0.221		0.50			0.24		80
100		0.78			0.62			0.35		100
125		0.96			0.76			0.45		125
150		1.14			0.91			0.54		150
200		1.50			1.20			0.75		200
250		1.86			1.48			1.00		250
300		2.22			1.77			1.27		300
350		2.58			2.20			1.50		350
小 計			1.011							小 計

配 管 工	1.011 ×0.4	0.404 人

小配管拾い撤去集計表

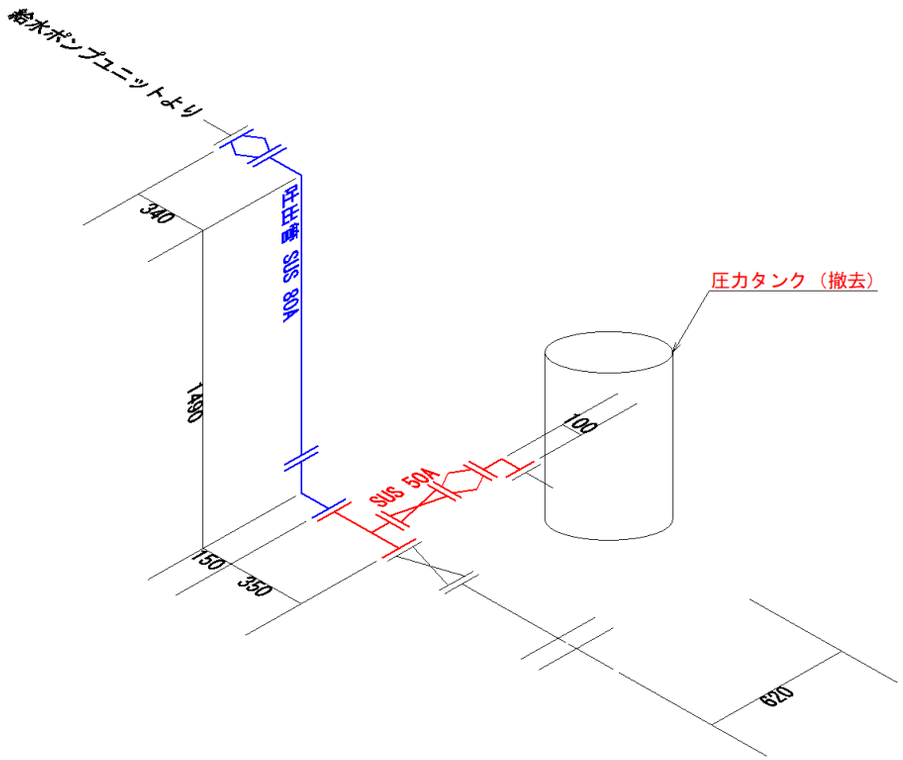
管種	口径	配管場所			再利用		スケルトンNo.					計	設計書計上数量
		屋内	屋外	埋設	あり	なし	1	2	3	4	5	(m)	(m)
SUS	20A	○				○			2.440			2.440	2.44
SUS	50A	○			○		3.390					3.390	3.39
SUS	50A	○				○		0.720				0.720	0.72
SUS	80A	○			○		2.600	1.980				4.580	4.58
SUS	80A	○				○		0.350				0.350	0.35



※ ▭ は仮設時に再利用する。

SUS	50A 屋内	再利用有り：　(0.660＋0.470) ×3＝	3.390 m
SUS	80A 屋内	再利用有り：0.150＋2.450＝	2.600 m

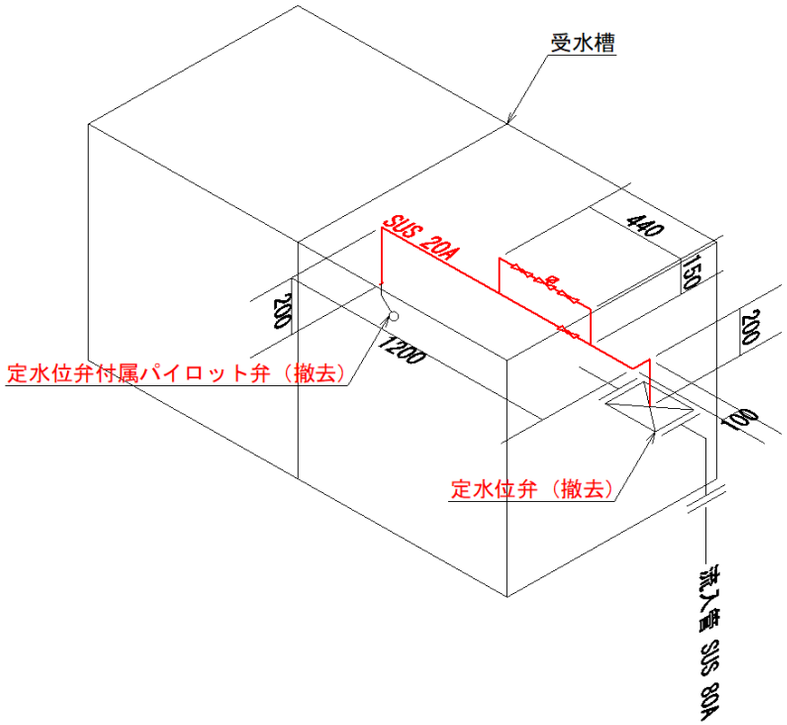
スケルトン1（撤去）
流入管



※ ▭ は仮設時に再利用する。

SUS	50A 屋内	再利用無し： 0.620＋0.100＝	0.720 m
SUS	80A 屋内	再利用有り： 0.340＋1.490＋0.150＝	1.980 m
SUS	80A 屋内	再利用無し：	0.350 m

スケルトン2（撤去）
吐出管



SUS　　20A 屋内　　再利用無し： 0.200＋0.100＋1.200＋0.200＋0.150＋0.440＋0.150＝　　2.440　　m

スケルトン3（撤去）
定水位弁周り小配管

鋼材料集計表（撤去）

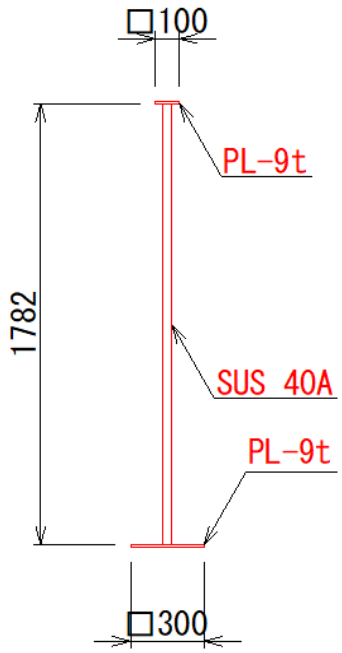
名　　称	数量	撤去工		SS400製架台(kg)		SUS製架台(kg)		鋼製蓋類(kg)		グレーチング	
		単位重量(kg)	計(kg)	単位重量(kg)	計(kg)	単位重量(kg)	計(kg)	SS400	SUS304	単位面積(m²)	計(m²)
定水位弁サポート	1	9.378	9.378								
配管サポート	5	1.802	9.010								
計			18.388								
			↓								
(端数処理)			0.02 (t)								

↓

機器等撤去表７類へ

鋼製架台計算書（1/2）

No.1	名称	定水位弁サポート	数量	1



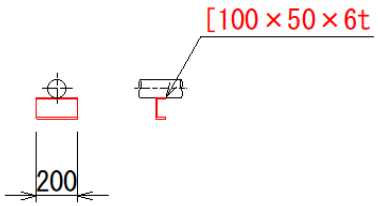
使用材料	計　　算　　式	数量	単位重量	小計
SUS 40A		1.782 m	1.25 kg/m	2.228
PL-9t	0.300×0.300＋0.100×0.100＝	0.100 m²	71.50 kg/m²	7.150
			撤去重量 (kg)	9.378
			鋼材重量 (kg)	9.378

塗装面積	

使用材料	計　　算　　式	小計
	合計 (m²)	

鋼製架台計算書（2/2）

No.2	名称	配管サポート	数量	5



使用材料	計　算　式	数量	単位重量	小計
[100×50×6t		0.2 m	9.01 kg/m	1.802
			撤去重量 (kg)	1.802
			鋼材重量 (kg)	1.802

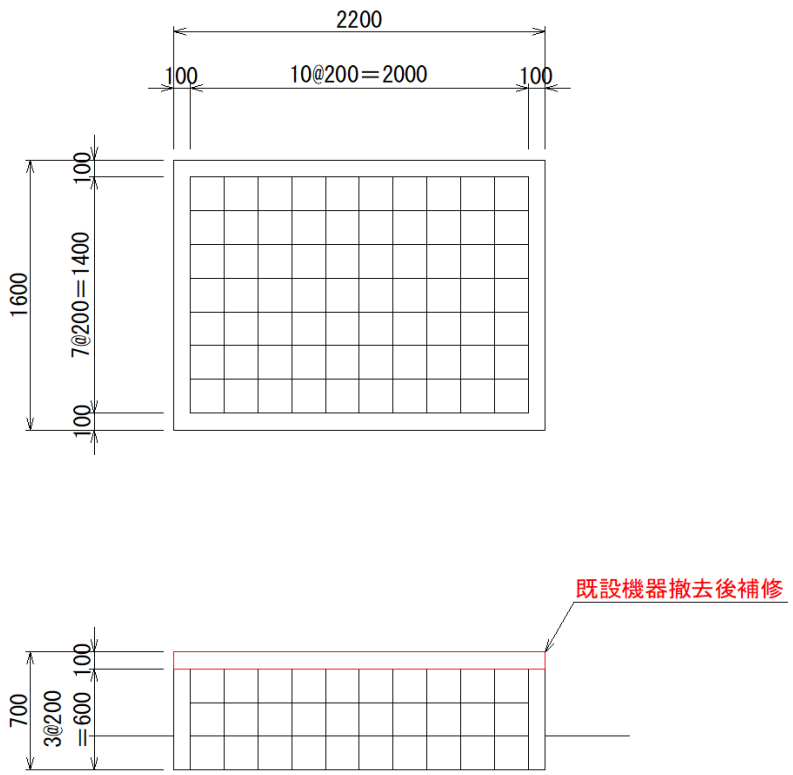
塗装面積	

使用材料	計　算　式	小計
	合計 (m²)	

複合工集計表（撤去）

名　　称	はつり工		ダイヤモンドカッター		モルタル仕上工	産業廃棄物処理工					スクラップ			
	有筋	無筋	φ100×150㎜	φ100×300㎜	厚50㎜	コンクリートガラ 有筋 (2.50t/m³)	コンクリートガラ 無筋 (2.35t/m³)	アスファルト (2.35t/m³)	廃プラ (0.35t/m³)	混合物	(1.13t/m³)			
	(m³)	(m³)	(ヶ所)	(ヶ所)	(m²)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)			
給水ポンプユニット基礎一部はつり	0.352					0.880								
スクラップ											0.221			
計	0.352					0.880					0.221			

複合工計算書（1/2）

No. 1	給水ポンプユニット基礎一部はつり	数量	1	項目	計算式	計
				はつり工（有筋）	1.600×2.200×0.100＝	0.352 m³
				産業廃棄物処理工（鉄筋コンクリート）	0.352m³×2.50t/m³＝	0.880 t

複合工計算書（2/2）

No.2	スクラップ	数量	1	項目	計算式	計
				撤去機器	定水位弁　：0.030t×1槽 圧力タンク：0.160t×1基 鋼製架台類：0.020t×1式	0.210 t
				配管類	SUS sch40 20A：2.44m×1.76kg/m＝4.294kg SUS sch20 50A：0.72m×4.97kg/m＝3.578kg SUS sch20 80A：0.35m×8.48kg/m＝2.968kg	0.011 t
				合計		0.221 t

岩友ポンプ所ほか設備更新工事

仮設給水ポンプ設備

機械設備数量計算書

一般労務費集計表　　仮設給水ポンプ設備　　単位：人

項目	機械設備据付工	普通作業員	配管工	設備機械工	ダクト工	電工	技術者	
機械等仮設据付工	22.468	2.496		1.47				
小配管仮設布設工（塩化ビニル管）			2.417					
小配管仮設布設工（ステンレス鋼鋼管）			6.771					
小配管仮設布設工（水道用鋼管）			3.779					
機械等仮設撤去工		0.568＋0.620＝1.188		5.994＋8.166＝14.161				
小配管仮設撤去工（塩化ビニル管）			0.967					
小配管仮設撤去工（ステンレス鋼鋼管）			1.952＋1.407＝3.359					
小配管仮設撤去工（水道用鋼管）			1.512					
計	22.468	3.684	18.805	15.631				
設計書計上数量	22	3	18	15				

機器等据付け歩掛り分類表

分類	分類目標	機器等名称	歩掛り
第1類	比較的高速回転の回転機器	ポンプ、送風機、電動機、減速機 真空ポンプ、空気圧縮機、エンジン 遠心濃縮機、遠心脱水機	$12.2\ X^{0.711}$
第2類	しん(芯)出し調整の楽な機器	弁類（自動弁φ100mm以上、手動弁 φ400mm以上）、フィルタ（油式・乾式） 電動機用抵抗制御器、水中ポンプ ファン、水中機械曝気機	$4.8\ X^{0.776}$
第3類	しん(芯)出し調整が必要な機器	阻水ゲート、制水ゲート、塩素機器 ボイラ	$14.2\ X^{0.676}$
第4類	貯留機器	タンク類、塔類（ スクラバ、サイレンサ） 熱交換器、ストレーナ類、急速ろ過器	4.8 X
第5類	散気設備	散気板、散気筒（散気管）	別表により算出
第6類	比較的低速回転で、現場粗立部品の多いもの	沈砂池機械、沈殿池機械、コンベア ホッパ、汚泥濃縮タンク機械 物上げ機械、脱水機（BP、加圧） 機械曝気（OD用）	7.5 X
第7類	安全設備，架台	鋼製渡り、手すり、鋼製蓋類 管支持架台、防泡金網、階段	4.9 X

注　本表は、機械設備工事に使用される主な機種を分類掲載したものである。本表に掲載されていない機種を使用する場合は、分類目標により分類し使用するものとする。

仮設給水ポンプ設備（仮設据付）

機器名称	種別	単位重量（t/台）	台数	歩掛り（人/台）	歩掛り 補正率	据付工 据付人工	据付工 設備機械工	電工	電工 電工	輸送重量（t）	備考
新設給水ポンプユニット	第1類	0.700	1	9.467	1.0	9.467					
既設給水ポンプユニット	第1類	1.400	1	15.497	1.0	15.497					
仮設ポンプ室	第7類	0.300	1	1.470	1.0		1.470				鋼材料集計表より
										(計)	
										↓	
											輸送費
計						24.965	1.470				
機械設備据付工					×0.9	22.468					22.468人
普通作業員					×0.1	2.496					2.496人
設備機械工							1.470				1.470人
電工											

工　種	名　称	形状・寸法	算　　式	単位	数　量
＜小配管＞	HIVP	φ75 支持材料無し、塗装無し	小配管拾い集計表（仮設）より 3.35　＋　7.73　＝ 11.08　→ 11.1	m	11.1
	付属材料費	HIVP　φ75 材料費×1.35倍	1	式	1
＜配管類＞	2F短管	SGP-VB JIS20K 80A×521L	スケルトン4 1	本	1
	2F短管	SGP-VB JIS20K 80A×565L	スケルトン4 1	本	1
	2F短管	SGP-VB JIS20K 80A×698L	スケルトン2 1	本	1
	2F短管	SGP-VB JIS20K 80A×1000L	スケルトン2　　スケルトン4 5　＋　1	本	6
	2F90°　曲管	SGP-VB JIS20K 80A×182L×182L	スケルトン2　　スケルトン4 1　＋　1	本	2
	2F90°　曲管	SGP-VB JIS20K 80A×568L×182L	スケルトン4 1	本	1

塩化ビニル管布設工

管 種： 塩化ビニル管

呼び径 (mm)	屋内			屋外			排水通気用			呼び径 (mm)
	設計数量 (m)	配　管　工		設計数量 (m)	配　管　工		設計数量 (m)	配　管　工		
		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）	
13		0.08			0.06					13
15										15
20		0.09			0.07					20
25		0.11			0.08					25
30		0.13			0.10					30
40		0.15			0.12			0.11		40
50		0.18			0.14			0.15		50
65		0.22			0.17			0.19		65
75	3.35	0.26	0.871	7.73	0.20	1.546		0.22		75
100		0.32			0.25			0.28		100
125		0.39			0.31			0.34		125
150		0.46			0.36			0.41		150
200								0.53		200
250								0.66		250
300								0.79		300
350										350
小　計			0.871			1.546				小　計

配　管　工	2.417	2.417　人

ステンレス鋼鋼管布設工

管 種： ステンレス鋼鋼管

呼び径 (mm)	屋内			屋外			埋設			呼び径 (mm)
	設計数量 (m)	配　管　工		設計数量 (m)	配　管　工		設計数量 (m)	配　管　工		
		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）	
13										13
15		0.17			0.13			0.07		15
20		0.20			0.16			0.09		20
25		0.24			0.19			0.11		25
32		0.29			0.23			0.12		32
40		0.35			0.28			0.15		40
50		0.42		7.41	0.33	2.445		0.19		50
65		0.53			0.42			0.21		65
80	0.66	0.63	0.416	7.82	0.50	3.910		0.24		80
100		0.78			0.62			0.35		100
125		0.96			0.76			0.45		125
150		1.14			0.91			0.54		150
200		1.50			1.20			0.75		200
250		1.86			1.48			1.00		250
300		2.22			1.77			1.27		300
350		2.58			2.20			1.50		350
小　計			0.416			6.355				小　計

配　管　工	6.771	6.771　人

水道用鋼管布設工

管 種： 水道用鋼管

呼び径 (mm)	屋内			屋外			埋設			呼び径 (mm)
	設計数量 (m)	配　管　工		設計数量 (m)	配　管　工		設計数量 (m)	配　管　工		
		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）	
13										13
15		0.13			0.10			0.06		15
20		0.16			0.12			0.07		20
25		0.19			0.15			0.09		25
32		0.23			0.18			0.11		32
40		0.27			0.21			0.12		40
50		0.33			0.26			0.15		50
65		0.41			0.32			0.19		65
80	1.52	0.49	0.745	7.78	0.39	3.034		0.21		80
100		0.60			0.48			0.27		100
125		0.74			0.59			0.32		125
150		0.88			0.70			0.40		150
200		1.16			0.92			0.57		200
250		1.44			1.15			0.77		250
300		1.72			1.37			0.93		300
350		1.99			1.61			1.11		350
小　計			0.745			3.034				小　計

配　管　工	3.779	3.779　人

小配管拾い集計表（仮設）

管種	口径	配管場所			支持材料		塗装		スケルトンNo.					計	補完率	小計	設計書計上数量	付属材料費
		屋内	屋外	埋設	有	無	有	無	1	2	3	4	5	(m)		(m)	(m)	(倍)
HIVP	φ75	○			○			○	3.350					3.350		3.350	3.35	1.35
HIVP	φ75		○		○			○	4.810		2.920			7.730		7.730	7.73	1.35
SUS	50A		○			○		○	4.020		3.390			7.410		7.410	7.41	1.25
SUS	80A	○				○		○	0.300	0.364				0.664		0.664	0.66	1.25
SUS	80A		○			○		○	1.200	2.196	2.450	1.970		7.816		7.816	7.82	1.25
SGP	80A	○				○		○		1.520				1.520		1.520	1.52	0.650
SGP	80A		○			○		○		4.560		3.220		7.780		7.780	7.78	0.650

機器等据付け歩掛り分類表

分類	分類目標	機器等名称	歩掛り
第1類	比較的高速回転の回転機器	ポンプ、送風機、電動機、減速機 真空ポンプ、空気圧縮機、エンジン 遠心濃縮機、遠心脱水機	$12.2\ X^{0.711}$
第2類	しん(芯)出し調整の楽な機器	弁類（自動弁φ100mm以上、手動弁 φ400mm以上）、フィルタ（油式・乾式） 電動機用抵抗制御器、水中ポンプファン、水中機械曝気機	$4.8\ X^{0.776}$
第3類	しん(芯)出し調整が必要な機器	阻水ゲート、制水ゲート、塩素機器 ボイラ	$14.2\ X^{0.676}$
第4類	貯留機器	タンク類、塔類（ スクラバ、サイレンサ） 熱交換器、ストレーナ類、急速ろ過器	4.8 X
第5類	散気設備	散気板、散気筒（散気管）	別表により算出
第6類	比較的低速回転で、現場粗立部品の多いもの	沈砂池機械、沈殿池機械、コンベア ホッパ、汚泥濃縮タンク機械 物上げ機械、脱水機（BP、加圧） 機械曝気（OD用）	7.5 X
第7類	安全設備，架台	鋼製渡り、手すり、鋼製蓋類 管支持架台、防泡金網、階段	4.9 X

注　本表は、機械設備工事に使用される主な機種を分類掲載したものである。本表に掲載されていない機種を使用する場合は、分類目標により分類し使用するものとする。

仮設給水ポンプ設備（仮設撤去）　（再利用あり）

機器名称	種別	単位重量	台数	歩掛り		据付工		電工		複合工拾い	備考
		（t/台）		（人/台）	補正率	据付人工	設備機械工		電 工	（t）	
新設給水ポンプユニット	第1類	0.700	1	9.467	0.6	5.680				0.700	
仮設ポンプ室	第7類	0.300	1	1.470	0.6		0.882			0.300	鋼材料集計表（撤去）より
										（合計）	
										1.000t	

計		5.680	0.882				
設備機械工	×0.9	5.112	0.882				5.994人
普通作業員	×0.1	0.568					0.568人
設備機械工							
電工							

機器等据付け歩掛り分類表

分類	分類目標	機器等名称	歩掛り
第1類	比較的高速回転の回転機器	ポンプ、送風機、電動機、減速機 真空ポンプ、空気圧縮機、エンジン 遠心濃縮機、遠心脱水機	$12.2\ X^{0.711}$
第2類	しん(芯)出し調整の楽な機器	弁類（自動弁φ100mm以上、手動弁 φ400mm以上）、フィルタ（油式・乾式） 電動機用抵抗制御器、水中ポンプファン、水中機械曝気機	$4.8\ X^{0.776}$
第3類	しん(芯)出し調整が必要な機器	阻水ゲート、制水ゲート、塩素機器 ボイラ	$14.2\ X^{0.676}$
第4類	貯留機器	タンク類、塔類（ スクラバ、サイレンサ） 熱交換器、ストレーナ類、急速ろ過器	4.8 X
第5類	散気設備	散気板、散気筒（散気管）	別表により算出
第6類	比較的低速回転で、現場粗立部品の多いもの	沈砂池機械、沈殿池機械、コンベア ホッパ、汚泥濃縮タンク機械 物上げ機械、脱水機（BP、加圧） 機械曝気（OD用）	7.5 X
第7類	安全設備，架台	鋼製渡り、手すり、鋼製蓋類 管支持架台、防泡金網、階段	4.9 X

注　本表は、機械設備工事に使用される主な機種を分類掲載したものである。本表に掲載されていない機種を使用する場合は、分類目標により分類し使用するものとする。

仮設給水ポンプ設備（仮設撤去）　（再利用なし）

機器名称	種別	単位重量	台数	歩掛り		据付工		電工		複合工拾い	備考
		（t/台）		（人/台）	補正率	据付人工	設備機械工		電 工	（t）	
既設給水ポンプユニット	第1類	1.400	1	15.497	0.4	6.199				1.400	
鋼製架台類	第7類	1.320	1	6.468	0.4		2.587			1.320	鋼材料集計表（撤去）より
										（合計）	
										2.720t	

計		6.199	2.587				
設備機械工	×0.9	5.579	2.587				8.166人
普通作業員	×0.1	0.620					0.620人
設備機械工							
電工							

塩化ビニル管撤去工 （再利用なし）

管 種： 塩化ビニル管

呼び径 (mm)	屋内			屋外			排水通気用			呼び径 (mm)
	設計数量 (m)	配 管 工		設計数量 (m)	配 管 工		設計数量 (m)	配 管 工		
		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）	
13		0.08			0.06					13
15										15
20		0.09			0.07					20
25		0.11			0.08					25
30		0.13			0.10					30
40		0.15			0.12			0.11		40
50		0.18			0.14			0.15		50
65		0.22			0.17			0.19		65
75	3.35	0.26	0.871	7.73	0.20	1.546		0.22		75
100		0.32			0.25			0.28		100
125		0.39			0.31			0.34		125
150		0.46			0.36			0.41		150
200								0.53		200
250								0.66		250
300								0.79		300
350										350
小 計			0.871			1.546				小 計

配 管 工	2.417 ×0.4	0.967 人

ステンレス鋼鋼管撤去工 （再利用あり）

管 種： ステンレス鋼鋼管

呼び径 (mm)	屋内			屋外			埋設			呼び径 (mm)
	設計数量 (m)	配 管 工		設計数量 (m)	配 管 工		設計数量 (m)	配 管 工		
		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）	
13										13
15		0.17			0.13			0.07		15
20		0.20			0.16			0.09		20
25		0.24			0.19			0.11		25
32		0.29			0.23			0.12		32
40		0.35			0.28			0.15		40
50		0.42		4.02	0.33	1.327		0.19		50
65		0.53			0.42			0.21		65
80	0.36	0.63	0.227	3.40	0.50	1.700		0.24		80
100		0.78			0.62			0.35		100
125		0.96			0.76			0.45		125
150		1.14			0.91			0.54		150
200		1.50			1.20			0.75		200
250		1.86			1.48			1.00		250
300		2.22			1.77			1.27		300
350		2.58			2.20			1.50		350
小 計			0.227			3.027				小 計

配 管 工	3.253 ×0.6	1.952 人

ステンレス鋼鋼管撤去工 （再利用なし）

管 種： ステンレス鋼鋼管

呼び径 (mm)	屋内			屋外			埋設			呼び径 (mm)
	設計数量 (m)	配 管 工		設計数量 (m)	配 管 工		設計数量 (m)	配 管 工		
		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）	
13										13
15		0.17			0.13			0.07		15
20		0.20			0.16			0.09		20
25		0.24			0.19			0.11		25
32		0.29			0.23			0.12		32
40		0.35			0.28			0.15		40
50		0.42		3.39	0.33	1.119		0.19		50
65		0.53			0.42			0.21		65
80	0.30	0.63	0.189	4.42	0.50	2.210		0.24		80
100		0.78			0.62			0.35		100
125		0.96			0.76			0.45		125
150		1.14			0.91			0.54		150
200		1.50			1.20			0.75		200
250		1.86			1.48			1.00		250
300		2.22			1.77			1.27		300
350		2.58			2.20			1.50		350
小 計			0.189			3.329				小 計

配 管 工	3.518 ×0.4	1.407 人

水道用鋼管撤去工 （再利用なし）

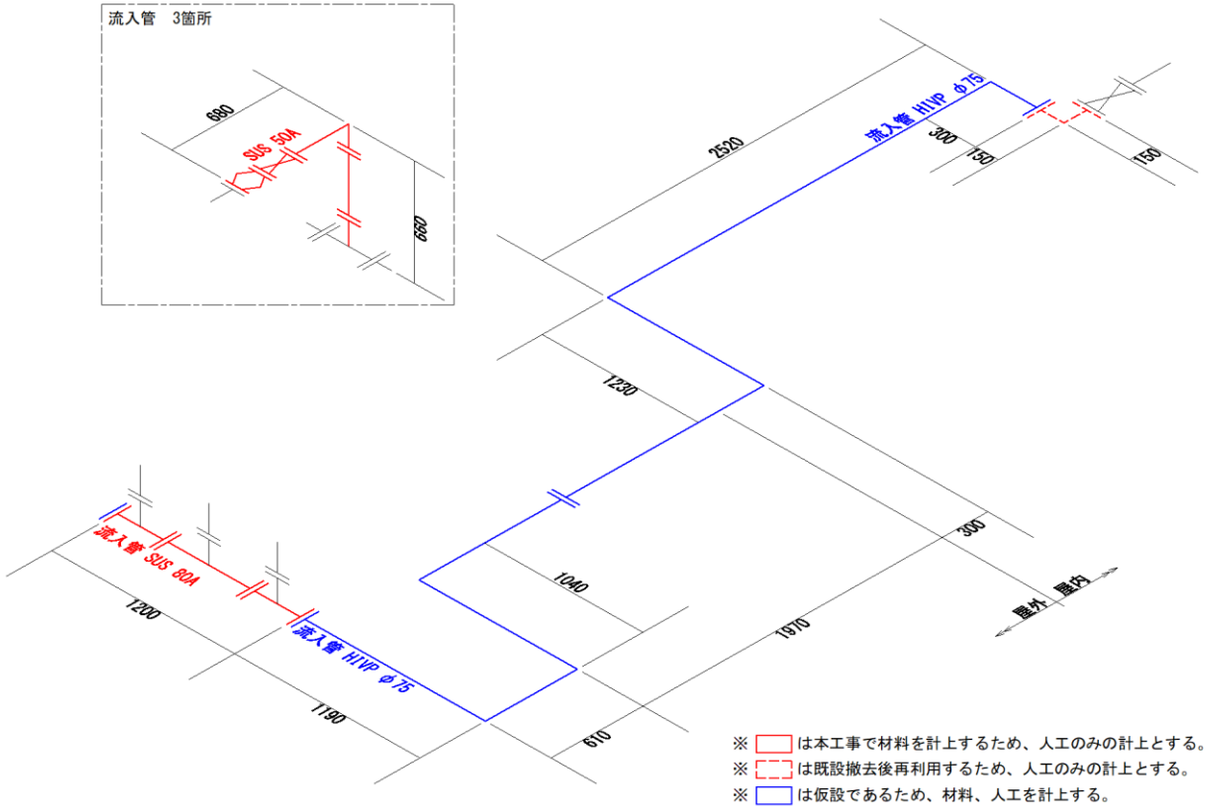
管 種： 水道用鋼管

呼び径 (mm)	屋内			屋外			埋設			呼び径 (mm)
	設計数量 (m)	配 管 工		設計数量 (m)	配 管 工		設計数量 (m)	配 管 工		
		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）		歩掛（人／m）	人員（人）	
13										13
15		0.13			0.10			0.06		15
20		0.16			0.12			0.07		20
25		0.19			0.15			0.09		25
32		0.23			0.18			0.11		32
40		0.27			0.21			0.12		40
50		0.33			0.26			0.15		50
65		0.41			0.32			0.19		65
80	1.52	0.49	0.745	7.78	0.39	3.034		0.21		80
100		0.60			0.48			0.27		100
125		0.74			0.59			0.32		125
150		0.88			0.70			0.40		150
200		1.16			0.92			0.57		200
250		1.44			1.15			0.77		250
300		1.72			1.37			0.93		300
350		1.99			1.61			1.11		350
小 計			0.745			3.034				小 計

配 管 工	3.779 ×0.4	1.512 人

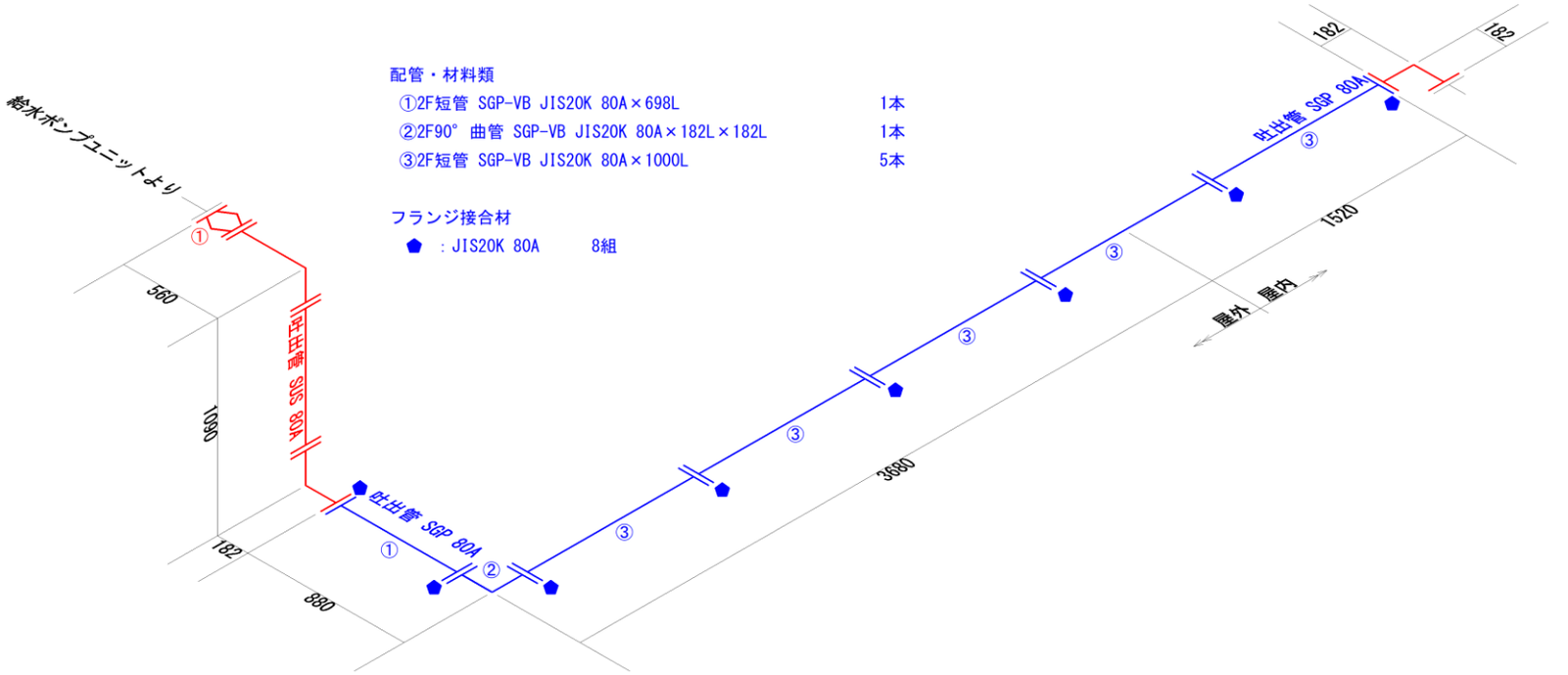
小配管拾い撤去集計表（仮設）

管種	口径	配管場所			再利用		スケルトンNo.					計	設計書計上数量
		屋内	屋外	埋設	あり	なし	1	2	3	4	5	(m)	(m)
HIVP	φ75	○				○	3.350					3.350	3.35
HIVP	φ75		○			○	4.810		2.920			7.730	7.73
SUS	50A		○		○		4.020					4.020	4.02
SUS	50A		○			○			3.390			3.390	3.39
SUS	80A	○			○			0.364				0.364	0.36
SUS	80A	○				○	0.300					0.300	0.30
SUS	80A		○		○		1.200	2.196				3.396	3.40
SUS	80A		○			○			2.450	1.970		4.420	4.42
SGP	80A	○				○		1.520				1.520	1.52
SGP	80A		○			○		4.560		3.220		7.780	7.78



SUS	50A 屋外	再利用有り：　(0.660＋0.680) ×3＝	4.020 m
SUS	80A 屋外	再利用有り：	1.200 m
SUS	80A 屋内	再利用無し：0.150＋0.150＝	0.300 m
HIVP	φ75 屋内	再利用無し：0.300＋2.520＋1.230＋0.300＝	3.350 m
HIVP	φ75 屋外	再利用無し：1.970＋1.040＋0.610＋1.190＝	4.810 m

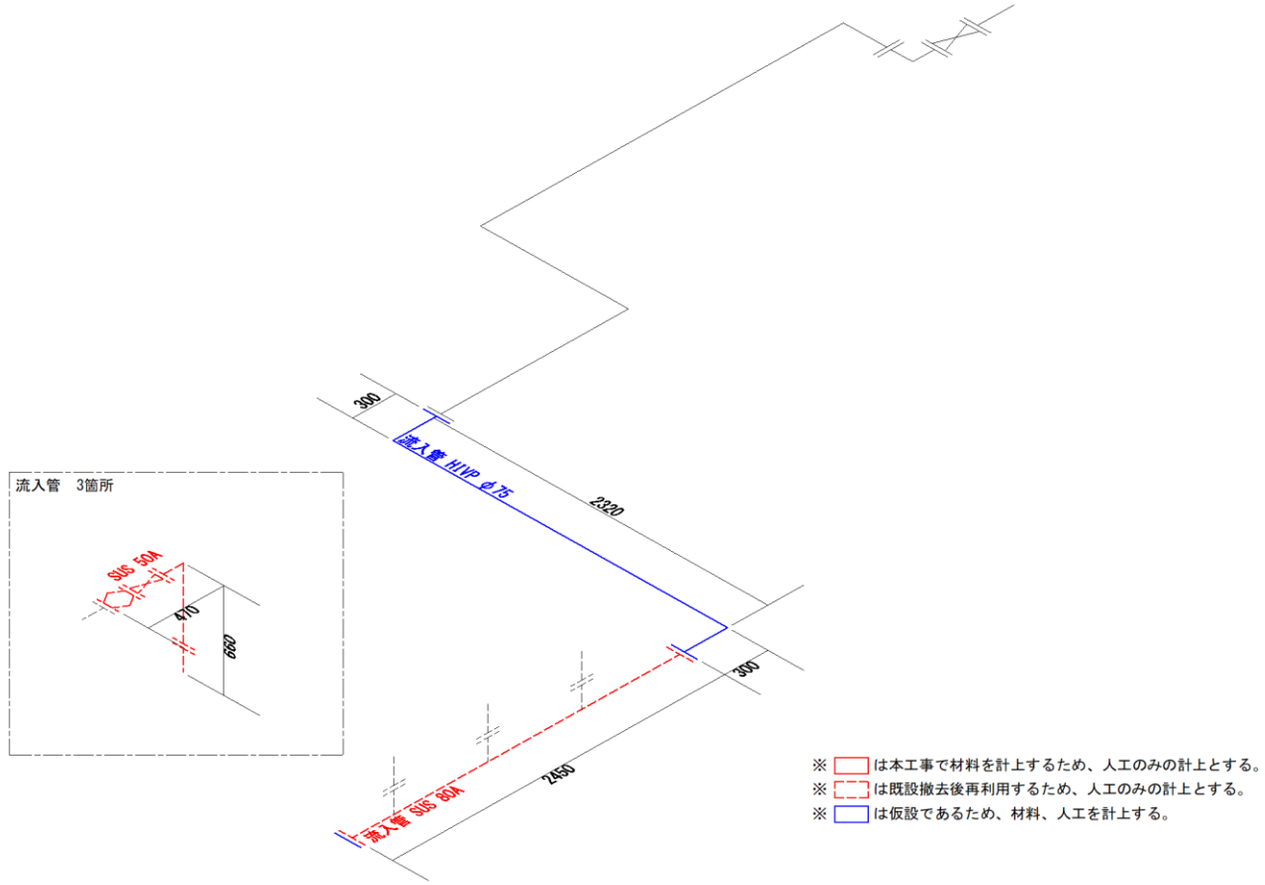
スケルトン1（仮設・撤去）
仮設流入管（1）



※ ▭ は本工事で材料を計上するため、人工のみの計上とする。
※ ▭ は既設撤去後再利用するため、人工のみの計上とする。
※ ▭ は仮設であるため、材料、人工を計上する。

SUS	80A 屋外	再利用有り： 0.560＋1.090＋0.182＝	2.196 m
SUS	80A 屋内	再利用有り： 0.182＋0.182＝	0.364 m
SGP	80A 屋外	再利用無し： 0.880＋3.680＝	4.560 m
SGP	80A 屋内	再利用無し：	1.520 m

スケルトン2（仮設・撤去）
仮設吐出管（1）



SUS	50A 屋外	再利用無し：	（0.660＋0.470）×3＝	3.390 m
SUS	80A 屋外	再利用無し：		2.450 m
HIVP	φ75 屋外	再利用無し：	0.300＋2.320＋0.300＝	2.920 m

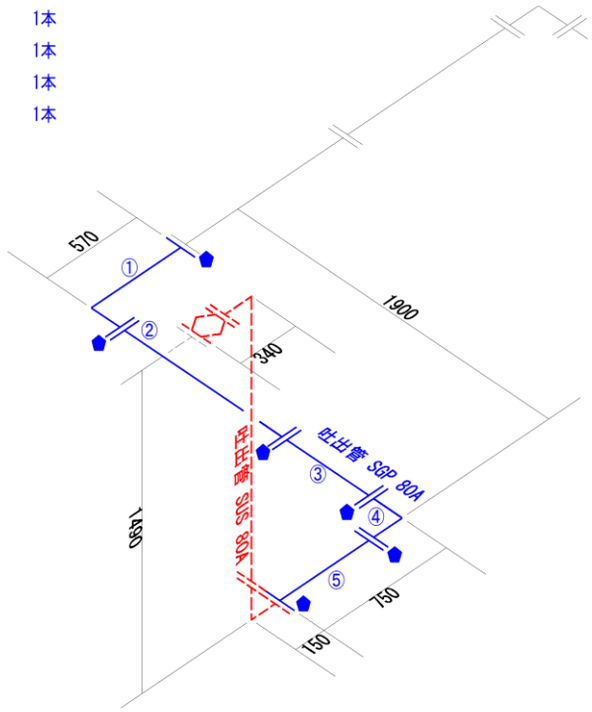
スケルトン3（仮設・撤去）
仮設流入管（2）

配管・材料類

①2F90° 曲管 SGP-VB JIS20K 80A×568L×182L　1本
②2F短管 SGP-VB JIS20K 80A×1000L　1本
③2F短管 SGP-VB JIS20K 80A×521L　1本
②2F90° 曲管 SGP-VB JIS20K 80A×182L×182L　1本
③2F短管 SGP-VB JIS20K 80A×565L　1本

フランジ接合材

⬟ ：JIS20K 80A　6組



※ ▭ は本工事で材料を計上するため、人工のみの計上とする。
※ ▭ は既設撤去後再利用するため、人工のみの計上とする。
※ ▭ は仮設であるため、材料、人工を計上する。

SUS	80A 屋外	再利用無し： 0.340＋1.490＋0.150＝	1.970 m
SGP	80A 屋外	再利用無し： 0.750＋1.900＋0.570＝	3.220 m

スケルトン4（仮設・撤去）
仮設吐出管（2）

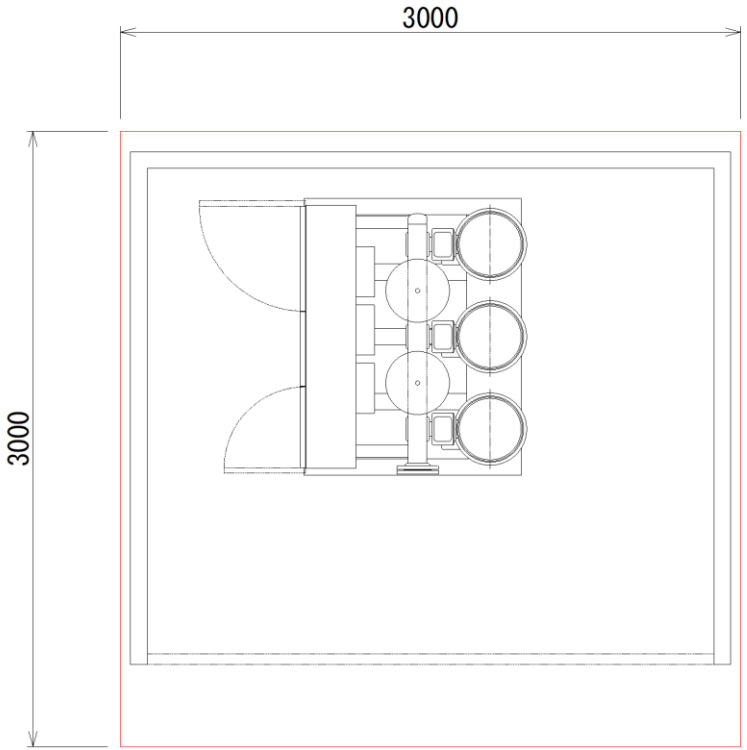
複合工集計表（仮設撤去）

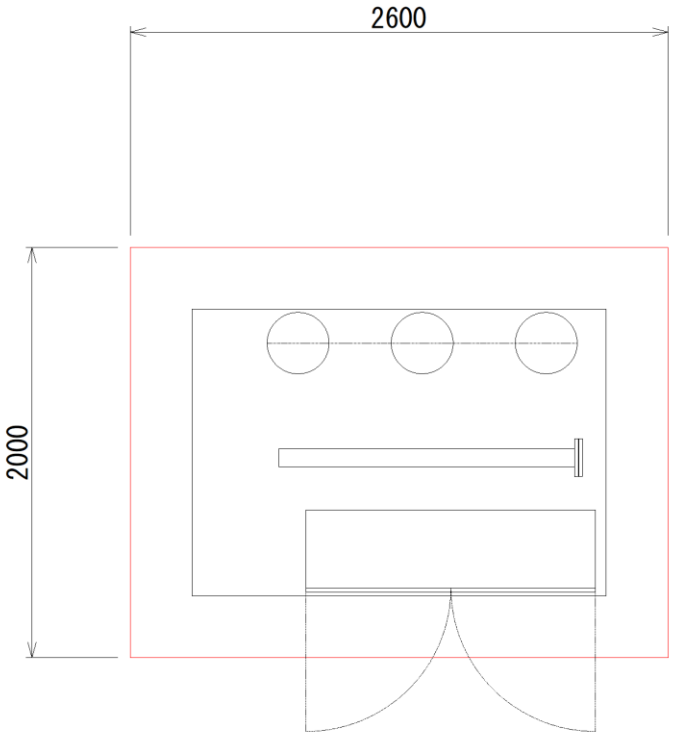
名　　称	砕石	はつり工		コンクリートカッター		ブルーシート		産業廃棄物処理工				スクラップ
		有筋	無筋	50mm	100mm	2.7×2.7	3.6×3.6	コンクリートガラ 有筋	コンクリートガラ 無筋	廃プラ	混合物	
	(m²)	(m³)	(m³)	(m)	(m)	(枚)	(枚)	(m³)	(m³)	(t)	(t)	(t)
仮設設置場所養生	14.2					0	0					
産業廃棄物処理工（廃プラ）										0.024		
スクラップ												2.855
計	14.2									0.024		2.855
設計数量	14									0.02		2.86

複合工計算書（1/3）

No.1	仮設設置場所養生	数量	1	項目	計算式	計
面積： 仮設ポンプ室設置場所 3.000×3.000＝ 9.000 m² 仮設機器設置場所 2.000×2.600＝ 5.200 m² 合計 14.200 m² ※参考図は次頁						
				砕石	9.0m² ＋ 5.2m² ＝ （砕石厚さ10cm）	14.2 m²

【参考図】





複合工計算書（2/3）

No.2	産業廃棄物処理工（廃プラ）	数量	1	項目	計算式	計
				小配管	HIVP φ80：11.08m×2.156kg/m＝23.888kg	0.024 t
				合計		0.024 t

複合工計算書（3/3）

No.3	スクラップ	数量	1	項目	計算式	計
				撤去機器	既設給水ポンプユニット：1.400t×1式 鋼製架台類　　：1.320t×1式	2.720 t
				配管類	SUS sch10 50A：3.39m×4.02kg/m＝13.628kg SUS sch20 80A：4.72m×8.48kg/m＝40.026kg SGP-VB 80A　：9.30m×8.79kg/m＝81.747kg	0.135 t
				合計		2.855 t

岩友ポンプ所ほか設備更新工事

電気設備数量計算書

目　次
岩友ポンプ所

1. 合計一覧---------- 1
2. 人工集計表---------- 3

[本工事]
3. 材料集計表---------- 4
4. 材料内訳表---------- 6
5. 拾い出し根拠表---------- 8

[撤去工事]
6. 材料集計表---------- 9
7. 材料内訳表---------- 11
8. 拾い出し根拠表---------- 13

材 料 数 量　　(*) 印は工量無　　[岩友ポンプ所]

(1)	低圧ケーブル	600V EM-CE 14 sq- 3 c	m	3.9
(2)	制御ケーブル	EM-CEE 1.25 sq- 15 c	m	3.9
(3)	制御ケーブル	EM-CEE 1.25 sq- 5 c	m	8.0
(4)	制御ケーブル	EM-CEE 1.25 sq- 3 c	m	6.7
(5)	その他電線	EM-IE 22 sq	m	3.9
(6)	液位検出端	電極保持器 5P	個	1
(7)	液位検出端	保護カバー	個	1 (*)
(8)	液位検出端	電極棒 SUS	m	3.00 (*)
(9)	一般労務費	電　工 (据付)	人	2

処 分 工

(10)	スクラップ処理工	2号銅線	kg	4.04
(11)	スクラップ処理工	ナゲット処理	kg	3.86

材 料 数 量(撤去)　　(*) 印は工量無　　[岩友ポンプ所]

(1)	低圧ケーブル	600V CV 22 sq- 3 c	m	3.2
(2)	制御ケーブル	CVV 2 sq- 5 c	m	8.0
(3)	制御ケーブル	CVV 2 sq- 3 c	m	6.7
(4)	制御ケーブル	CVV 1.25 sq- 15 c	m	3.2
(5)	その他電線	IV 22 sq	m	3.2
(6)	液位検出端	電極保持器 5P	個	1
(7)	液位検出端	保護カバー	個	1 (*)
(8)	液位検出端	電極棒 SUS	m	3.00 (*)

人　工　集　計　表　　［岩友ポンプ所］

集計表名称	据付・配線工							単体調整	重量(撤去重量)	試験工				
	技術者	電　工						技術者	（ｔ）	技術者	電　工			
材料集計表－1		0.760												
材料集計表－2		0.95												
(撤　去)材料集計表－1		0.286												
(撤　去)材料集計表－2		0.38												
合計		2.376												
設計数量		2												

材　料　集　計　表 － 1　　[岩友ポンプ所]

内訳区分	600V EM-CE				EM-CEE				EM-CEE				EM-CEE				EM-IE			
	14 sq				1.25 sq				1.25 sq				1.25 sq				22 sq			
	3 c				15 c				5 c				3 c							
	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
CHK (1- 1)			3.9				3.9				8.0				6.7				3.9	
合計値　(A)			3.9				3.9				8.0				6.7				3.9	
補完率　(B)	1				1				1				1				1			
(C)=(A)×(B)			3.9				3.9				8.0				6.7				3.9	
設計数量 (D)=Σ(C)	3.9				3.9				8.0				6.7				3.9			
電工単位工量(E)=(E0)	0.029	0.044	0.037	0.033	0.043	0.064	0.054	0.048	0.020	0.030	0.025	0.022	0.013	0.020	0.017	0.015	0.019	0.028	0.024	0.021
電工量　(C)×(E)			0.144				0.210				0.200				0.113				0.093	

C- 1 / 1　　電工量小計＝ 0.760

材　料　集　計　表 － 2　　［岩友ポンプ所］

内訳書番号	液位検出端	液位検出端	液位検出端					
	電極保持器	保護カバー	電極棒					
	5P		SUS					
	個	個	m					
ZHK (1- 1)	1	1	3					
合計値　(A)	1	1	3					
設計数量 (D)=(A)	1	1	3.00					
電工　単位工量 (E)	0.95							
工　量 (A)×(E)	0.95							

Z- 1 / 1　　電工量小計=0.95

岩友ポンプ所（今回）　　材　料　内　訳　表

			600V EM-CE				EM-CEE				EM-CEE				EM-CEE				EM-IE			
			14 sq				1.25 sq				1.25 sq				1.25 sq				22 sq			
	配線区間		3 c				15 c				5 c				3 c							
NO	自	至	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
1001	電源計装盤	給水ポンプユ			3.9																	
1002	電源計装盤	給水ポンプユ																			3.9	
1003	電源計装盤	給水ポンプユ							3.9													
1004	給水ポンプユ	電動ボール弁															6.7					
1005	給水ポンプユ	電極棒(5P)											8.0									
(1/1)	CHK (1- 1)				3.9				3.9				8.0				6.7				3.9	

岩友ポンプ所（今回）　　材　料　内　訳　表

NO	区分	液位検出端	同　左	同　左					
		電極保持器	保護カバー	電極棒					
		5P		SUS					
		個	個	m					
101	アイソメ図（今回）	1	1	3					
	(1/1)　　ZHK (1- 1)	1	1	3					

Ｎｏ	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計　　算
1001	電源計装盤	給水ポンプユニット	600V EM-CE 14 sq － 3 c	P&D		
				RACK		
				CP	3.9	0.5 + 0.7 + 0.7 + 1.1 + 0.3 + 0.6
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
1002	電源計装盤	給水ポンプユニット	EM-IE 22 sq	P&D		
				RACK		
				CP	3.9	0.5 + 0.7 + 0.7 + 1.1 + 0.3 + 0.6
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
1003	電源計装盤	給水ポンプユニット	EM-CEE 1.25 sq － 15 c	P&D		
				RACK		
				CP	3.9	0.5 + 0.7 + 0.7 + 1.1 + 0.3 + 0.6
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
1004	給水ポンプユニット	電動ボール弁	EM-CEE 1.25 sq － 3 c	P&D		
				RACK		
				CP	6.7	0.6 + 0.3 + 1.1 + 2.1 + 2.0 + 0.6
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
1005	給水ポンプユニット	電極棒(5P)	EM-CEE 1.25 sq － 5 c	P&D		
				RACK		
				CP	8.0	0.6 + 0.3 + 1.1 + 2.1 + 2.0 + 0.6 + 1.3
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

（撤　去）材　料　集　計　表 － 1　　［岩友ポンプ所］

内訳区分	600V CV				CVV				CVV				CVV				IV			
	22 sq				2 sq				2 sq				1.25 sq				22 sq			
	3 c				5 c				3 c				15 c							
	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
CRK (2- 1)			3.2				8.0				6.7				3.2				3.2	
合計値　(A)			3.2				8.0				6.7				3.2				3.2	
補完率　(B)	1				1				1				1				1			
(C)=(A)×(B)			3.2				8.0				6.7				3.2				3.2	
撤去数量 (D)=Σ(C)	3.2				8.0				6.7				3.2				3.2			
電工単位工量(E)=(E0)×K	0.015	0.022	0.018	0.016	0.008	0.013	0.011	0.010	0.006	0.009	0.007	0.006	0.017	0.025	0.021	0.019	0.007	0.011	0.009	0.008
電工量　(C)×(E)			0.057				0.088				0.046				0.067				0.028	

C- 1 / 1 (K= 0.4)　　電工量小計＝ 0.286

（撤　去）材　　料　　集　　計　　表 － 2　　［岩友ポンプ所］

内訳書番号	液位検出端	液位検出端	液位検出端					
	電極保持器	保護カバー	電極棒					
	5P		SUS					
	個	個	m					
ZRK (2- 1)	1	1	3					
合計値　(A)	1	1	3					
撤去数量 (D)=(A)	1	1	3.00					
電工　使用工量 (E)=(E0)×I	0.38							
工　　量 (A)×(E)	0.38							

Z- 1 / 1　(K= 0.4)　　電工量小計=0.38

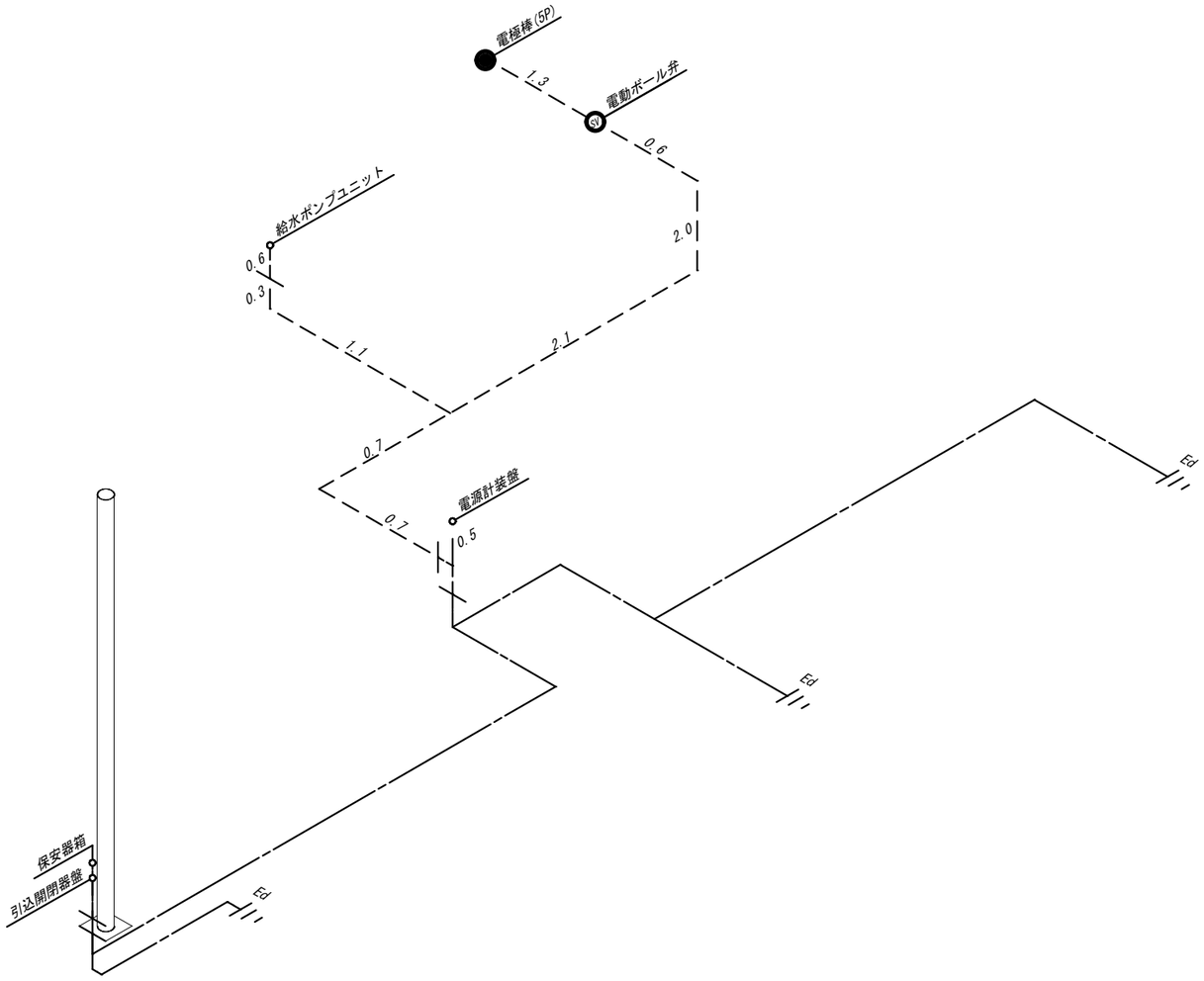
岩友ポンプ所（撤去）　　（撤　去）材　料　内　訳　表

			600V CV				CVV				CVV				CVV				IV			
			22 sq				2 sq				2 sq				1.25 sq				22 sq			
	配線区間		3 c				5 c				3 c				15 c							
NO	自	至	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
R 1001	電源計装盤	給水ポンプユ			3.2																	
R 1002	電源計装盤	給水ポンプユ																			3.2	
R 1003	電源計装盤	給水ポンプユ															3.2					
R 1004	給水ポンプユ	電動ボール弁											6.7									
R 1005	給水ポンプユ	電極棒(5P)							8.0													
(1/1)	CRK (2- 1)				3.2				8.0				6.7				3.2				3.2	

岩友ポンプ所（撤去）　　（撤　去）材　料　内　訳　表

NO	区分	液位検出端	同　左	同　左					
		電極保持器	保護カバー	電極棒					
		5P		SUS					
		個	個	m					
R101	アイソメ図（撤去）	1	1	3					
	(1/1)　　ZRK (2- 1)	1	1	3					

Ｎｏ	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計　　算
R 1001	電源計装盤	給水ポンプユニット	600V CV　22 sq　－　3 c	P&D		
				RACK		
				CP	3.2	0.5 + 0.7 + 1.1 + 0.3 + 0.6
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
R 1002	電源計装盤	給水ポンプユニット	IV　22 sq	P&D		
				RACK		
				CP	3.2	0.5 + 0.7 + 1.1 + 0.3 + 0.6
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
R 1003	電源計装盤	給水ポンプユニット	CVV　1.25 sq　－　15 c	P&D		
				RACK		
				CP	3.2	0.5 + 0.7 + 1.1 + 0.3 + 0.6
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
R 1004	給水ポンプユニット	電動ボール弁	CVV　2 sq　－　3 c	P&D		
				RACK		
				CP	6.7	0.6 + 0.3 + 1.1 + 2.1 + 2.0 + 0.6
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
R 1005	給水ポンプユニット	電極棒(5P)	CVV　2 sq　－　5 c	P&D		
				RACK		
				CP	8.0	0.6 + 0.3 + 1.1 + 2.1 + 2.0 + 0.6 + 1.3
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

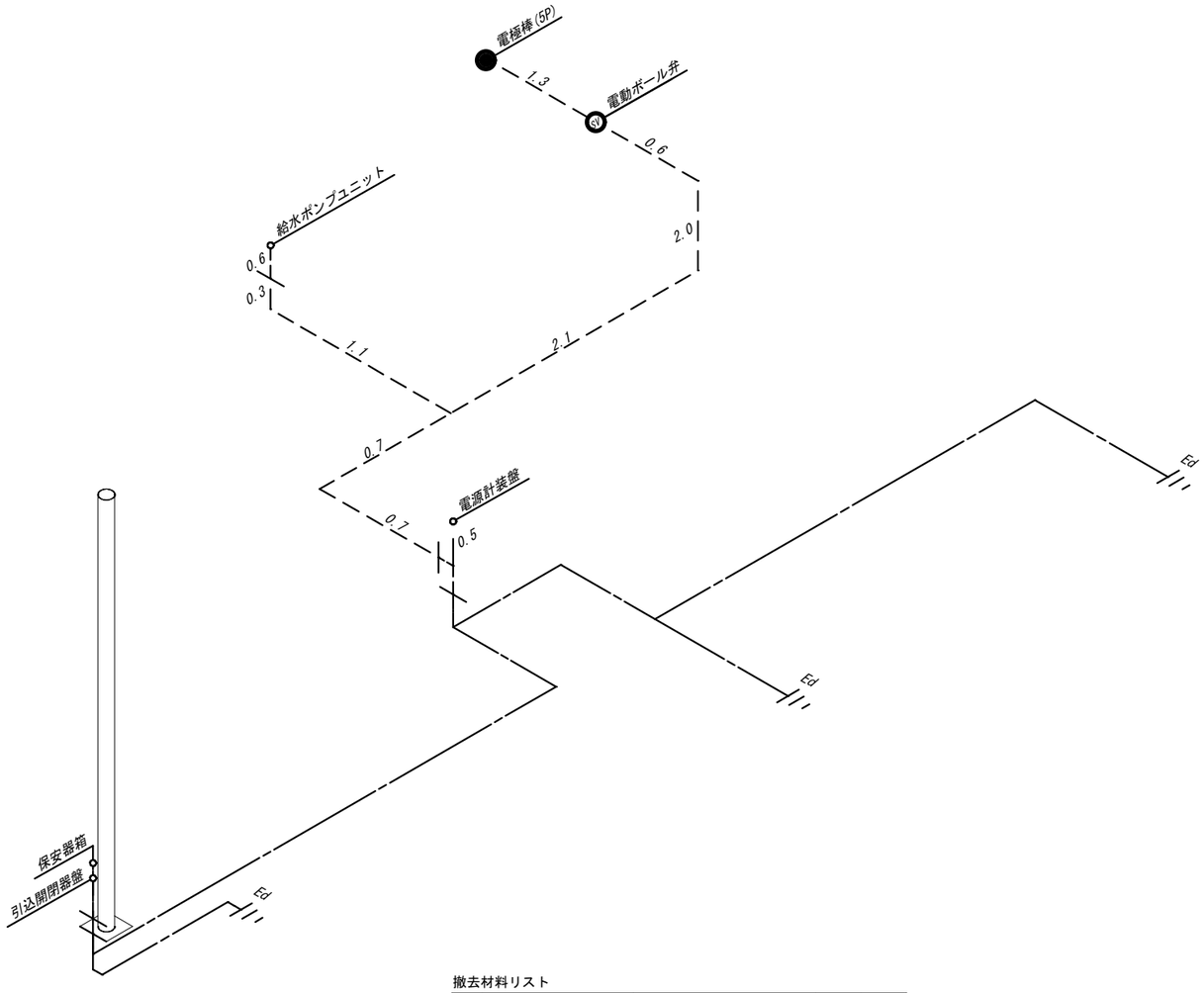


岩友ポンプ所 アイソメ図(今回)

特記事項

特記無き事項は下記を示す。

1. ― ― ― ・ ： 露出配管を示す。
2. ――― ――― ： P&Dを示す。
3. ―――-――― ： 埋設配管を示す。
4. ―――-――― ： 架空配線を示す。
（ラック配線として計上。）



撤去材料リスト

番号	名　　称	形　　式	数 量	単 位
①	電極保持器	5P	1	個
②	保護カバー		1	個
③	電極棒	SUS	3	m

岩友ポンプ所 アイソメ図(撤去)

特記事項

特記無き事項は下記を示す。

1. ― ― ―・：露出配管を示す。
2. ――　――：P&Dを示す。
3. ――-――：埋設配管を示す。
4. ――-――：架空配線を示す。
（ラック配線として計上。）

スクラップ計算書

1. ケーブル重量	＝	7.90(kg)
2. 銅線くず	＝	4.04(kg)
3. ナゲット処理	＝	3.86(kg)

【撤去ケーブル銅質量計算表】

No.	規 格	数 量	単位	概算質量 (kg/m)	合計概算質量 (kg)	銅概算質量 (kg/m)	合計銅概算質量 (kg)	備 考
1	600V CV 22 sq - 3 C	3.2	m	0.890	2.85	0.587	1.879	
2	CVV 2 sq - 5 C	8.0	m	0.230	1.84	0.088	0.705	
3	CVV 2 sq - 3 C	6.7	m	0.160	1.07	0.053	0.354	
4	CVV 1.25 sq - 15 C	3.2	m	0.405	1.30	0.149	0.476	
5	IV 22 sq - C	3.2	m	0.265	0.85	0.196	0.626	
6	sq - C		m					
7	sq - C		m					
8	sq - C		m					
9	sq - C		m					
10	sq - C		m					
11	sq - C		m					
12	sq - C		m					
13	sq - C		m					
14	sq - C		m					
15	sq - C		m					
16	sq - C		m					
17	sq - C		m					
18	sq - C		m					
19	sq - C		m					
20	sq - C		m					
21	sq - C		m					
22	sq - C		m					
23	sq - C		m					
24	sq - C		m					
25	sq - C		m					
26	sq - C		m					
27	sq - C		m					
28	sq - C		m					
29	sq - C		m					
30	sq - C		m					
31	sq - C		m					
32	sq - C		m					
34	sq - C		m					
合計					7.9		4.0	

目　次

重兼配水池

1. 合計一覧---------- 1
2. 人工集計表---------- 6

[本工事]
3. 据付工集計表---------- 7
4. 試験工集計表---------- 8
5. 材料集計表---------- 9
6. 材料内訳表---------- 14
7. 拾い出し根拠表---------- 19

[撤去工事]
8. 据付工集計表---------- 23
9. 材料集計表---------- 24
10. 材料内訳表---------- 29
11. 拾い出し根拠表---------- 33

機 器 数 量　　数量は機器金額入力欄の数量とします　［重兼配水池］

(1)	機　器	引込開閉器盤	面	1	(屋外装柱形 W500*H1000*D200)
(2)	機　器	配水池計装盤	面	1	(屋外自立形 W800*H2300*D800)
(3)	機　器	残留塩素計盤	面	1	(屋外自立形 W800*H1850*D800)
(4)	機　器	残留塩素計	組	1	(スタンド形 ポーラログラフ法)
(5)	機　器	配水流量計	組	1	(電磁式 φ200)
(6)	機　器	配水池水位計	組	1	(投込み式)
(7)	機　器	遠方監視装置機能増設	式	1	

材 料 数 量　　(*) 印は工量無　　［重兼配水池］

(1)	低圧ケーブル	600V EM-CE 14 sq- 2 c	m	49.4	
(2)	低圧ケーブル	600V EM-CE 3.5 sq- 2 c	m	7.3	
(3)	低圧ケーブル	600V EM-CE 2 sq- 2 c	m	81.2	
(4)	制御ケーブル	EM-CEE 1.25 sq- 20 c	m	7.3	
(5)	制御ケーブル	EM-CEE 1.25 sq- 7 c	m	48.8	
(6)	制御ケーブル	EM-CEE 1.25 sq- 3 c	m	2.0	
(7)	制御ケーブル	EM-CEE 1.25 sq- 2 c	m	43.9	
(8)	制御ケーブル	EM-CEE-S 1.25 sq- 6 c	m	7.3	
(9)	制御ケーブル	EM-CEE-S 1.25 sq- 2 c	m	50.8	
(10)	制御ケーブル	専用ケーブル	m	59.2	機器付属、工量のみ
(11)	その他電線	EM-IE 3.5 sq	m	7.3	
(12)	電線管類	FEP 50 mm (埋込)	m	3.6	
(13)	電線管類	FEP 40 mm (埋込)	m	7.2	
(14)	電線管類	FEP 30 mm (埋込)	m	6.0	
(15)	電線管類	GP 28 mm (露出)	m	7.0	
(16)	電線管類	GP 22 mm (露出)	m	10.2	
(17)	接地装置	接地棒 φ14*1500	本	1	
(18)	接地装置	接地埋設標 (黄銅製、国土交通省仕様)	枚	1	
(19)	電線管類	プルボックス (SUS-WP) 400*400*200	個	1	
(20)	電線管類	プルボックス (SUS-WP) 300*300*200	個	1	
(21)	液位検出端	配水池電極	個	1	
(22)	小配管, 弁類	SGP-VB 20A (屋外)	m	5.5	
(23)	照明器具	LED照明器具	個	1	
(24)	一般労務費	電　工 (据付)	人	38	
(25)	一般労務費	配管工 (据付)	人	1	
(26)	技術労務費	技術者 (据付)	人	5	

(26)	技術労務費	技術者　(単体調整)	人	3
(27)	技術労務費	技術者　(組合試験)	人	1

複 合 工

(28)	舗装版切断工		m	15
(29)	舗装版破砕積込工		m2	7
(30)	掘削工		m3	3
(31)	埋戻工	再生砂	m3	0.1
(32)	埋戻工	発生土	m3	1
(33)	路盤工	RM-30	m2	5
(34)	アスファルト舗装工	再生密粒アスコン (20)	m2	5
(35)	基礎砕石工	RC-40 , t=10cm	m2	3
(36)	型枠工		m2	3
(37)	均しコンクリート工	18-8-40	m3	0.1
(38)	コンクリート工	24-8-40	m3	0.7
(39)	鉄筋工	SD295　D13	t	0.06

処 分 工

(40)	残土処分工		m3	2
(41)	As殻処分工		m3	0.3
(42)	排水汚泥処分工		m3	0.01
(43)	スクラップ処理工	2号銅線	kg	29.2
(44)	スクラップ処理工	ナゲット処理	kg	49
(45)	スクラップ処理工	H1	t	0.67
(46)	スクラップ処理工	H3	t	0.05
(47)	産業廃棄物処理工	廃プラスチック類	t	0.0002

機 器 数 量(撤去)　　数量・単位は据付入力欄のものとします［重兼配水池］

(1)	機　器	引込開閉器盤	面	1
(2)	機　器	重兼配水池遠方監視装置盤	面	1
(3)	機　器	配水池計装盤	面	1
(4)	機　器	配水残留塩素測定盤	面	1
(5)	機　器	残留塩素計	台	1
(6)	機　器	配水流量計	台	1
(7)	機　器	配水池水位計	組	1

材 料 数 量(撤去)　　(*) 印は工量無　　[重兼配水池]

(1)	低圧ケーブル	600V EM-CE 5.5 sq- 2 c	m	2.9
(2)	低圧ケーブル	600V CV 3.5 sq- 2 c	m	118
(3)	制御ケーブル	EM-CEE 2 sq- 20 c	m	2.9
(4)	制御ケーブル	CVV 2 sq- 7 c	m	46.0
(5)	制御ケーブル	CVV 1.25 sq- 30 c	m	40.0
(6)	制御ケーブル	CVV 1.25 sq- 2 c	m	41.1
(7)	制御ケーブル	EM-CEE-S 2 sq- 6 c	m	2.9
(8)	制御ケーブル	CVV-S 2 sq- 2 c	m	48.0
(9)	制御ケーブル	専用ケーブル	m	53.6
(10)	その他電線	EM-IE 3.5 sq	m	2.9
(11)	その他電線	IV 3.5 sq	m	2.0
(12)	電線管類	PF 16 mm (露出)	m	1.0
(13)	電線管類	GP 54 mm (露出)	m	7.0
(14)	電線管類	GP 42 mm (露出)	m	1.5
(15)	電線管類	GP 22 mm (露出)	m	7.6
(16)	電線管類	プルボックス (SUS-WP) 300*300*200	個	1
(17)	液位検出端	配水池電極 PH-2	個	1
(18)	照明器具	水銀灯 200W	個	1

人　工　集　計　表　　［重兼配水池］

集計表名称	据付・配線工							単体調整	重量(撤去重量)	試験工				
	技術者	電　工	配管工					技術者	(ｔ)	技術者	電　工			
据付工集計表(S-301)	5.45	13.85						3.16	0.975					
試験工集計表(T-301)										0.96				
材料集計表－1		4.370												
材料集計表－2		2.201												
材料集計表－3		0.065												
材料集計表－4		2.324												
材料集計表－5	0.33	1.878	0.660											
(撤　去)据付工集計表(S-401)		8.63							(0.790)					
(撤　去)材料集計表－1		2.434												
(撤　去)材料集計表－2		0.804												
(撤　去)材料集計表－3		0.006												
(撤　去)材料集計表－4		1.123												
(撤　去)材料集計表－5		0.651												
合計	5.78	38.336	0.660					3.16	0.975(0.790)	0.96				
設計数量	5	38	1					3	0.975(0.790)	1				

重兼配水池（今回）（ 1/ 1）　　据 付 工 集 計 表　　［重兼配水池］

機 器 名 称	形　　状	単位	数量	技術者 単位工量	技術者 工量	電 工 単位工量	電 工 工量	技術者単体調整 単位工量	技術者単体調整 工量	単位工量	工量	歩 掛 ページ	機器重量(t) 単位重量	機器重量(t) 重量	備　　考
引込開閉器盤	屋外装柱形 W500*H1000*D200	面	1		0.88		1.9							0.05	現場操作盤6 壁掛形 W500*H600
配水池計装盤	屋外自立形 W800*H2300*D800	面	1		1.3		3.6							0.4	計装盤1 W800*H2300*D1000
残留塩素計盤	屋外自立形 W800*H1850*D800	面	1		1.3		3.6							0.4	計装盤1 W800*H2300*D1000
残留塩素計	スタンド形 ポーラログラフ法	台	1		0.41		1.3		1.3					0.03	計装設備　検出端等 発信器類
配水流量計	電磁式 φ200	台	1	[0.77]+[0.38] =1.15	1.15	[0.95]+[1.2] =2.15	2.15		0.56					0.07	電磁流量計　200φ 発信器＋変換器
配水池水位計	投込み式	組	1		0.41		1.3		1.3					0.025	計装設備　検出端等 発信器類
計（S-301）				5.45		13.85		3.16					0.975		

重兼配水池（今回）（ 1/ 1）　　試 験 工 集 計 表　　［重兼配水池］

機器名称	形状	単位	数量	技術者 単位工量	技術者 工量	電工 単位工量	電工 工量	技術者単体調整 単位工量	技術者単体調整 工量	単位工量	工量	歩掛ページ	備考
残留塩素計		ﾙｰﾌﾟ	1		0.32								計装設備 発信器類
配水流量計		ﾙｰﾌﾟ	1		0.32								計装設備 発信器類
配水池水位計		ﾙｰﾌﾟ	1		0.32								計装設備 発信器類
計（T-301）				0.96									

材　料　集　計　表 － 1　　［重兼配水池］

内訳区分	600V EM-CE				600V EM-CE				600V EM-CE				EM-CEE				EM-CEE			
	14 sq				3.5 sq				2 sq				1.25 sq				1.25 sq			
	2 c				2 c				2 c				20 c				7 c			
	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
CHK (3- 1)			7.0	42.4				7.3			6.6	74.6				7.3				48.8
合計値　(A)			7.0	42.4				7.3			6.6	74.6				7.3				48.8
補完率　(B)	1				1				1				1				1			
(C)=(A)×(B)			7.0	42.4				7.3			6.6	74.6				7.3				48.8
設計数量 (D)=Σ(C)	49.4				7.3				81.2				7.3				48.8			
電工単位工量(E)=(E0)	0.023	0.034	0.029	0.026	0.013	0.020	0.017	0.015	0.013	0.020	0.017	0.015	0.050	0.075	0.063	0.056	0.024	0.036	0.030	0.027
電工量　(C)×(E)			0.203	1.102				0.109			0.112	1.119				0.408				1.317

C- 1 / 4　　電工量小計＝ 4.370

材　料　集　計　表 － 2　　［重兼配水池］

内訳区分	EM-CEE				EM-CEE				EM-CEE-S				EM-CEE-S				専用ケーブル			
	1.25 sq				1.25 sq				1.25 sq				1.25 sq							
	3 c				2 c				6 c				2 c							
	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
CHK (3- 2)				2.0			1.5	42.4				7.3				50.8			4.2	55.0
合計値　(A)				2.0			1.5	42.4				7.3				50.8			4.2	55.0
補完率　(B)	1				1				1				1				1			
(C)=(A)×(B)				2.0			1.5	42.4				7.3				50.8			4.2	55.0
設計数量 (D)=Σ(C)	2.0				43.9				7.3				50.8				59.2			
電工単位工量(E)=(E0)	0.013	0.020	0.017	0.015	0.012	0.018	0.015	0.013	0.020	0.030	0.025	0.022	0.012	0.018	0.015	0.013	0.012	0.018	0.015	0.013
電工量　(C)×(E)				0.030			0.022	0.551				0.160				0.660			0.063	0.715

C- 2 / 4　　電工量小計＝ 2.201

材　料　集　計　表 － 3　　［重兼配水池］

内訳区分	EM-IE																			
	3.5 sq																			
	P&D	RACK	CP	FEP																
CHK (3- 3)				7.3																
合計値　(A)				7.3																
補完率　(B)	1				n				n				n				n			
(C)=(A)×(B)				7.3																
設計数量 (D)=Σ(C)	7.3																			
電工単位工量(E)=(E0)	0.008	0.013	0.011	0.009																
電工量　(C)×(E)				0.065																

C- 3 / 4　　電工量小計＝ 0.065

材　料　集　計　表 － 4　　［重兼配水池］

内訳区分	FEP				FEP				FEP				GP				GP			
	50 mm				40 mm				30 mm				28 mm				22 mm			
	露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込		
CHK (3- 3)		3.6				7.2				6.0			7.0							
CHK (3- 4)																	10.2			
合計値　(A)		3.6				7.2				6.0			7.0				10.2			
補完率　(B)	1				1				1				1				1			
(C)=(A)×(B)		3.6				7.2				6.0			7.0				10.2			
設計数量 (D)=(C)		3.6				7.2				6.0			7.0				10.2			
電工単位工量(E)=(E0)	0.035	0.035			0.031	0.031			0.026	0.026			0.12	0.10			0.096	0.080		
電工量　(C)×(E)		0.126				0.223				0.156			0.840				0.979			

C- 4 / 4　　電工量小計＝ 2.324

材　料　集　計　表 － 5　　［重兼配水池］

内訳書番号	電線管類 プルボックス (SUS-WP) 400*400*200 個	電線管類 プルボックス (SUS-WP) 300*300*200 個	接地装置 接地棒 φ14*1500 本	液位検出端 配水池電極 個	小配管，弁類 炭素鋼鋼管 SGP-VB　20A (屋外) m	照明器具 LED照明器具 個		
ZHK (3- 1)	1	1	1	1	5.5	1		
合計値　(A)	1	1	1	1	5.5	1		
設計数量 (D)=(A)	1	1	1	1	5.5	1		
電工　単位工量 (E)	0.50	0.40	0.18	0.62		0.178		
工　量 (A)×(E)	0.50	0.40	0.18	0.62		0.178		
配管工　単位工量 (E)					0.12			
工　量 (A)×(E)					0.660			
技術者　単位工量 (E)				0.33				
工　量 (A)×(E)				0.33				

Z- 1 / 1　　電工量小計=1.878　配管工量小計=0.660 技術者工量小計=0.33

重兼配水池（今回）　　材　料　内　訳　表

			600V EM-CE				600V EM-CE				600V EM-CE				EM-CEE				EM-CEE			
			14 sq				3.5 sq				2 sq				1.25 sq				1.25 sq			
	配線区間		2 c				2 c				2 c				20 c				7 c			
NO	自	至	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
1001	引込口	引込開閉器盤			5.5																	
1002	引込開閉器盤	配水池計装盤			1.5	42.4																
1004	引込開閉器盤	外灯1											3.5									
1005	引込開閉器盤	機械警備											1.0									
1006	配水池計装盤	残留塩素計												2.0								
1010	配水池計装盤	配水池電極																				48.8
1011	配水池計装盤	配水流量計											2.1	27.5								
1013	配水池計装盤	外灯2												45.1								
1014	配水池計装盤	遠方監視装置								7.3												
1016	配水池計装盤	遠方監視装置																7.3				
(1/4)	CHK (3- 1)				7.0	42.4				7.3			6.6	74.6				7.3				48.8

重兼配水池（今回）　　材　料　内　訳　表

			EM-CEE				EM-CEE				EM-CEE-S				EM-CEE-S				専用ケーブル			
			1.25 sq				1.25 sq				1.25 sq				1.25 sq							
	配線区間		3 c				2 c				6 c				2 c							
NO	自	至	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
1003	引込開閉器盤	配水池計装盤							1.5	42.4												
1007	配水池計装盤	残留塩素計				2.0																
1008	配水池計装盤	残留塩素計																2.0				
1009	配水池計装盤	配水池水位計																48.8				
1012	配水池計装盤	配水流量計																			2.1x2	27.5x2
1017	配水池計装盤	遠方監視装置												7.3								
(2/4)	CHK (3- 2)					2.0			1.5	42.4				7.3				50.8			4.2	55.0

重兼配水池（今回）　　材　料　内　訳　表

	配線区間		EM-IE				FEP				FEP				FEP				GP			
			3.5 sq				50 mm				40 mm				30 mm				28 mm			
NO	自	至	P&D	RACK	CP	FEP	露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込		
1001	引込口	引込開閉器盤																	5.5			
1002	引込開閉器盤	配水池計装盤																	1.5			
1006	配水池計装盤	残留塩素計														2.0						
1007	配水池計装盤	残留塩素計														2.0						
1008	配水池計装盤	残留塩素計														2.0						
1015	配水池計装盤	遠方監視装置				7.3																
1018	配水池計装盤	HH-3						3.6														
1019	配水池計装盤	HH-3										3.6x2										
(3/4)	CHK (3- 3)					7.3		3.6				7.2				6.0			7.0			

重兼配水池（今回）　　材　料　内　訳　表

			GP																			
			22 mm																			
	配線区間																					
NO	自	至	露出	埋込																		
1003	引込開閉器盤	配水池計装盤	1.5																			
1004	引込開閉器盤	外灯1	3.5																			
1005	引込開閉器盤	機械警備	1.0																			
1011	配水池計装盤	配水流量計	2.1																			
1012	配水池計装盤	配水流量計	2.1																			
(4/4)	CHK (3- 4)		10.2																			

重兼配水池（今回）　　材　料　内　訳　表

NO	区分	電線管類	同　左	接地装置	液位検出端	小配管，弁類	照明器具		
		プルボックス (SUS-WP)	プルボックス (SUS-WP)	接地棒	配水池電極	炭素鋼鋼管	LED照明器具		
		400*400*200	300*300*200	φ14*1500		SGP　20A (屋外)			
		個	個	本	個	m	個		
101	アイソメ図（今回）	1	1	1	1	5.5	1		
	(1/1)　　ZHK (3- 1)	1	1	1	1	5.5	1		

Ｎｏ	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計　　算
1001	引込口	引込開閉器盤	600V EM-CE 14 sq － 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	5.5	5.5
				FEP		
				CP		
			GP 28 mm	露出	5.5	5.5
				埋込		
1002	引込開閉器盤	配水池計装盤	600V EM-CE 14 sq － 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	1.5	1.5
				FEP	42.4	0.6 + 0.7 + 2.3 + 0.6 + 0.5 + 33.5 + 2.8 + 0.8 + 0.6
				CP		
			GP 28 mm	露出	1.5	1.5
				埋込		
1003	引込開閉器盤	配水池計装盤	EM-CEE 1.25 sq － 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	1.5	1.5
				FEP	42.4	0.6 + 0.7 + 2.3 + 0.6 + 0.5 + 33.5 + 2.8 + 0.8 + 0.6
				CP		
			GP 22 mm	露出	1.5	1.5
				埋込		
1004	引込開閉器盤	外灯1	600V EM-CE 2 sq － 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	3.5	3.5
				FEP		
				CP		
			GP 22 mm	露出	3.5	3.5
				埋込		
1005	引込開閉器盤	機械警備	600V EM-CE 2 sq － 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	1.0	1.0
				FEP		
				CP		
			GP 22 mm	露出	1.0	1.0
				埋込		

Ｎｏ	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計　　算
1006	配水池計装盤	残留塩素計	600V EM-CE 2 sq － 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	2.0	0.6 + 0.8 + 0.6
				CP		
			FEP 30 mm	露出		
				埋込	2.0	0.6 + 0.8 + 0.6
1007	配水池計装盤	残留塩素計	EM-CEE 1.25 sq － 3 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	2.0	0.6 + 0.8 + 0.6
				CP		
			FEP 30 mm	露出		
				埋込	2.0	0.6 + 0.8 + 0.6
1008	配水池計装盤	残留塩素計	EM-CEE-S 1.25 sq － 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	2.0	0.6 + 0.8 + 0.6
				CP		
			FEP 30 mm	露出		
				埋込	2.0	0.6 + 0.8 + 0.6
1009	配水池計装盤	配水池水位計	EM-CEE-S 1.25 sq － 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	48.8	0.6 + 0.8 + 2.8 + 15.4 + 0.6 + 1.8 + 1.8 + 1.8 + 13.0 + 5.2 + 5.0
				CP		
				露出		
				埋込		
1010	配水池計装盤	配水池電極	EM-CEE 1.25 sq － 7 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	48.8	0.6 + 0.8 + 2.8 + 15.4 + 0.6 + 1.8 + 1.8 + 1.8 + 13.0 + 5.2 + 5.0
				CP		
				露出		
				埋込		

Ｎｏ	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計　　算
1011	配水池計装盤	配水流量計	600V EM-CE 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	2.1	1.1 + 1.0
				FEP	27.5	0.6 + 0.8 + 2.8 + 15.4 + 0.6 + 1.8 + 5.0 + 0.5
				CP		
			GP 22 mm	露出	2.1	1.1 + 1.0
				埋込		
1012	配水池計装盤	配水流量計	専用ケーブル x 2	P&D		
				RACK		
				CP	2.1	1.1 + 1.0
				FEP	27.5	0.6 + 0.8 + 2.8 + 15.4 + 0.6 + 1.8 + 5.0 + 0.5
				CP		
			GP 22 mm	露出	2.1	1.1 + 1.0
				埋込		
1013	配水池計装盤	外灯2	600V EM-CE 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	45.1	0.6 + 0.8 + 2.8 + 15.4 + 0.6 + 1.8 + 1.8 + 1.8 + 13.0 + 5.2 + 0.7 + 0.6
				CP		
				露出		
				埋込		
1014	配水池計装盤	遠方監視装置盤	600V EM-CE 3.5 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	7.3	0.6 + 0.8 + 2.8 + 0.8 + 1.7 + 0.6
				CP		
				露出		
				埋込		
1015	配水池計装盤	遠方監視装置盤	EM-IE 3.5 sq	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	7.3	0.6 + 0.8 + 2.8 + 0.8 + 1.7 + 0.6
				CP		
				露出		
				埋込		

Ｎｏ	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計　　算
1016	配水池計装盤	遠方監視装置盤	EM-CEE 1.25 sq - 20 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	7.3	0.6 + 0.8 + 2.8 + 0.8 + 1.7 + 0.6
				CP		
				露出		
				埋込		
1017	配水池計装盤	遠方監視装置盤	EM-CEE-S 1.25 sq - 6 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	7.3	0.6 + 0.8 + 2.8 + 0.8 + 1.7 + 0.6
				CP		
				露出		
				埋込		
1018	配水池計装盤	HH-3		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
			FEP 50 mm	露出		
				埋込	3.6	0.8 + 2.8
1019	配水池計装盤	HH-3		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
			FEP 40 mm x 2	露出		
				埋込	3.6	0.8 + 2.8

(撤　去)据　付　工　集　計　表

機 器 名 称	形　　状	単位	数量	技術者 単位工量	技術者 工量	電　工 単位工量	電　工 工量	技術者単体調整 単位工量	技術者単体調整 工量	単位工量	工量	歩　掛 ページ	機器重量(t) 単位重量	機器重量(t) 重量	備　　考
引込開閉器盤	屋外壁掛形 W300*H830*D200	面	1	0.71*0.4 =0.28	# 0.28	1.8*0.4 =0.72	0.72							0.035	現場操作盤5 壁掛形 W400*H500
重兼配水池 遠方監視装置盤	屋内壁掛形 W500*H700*D200	面	1	0.88*0.4 =0.35	# 0.35	1.9*0.4 =0.76	0.76							0.030	現場操作盤6 壁掛形 W500*H600
配水池計装盤	屋外自立形 W700*H2050*D800	面	1	1.3*0.4 =0.52	# 0.52	3.6*0.4 =1.4	1.4							0.4	計装盤1 W800*H2300*D1000
配水残留塩素測定盤	屋外自立形 W800*H2050*D800	面	1	1.3*0.4 =0.52	# 0.52	3.6*0.4 =1.4	1.4							0.2	計装盤1 W800*H2300*D1000
残留塩素計	スタンド型 ポーラログラフ法	台	1	0.41*0.4 =0.16	# 0.16	1.3*0.4 =0.52	0.52							0.03	計装設備　検出端等 発信器類
配水流量計	電磁式 φ200	台	1	([0.77]+[0.38])*0.4=0.46	# 0.46	([0.95]+[1.2]) *0.4=0.86	0.86							0.07	電磁流量計　200φ 発信器＋変換器
配水池水位計	投込み式	組	1	0.41*0.4 =0.16	# 0.16	1.3*0.4 =0.52	0.52							0.025	計装設備　検出端等 発信器類
計（S-401）				#　2.45　--->		2.45　+ 8.63	6.18						0.790		

#印は再使用しない撤去なので技術者を電　工に読み替える

（撤　去）材　料　集　計　表 － 1　　［重兼配水池］

内訳区分	600V EM-CE				600V CV				EM-CEE				CVV				CVV			
	5.5 sq				3.5 sq				2 sq				2 sq				1.25 sq			
	2 c				2 c				20 c				7 c				30 c			
	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
CRK (4- 1)				2.9			11.5	106.2				2.9				46.0			1.5	38.5
合計値　(A)				2.9			11.5	106.2				2.9				46.0			1.5	38.5
補完率　(B)	1				1				1				1				1			
(C)=(A)×(B)				2.9			11.5	106.2				2.9				46.0			1.5	38.5
撤去数量 (D)=Σ(C)	2.9				117.7 ----> 118				2.9				46.0				40.0			
電工単位工量(E)=(E0)×K	0.006	0.010	0.008	0.007	0.005	0.008	0.006	0.006	0.022	0.033	0.028	0.025	0.010	0.016	0.013	0.012	0.024	0.036	0.030	0.027
電工量　(C)×(E)				0.020			0.069	0.637				0.072				0.552			0.045	1.039

C- 1 / 4 (K= 0.4)　　電工量小計＝ 2.434

（撤　去）材　　料　　集　　計　　表 － 2　　［重兼配水池］

内訳区分	CVV				EM-CEE-S				CVV-S				専用ケーブル				EM-IE			
	1.25 sq				2 sq				2 sq								3.5 sq			
	2 c				6 c				2 c											
	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
CRK (4- 2)			1.5	39.6				2.9				48.0			4.2	49.4				2.9
合計値　(A)			1.5	39.6				2.9				48.0			4.2	49.4				2.9
補完率　(B)	1				1				1				1				1			
(C)=(A)×(B)			1.5	39.6				2.9				48.0			4.2	49.4				2.9
撤去数量 (D)=Σ(C)	41.1				2.9				48.0				53.6				2.9			
電工単位工量(E)=(E0)×K	0.004	0.007	0.006	0.005	0.008	0.013	0.011	0.010	0.005	0.008	0.006	0.006	0.004	0.007	0.006	0.005	0.003	0.005	0.004	0.003
電工量　(C)×(E)			0.009	0.198				0.029				0.288			0.025	0.247				0.008

C- 2 / 4 (K= 0.4)　　電工量小計＝ 0.804

(撤　去) 材　料　集　計　表 － 3　　［重兼配水池］

内訳区分	IV																			
	3.5 sq																			
	P&D	RACK	CP	FEP																
CRK (4- 3)				2.0																
合計値　(A)				2.0																
補完率　(B)	1				n				n				n				n			
(C)=(A)×(B)				2.0																
撤去数量 (D)=Σ(C)	2.0																			
電工単位工量(E)=(E0)×K	0.003	0.005	0.004	0.003																
電工量　(C)×(E)				0.006																

C- 3 / 4 (K= 0.4)　　電工量小計＝ 0.006

（撤　去）材　料　集　計　表 － 4　　［重兼配水池］

内訳区分	PF				GP				GP				GP							
	16 mm				54 mm				42 mm				22 mm							
	露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込						
CRK (4- 3)	1.0				7.0				1.5				7.6							
合計値　(A)	1.0				7.0				1.5				7.6							
補完率　(B)	1				1				1				1				n			
(C)=(A)×(B)	1.0				7.0				1.5				7.6							
撤去数量 (D)=(C)	1.0				7.0				1.5				7.6							
電工単位工量(E)=(E0)×K	0.014	0.012			0.10	0.088			0.081	0.068			0.038	0.032						
電工量　(C)×(E)	0.014				0.700				0.121				0.288							

C- 4 / 4 (K= 0.4)　　電工量小計＝ 1.123

（撤　去）材　　料　　集　　計　　表 － 5　　［重兼配水池］

内訳書番号	電線管類	液位検出端	照明器具					
	プルボックス (SUS-WP)	配水池電極	水銀灯					
	300*300*200	PH-2	200W					
	個	個	個					
ZRK (4- 1)	1	1	1					
合計値　(A)	1	1	1					
撤去数量 (D)=(A)	1	1	1					
電工　使用工量 (E)=(E0)×K	0.16	0.24	0.121					
工　　量 (A)×(E)	0.16	0.24+(0.13)=0.37	0.121					
技術者　使用工量 (E)=(E0)×K		0.13						
工　　量 (A)×(E)		(0.13)						

Z- 1 / 1　(K= 0.4)　　電工量小計=0.651　　再使用しない撤去の技術者は電工に読み替える

重兼配水池（撤去）　　（撤　去）材　料　内　訳　表

			600V EM-CE				600V CV				EM-CEE				CVV				CVV			
			5.5 sq				3.5 sq				2 sq				2 sq				1.25 sq			
	配線区間		2 c				2 c				20 c				7 c				30 c			
NO	自	至	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
R 1001	引込口	引込開閉器盤							5.5													
R 1002	重兼配水池遠	配水池計装盤																			1.5	38.5
R 1004	引込開閉器盤	配水池計装盤							1.5	39.6												
R 1006	引込開閉器盤	外灯1							3.5													
R 1007	引込開閉器盤	機械警備							1.0													
R 1008	配水池計装盤	残留塩素計								2.0												
R 1012	配水池計装盤	配水池電極																46.0				
R 1014	配水池計装盤	外灯2								32.3x2												
R 1015	配水池計装盤	遠方監視装置				2.9																
R 1017	配水池計装盤	遠方監視装置												2.9								
(1/3)	CRK (4- 1)					2.9			11.5	106.2				2.9				46.0			1.5	38.5

重兼配水池（撤去）　　（撤　去）材　料　内　訳　表

			CVV				EM-CEE-S				CVV-S				専用ケーブル				EM-IE			
			1.25 sq				2 sq				2 sq								3.5 sq			
	配線区間		2 c				6 c				2 c											
NO	自	至	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
R 1005	引込開閉器盤	配水池計装盤			1.5	39.6																
R 1010	配水池計装盤	残留塩素計												2.0								
R 1011	配水池計装盤	配水池水位計												46.0								
R 1013	配水池計装盤	配水池流量計															2.1x2	24.7x2				
R 1016	配水池計装盤	遠方監視装置																				2.9
R 1018	配水池計装盤	遠方監視装置								2.9												
(2/3)	CRK (4- 2)				1.5	39.6				2.9				48.0			4.2	49.4				2.9

重兼配水池（撤去）　　（撤　去）材　料　内　訳　表

			IV				PF				GP				GP				GP			
			3.5 sq				16 mm				54 mm				42 mm				22 mm			
	配線区間																					
NO	自	至	P&D	RACK	CP	FEP	露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込		
R 1001	引込口	引込開閉器盤									5.5											
R 1002	重兼配水池遠	配水池計装盤													1.5							
R 1003	重兼配水池遠	旧保安器箱																	2.0			
R 1004	引込開閉器盤	配水池計装盤									1.5											
R 1006	引込開閉器盤	外灯1																	3.5			
R 1007	引込開閉器盤	機械警備					1.0															
R 1009	配水池計装盤	残留塩素計				2.0																
R 1013	配水池計装盤	配水池流量計																	2.1			
(3/3)	CRK (4- 3)					2.0	1.0				7.0				1.5				7.6			

重兼配水池（撤去）　　（撤　去）材　料　内　訳　表

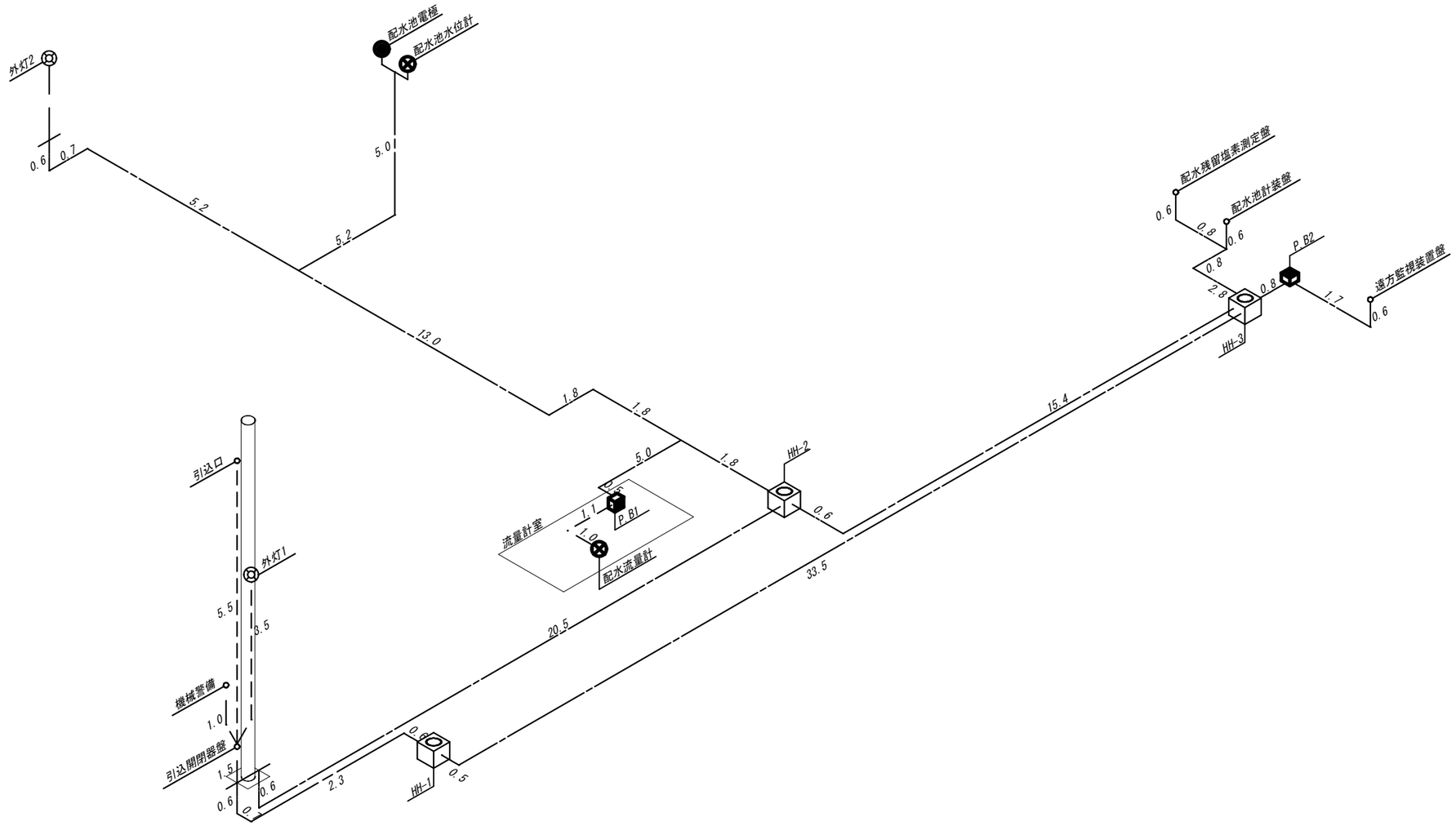
NO	区分	電線管類	液位検出端	照明器具					
		プルボックス (SUS-WP)	配水池電極	水銀灯					
		300*300*200		200W					
		個	個	個					
R101	アイソメ図（撤去）	1	1	1					
	(1/1)　　ZRK (4- 1)	1	1	1					

Ｎｏ	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計　　算
R 1001	引込口	引込開閉器盤	600V CV 3.5 sq － 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	5.5	5.5
				FEP		
				CP		
			GP 54 mm	露出	5.5	5.5
				埋込		
R 1002	重兼配水池遠方監視装置盤	配水池計装盤	CVV 1.25 sq － 30 c	P&D		
				RACK		
				CP	1.5	1.5
				FEP	38.5	0.6 + 20.5 + 0.6 + 15.4 + 0.8 + 0.6
				CP		
			GP 42 mm	露出	1.5	1.5
				埋込		
R 1003	重兼配水池遠方監視装置盤	旧保安器箱		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
				CP		
			GP 22 mm	露出	2.0	2.0
				埋込		
R 1004	引込開閉器盤	配水池計装盤	600V CV 3.5 sq － 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	1.5	1.5
				FEP	39.6	0.6 + 0.7 + 2.3 + 0.6 + 0.5 + 33.5 + 0.8 + 0.6
				CP		
			GP 54 mm	露出	1.5	1.5
				埋込		
R 1005	引込開閉器盤	配水池計装盤	CVV 1.25 sq － 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	1.5	1.5
				FEP	39.6	0.6 + 0.7 + 2.3 + 0.6 + 0.5 + 33.5 + 0.8 + 0.6
				CP		
				露出		
				埋込		

Ｎｏ	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計　　算
R 1006	引込開閉器盤	外灯1	600V CV 3.5 sq － 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	3.5	3.5
				FEP		
				CP		
			GP 22 mm	露出	3.5	3.5
				埋込		
R 1007	引込開閉器盤	機械警備	600V CV 3.5 sq － 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	1.0	1.0
				FEP		
				CP		
			PF 16 mm	露出	1.0	1.0
				埋込		
R 1008	配水池計装盤	残留塩素計	600V CV 3.5 sq － 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	2.0	0.6 + 0.8 + 0.6
				CP		
				露出		
				埋込		
R 1009	配水池計装盤	残留塩素計	IV 3.5 sq	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	2.0	0.6 + 0.8 + 0.6
				CP		
				露出		
				埋込		
R 1010	配水池計装盤	残留塩素計	CVV-S 2 sq － 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	2.0	0.6 + 0.8 + 0.6
				CP		
				露出		
				埋込		

Ｎｏ	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計　　算
R 1011	配水池計装盤	配水池水位計	CVV-S　2 sq　－　2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	46.0	0.6 + 0.8 + 15.4 + 0.6 + 1.8 + 1.8 + 1.8 + 13.0 + 5.2 + 5.0
				CP		
				露出		
				埋込		
R 1012	配水池計装盤	配水池電極	CVV　2 sq　－　7 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	46.0	0.6 + 0.8 + 15.4 + 0.6 + 1.8 + 1.8 + 1.8 + 13.0 + 5.2 + 5.0
				CP		
				露出		
				埋込		
R 1013	配水池計装盤	配水池流量計	専用ケーブル　x 2	P&D		
				RACK		
				CP	2.1	1.1 + 1.0
				FEP	24.7	0.6 + 0.8 + 15.4 + 0.6 + 1.8 + 5.0 + 0.5
				CP		
			GP　22 mm	露出	2.1	1.1 + 1.0
				埋込		
R 1014	配水池計装盤	外灯2	600V CV　3.5 sq　－　2 c　x 2	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	32.3	0.6 + 0.8 + 15.4 + 0.6 + 1.8 + 1.8 + 1.8 + 3.0 + 5.2 + 0.7 + 0.6
				CP		
				露出		
				埋込		
R 1015	配水池計装盤	遠方監視装置盤	600V EM-CE　5.5 sq　－　2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	2.9	0.6 + 1.7 + 0.6
				CP		
				露出		
				埋込		

Ｎｏ	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計　　算
R 1016	配水池計装盤	遠方監視装置盤	EM-IE　3.5 sq	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	2.9	0.6 + 1.7 + 0.6
				CP		
				露出		
				埋込		
R 1017	配水池計装盤	遠方監視装置盤	EM-CEE　2 sq － 20 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	2.9	0.6 + 1.7 + 0.6
				CP		
				露出		
				埋込		
R 1018	配水池計装盤	遠方監視装置盤	EM-CEE-S　2 sq － 6 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	2.9	0.6 + 1.7 + 0.6
				CP		
				露出		
				埋込		



機器リスト

番号	名　　称	形　　式	数 量	単 位
①	引込開閉器盤		1	面
②	重兼配水池 遠方監視装置盤		1	面
③	配水池計装盤		1	面
④	配水残留塩素測定盤		1	面
⑤	残留塩素計		1	台
⑥	配水流量計		1	台
⑦	配水池水位計		1	組

材料リスト-1

番号	名　　称	形　　式	数 量	単 位
①	P.B1	300□×200 (SUS-WP)	1	個

材料リスト-2

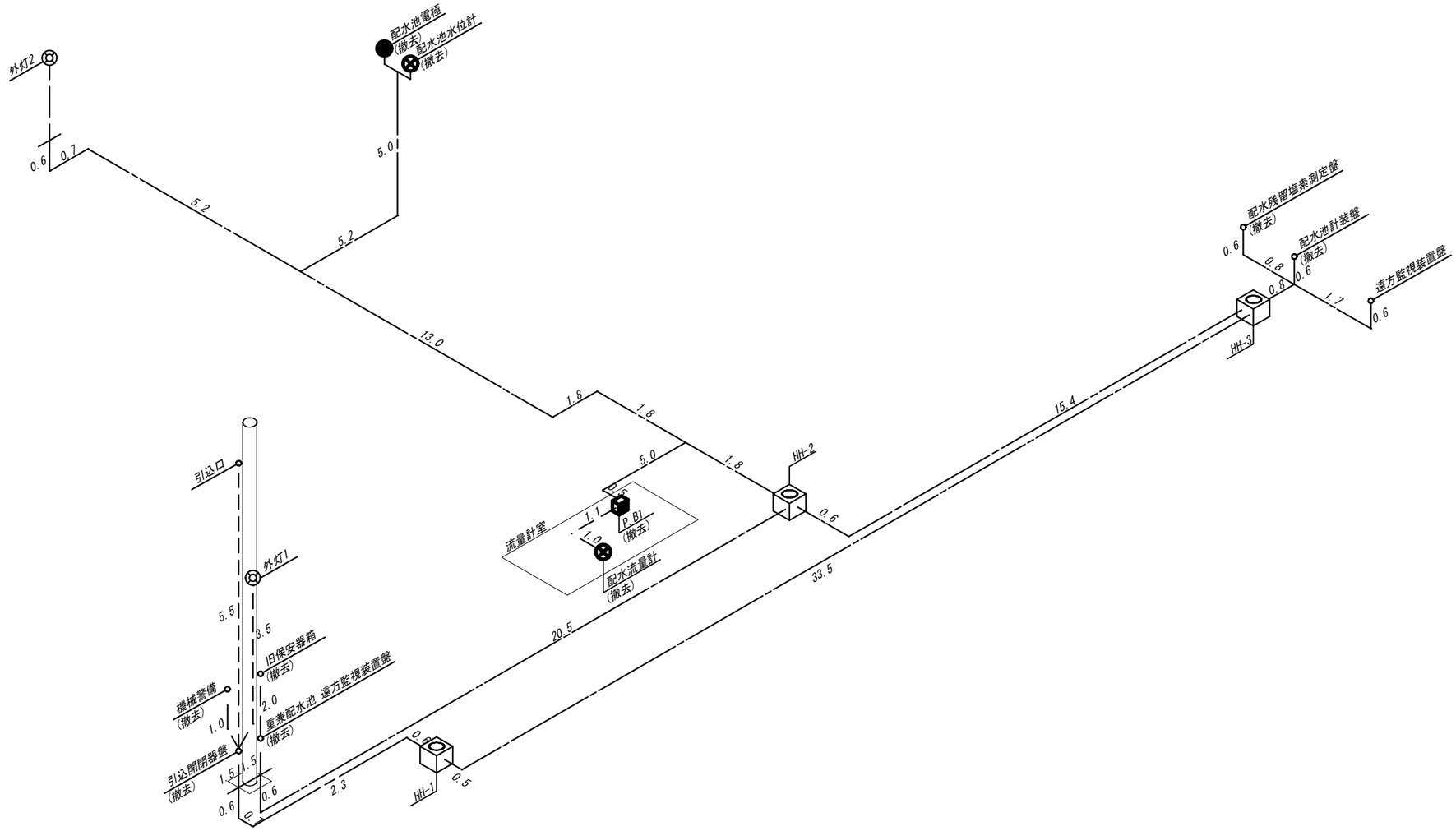
番号	名　　称	形　　式	数 量	単 位
①	配水池電極		1	式
②	水銀灯	200W	1	個
③	保安器箱		1	個

重兼配水池 アイソメ図(今回)

特記事項

特記無き事項は下記を示す。

1. ━ ━ ━ ・ ： 露出配管を示す。
2. ━━ ━━ ： P&Dを示す。
3. ━━-━━ ： 埋設配管を示す。
4. ━━--━━ ： 架空配線を示す。
（ラック配線として計上。）



撤去機器リスト

番号	名　称	形　式	数 量	単 位
①	引込開閉器盤	W300×H830×D200	1	面
②	重兼配水池 遠方監視装置盤	W500×H700×D200	1	面
③	配水池計装盤	W700×H2050×D800	1	面
④	配水残留塩素測定盤	W800×H2050×D800	1	面
⑤	残留塩素計	スタンド型ポーラログラフ法	1	台
⑥	配水流量計	電磁式φ200	1	台
⑦	配水池水位計	投込み式	1	組

撤去材料リスト

番号	名　称	形　式	数 量	単 位
①	P.B1	300□×200 (SUS-WP)	1	個

撤去材料リスト

番号	名　称	形　式	数 量	単 位
①	配水池電極	PH-2	1	個
②	水銀灯	200W	1	個

特記事項

特記無き事項は下記を示す。

1. ━ ━ ━ ･ ： 露出配管を示す。
2. ━━━ ━━━ ： P&Dを示す。
3. ━━━-━━━ ： 埋設配管を示す。
4. ━━━--━━━ ： 架空配線を示す。
（ラック配線として計上。）

重兼配水池 アイソメ図(撤去)

スクラップ計算書(重兼配水池)

1.ケーブル重量	＝	78.26(kg)		
2.銅線くず	＝	29.22(kg)		
3.ナゲット処理	＝	49.04(kg)		
4.廃プラスチック	＝	0.18(kg)	→	0.0002(t)
6.鉄くず(ヘビーH1)	＝	665(kg)	→	0.67(t)
7.鉄くず(ヘビーH3)	＝	47.64(kg)	→	0.05(t)

【撤去ケーブル銅質量計算表】

No.	規 格	数 量	単位	概算質量 (kg/m)	合計概算質量 (kg)	銅概算質量 (kg/m)	合計銅概算質量 (kg)	備 考
1	600V CE 5.5 sq - 2 C	2.9	m	0.225	0.65	0.098	0.284	
2	600V CV 3.5 sq - 2 C	118.0	m	0.165	19.47	0.063	7.390	
3	CEE 2 sq - 20 C	2.9	m	0.655	1.90	0.352	1.022	
4	CVV 2 sq - 7 C	46.0	m	0.295	13.57	0.123	5.672	
5	CVV 1.25 sq - 30 C	40.0	m	0.750	30.00	0.297	11.890	
6	CVV 1.25 sq - 2 C	41.1	m	0.100	4.11	0.020	0.814	
7	CEE-S 2 sq - 6 C	2.9	m	0.310	0.90	0.106	0.307	
8	CVV-S 2 sq - 2 C	48.0	m	0.155	7.44	0.035	1.691	
9	IE 3.5 sq - C	2.9	m	0.044	0.13	0.031	0.091	
10	IV 3.5 sq - C	2.0	m	0.045	0.09	0.031	0.063	
11	sq - C		m					
12	sq - C		m					
13	sq - C		m					
14	sq - C		m					
15	sq - C		m					
16	sq - C		m					
17	sq - C		m					
18	sq - C		m					
19	sq - C		m					
20	sq - C		m					
21	sq - C		m					
22	sq - C		m					
23	sq - C		m					
24	sq - C		m					
25	sq - C		m					
26	sq - C		m					
27	sq - C		m					
28	sq - C		m					
29	sq - C		m					
30	sq - C		m					
31	sq - C		m					
32	sq - C		m					
34	sq - C		m					
合計					78.3		29.2	

【スクラップ重量表(電線管類)】

No.	規 格		数 量	単位	概算質量 (kg/m),(kg/個)	合計概算質量 (kg)	備 考
1	VE	16	1.0	m	0.180	0.18	
2	G	54	7.0	m	3.920	27.44	
3	G	42	1.5	m	2.790	4.19	
4	G	22	7.6	m	1.370	10.41	
5	プルボックス(SUS)	300*300*200	1.0	個	5.600	5.60	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
合計						47.6	
合計						0.18	廃ﾌﾟﾗ

【スクラップ重量表(盤類)】

No.	盤名称	規 格	数 量	単位	概算質量 (kg/面)	合計概算質量 (kg)	備 考
1	引込開閉器盤	屋外壁掛形(W300*H830*D200)	1	面	35	35	
2	重兼配水池遠方監視装置盤	屋外壁掛形(W500*H700*D200)	1	面	30	30	
3	配水池計装盤	屋外自立形(W700*H2050*D800)	1	面	400	400	
4	配水残留塩素測定盤	屋外自立形(W800*H2050*D800)	1	面	200	200	
5							
6						→	0.0000(t)
7							
8						→	0.00(t)
9							
10						→	0.00(t)
11							
12							
13							
14							
合計						665	

1．盤重量　計　　＝　　665　(kg)

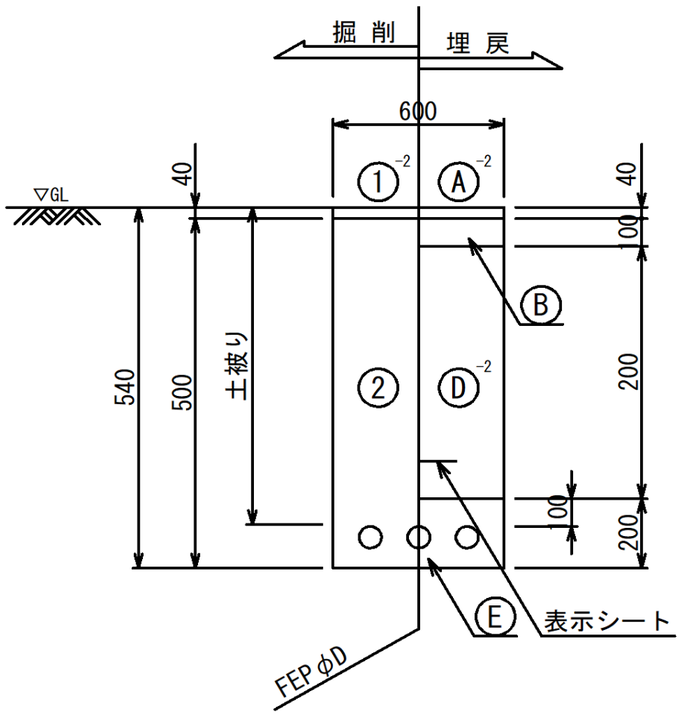
複合工拾い出し根拠表（重兼配水池）

NO	区分	舗装版切断工 Con t=15㎝まで	舗装版破砕工 Con t=10㎝以下 BH 積込	機械掘削積込工 床掘(管路土工) BH 0.08m3	残土処理工(土木) (現場～中間処理場) 排水汚泥	残土処理工(土木) (現場～中間処理場) As塊	残土処理工(水道) (現場～処分場) 土砂	埋戻工 BH 0.08m3 再生砂 人力併用ﾀﾝﾊﾟ	埋戻工 BH 0.08m3 発生土ﾀﾝﾊﾟ	上層路盤工 再生粒調砕石(RM-30) t=10㎝	アスファルト舗装工 再生密粒度アスコン(20)
		m	m^2	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^2	m^2	m^2
	複合工計算書-1	2.20	0.66	0.33	0.002	0.03	0.07	0.12	0.13	0.66	0.66
	複合工計算書-2	2.40	0.36	0.24	0.002	0.01	0.01		0.21	0.36	0.36
	複合工計算書-3	10.40	6.40	1.98	0.01	0.26	1.46		0.47	4.20	4.20
	複合工計算書-4										
	小　　計	15.00	7.42	2.55	0.01	0.30	1.54	0.12	0.81	5.22	5.22
	設計数量	15	7	3	0.01	0.3	2	0.1	1	5	5

NO	区分	基礎砕石工 t=10㎝ RC-40	型枠工	均しコンクリート工 18-8-40	コンクリート工 24-8-40	鉄筋工 SD295 D13					
		m^2	m^2	m^3	m^3	t					
	複合工計算書-1										
	複合工計算書-2										
	複合工計算書-3										
	複合工計算書-4	2.88	3.00	0.14	0.66	0.06					
	小　　計	2.88	3.00	0.14	0.66	0.06					
	小　　計	3	3	0.1	0.7	0.06					

複合工計算書－1

No. 1	名称	地中管路埋設 ﾙｰﾄH



舗装構成

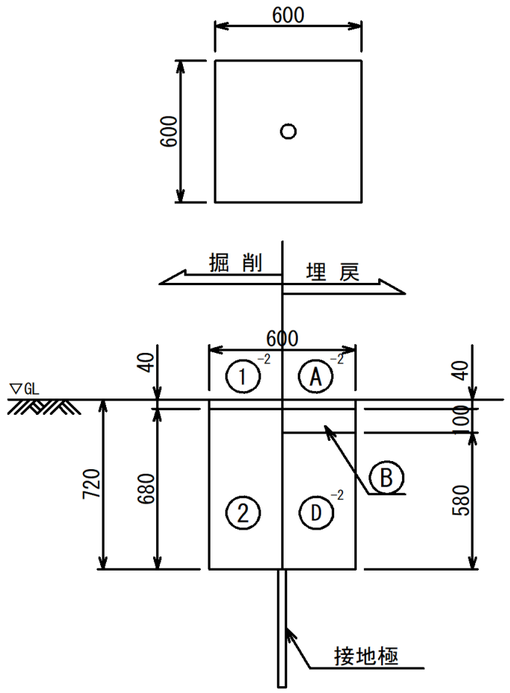
		復　　旧
掘削工	①-2	舗装版掘削積込（As）
	②	機械掘削積込(管路土工)
埋戻工	Ⓐ-2	表層工〔As20〕
	Ⓑ	上層路盤工〔RM-30〕
	Ⓓ-2	埋戻工〔発生土〕
	Ⓔ	埋戻工〔再生砂〕人力併用タンパ

掘削長　L = 1.1 m

舗装版切断工	t=15cmまで = 1.10 × 2	2.20 [m]	アスファルト舗装工	再生密粒度アスコン t=4cm = 0.66	0.66 [m²]
舗装版破砕工	t=15cmまで = 0.6 × 1.10 = 0.66 = 0.66 × 0.04 = 0.03 [m³]	0.66 [m²]	上層路盤工（再生粒調砕石）	t=10cm	0.66 [m²]
機械掘削積込工	一般 = 0.6 × 1.10 × 0.50	0.33 [m³]	埋戻工	発生土(機械) = 0.6 × 0.20 × 1.10	0.13 [m³]
				再生砂(ﾁｯﾌﾟ)人力併用ﾀﾝﾊﾟ = 0.6 × 0.20 × 1.10 - 0.009 × 1.10	0.12 [m³]
残土処理	排水汚泥 = 2.20 × 0.02300 × 0.04	0.002 [m³]			
	As塊	0.03 [m³]			
	土砂(機械) = 0.33 - 0.13 / 1 - 0.12	0.07 [m³]			
管断面積	φ30 × 0 0 [m²] φ40 × 1 0.002 [m²] φ50 × 2 0.007 [m²] φ65 × 0 0 [m²] φ80 × 0 0 [m²]	0.009 [m³]			

複合工計算書－2

No. 2	名称	接地極埋設



舗装構成

		復　　旧
掘削工	①-2	舗装版掘削積込（As）
	②	機械掘削積込(管路土工)
埋戻工	Ⓐ-2	表層工〔As20〕
	Ⓑ	上層路盤工〔RM-30〕
	Ⓓ-2	埋戻工〔発生土〕
	Ⓔ	埋戻工〔再生砂〕人力併用タンパ

本数　1

舗装版切断工	t=15cmまで = 0.60 × 4	2.40 [m]	アスファルト舗装工	再生密粒度アスコン t=4cm = 0.36	0.36 [m^3]
舗装版破砕工	t=15cmまで = 0.60 × 0.60 × 1 = 0.36 = 0.36 × 0.04 = 0.01 [m^3]	0.36 [m^2]	上層路盤工（再生粒調砕石）	t=10cm	0.36 [m^2]
機械掘削積込工	一般 = 0.60 × 0.60 × 0.68 × 1	0.24 [m^3]	埋戻工	発生土(機械) = 0.60 × 0.58 × 0.60 × 1	0.21 [m^3]
残土処理	排水汚泥 = 2.40 × 0.02300 × 0.04	0.002 [m^3]			
	As塊	0.01 [m^3]			
	土砂(機械) = 0.24 － 0.21 / 1	0.01 [m^3]			

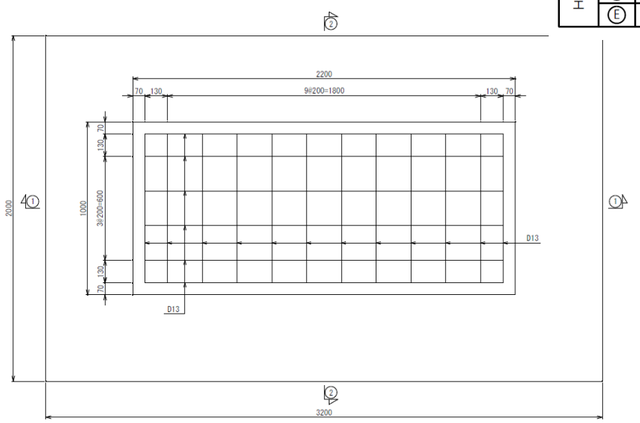
複合工計算書－3

No. 3	名称	配水池計装盤・配水残留塩素測定盤基礎築造（基礎土工）

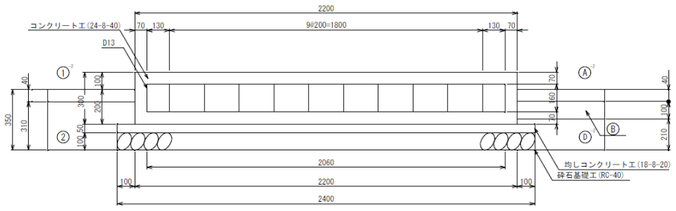
舗装構成

		復　　旧
掘削工	①²	舗装版掘削積込（As）
	②	機械掘削積込(管路土工)
埋戻工	Ⓐ²	表層工〔As20〕
	Ⓑ	上層路盤工〔RM-30〕
	Ⓓ²	埋戻工〔発生土〕
	Ⓔ	埋戻工〔再生砂〕人力併用タンパ

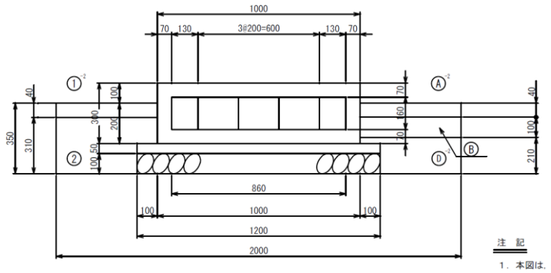
平　面　図



断　面　図 ①－①



断　面　図 ②－②



注　記

1．本図は、

舗装版切断工	t=15cmまで = 3.20 × 2 + 2.0 × 2	10.40 [m]	アスファルト舗装工	18-8-25 6.40 - 2.20 = 4.200 [m²]	4.20 [m³]
舗装版破砕工	t=15cmまで = 3.20 × 2.00 = 6.40 = 6.40 × 0.04 = 0.26 [m³]	6.40 [m²]	上層路盤工（再生粒調砕石）	t=10cm	4.20 [m²]
機械掘削積込工	一般 = 3.20 × 2.00 × 0.31	1.98 [m³]	埋戻工	発生土(機械) 3.20 × 2.00 × 0.21 = 1.34 1.34 -(2.20 × 1.00 × 0.20)-(2.40 × 1.20 × 0.15)	0.47 [m³]
残土処理	排水汚泥 = 10.40 × 0.023 × 0.04	0.01 [m³]			
	As殻	0.26 [m³]			
	土砂(機械) = 1.980 - 0.47 / 0.9	1.46 [m³]			

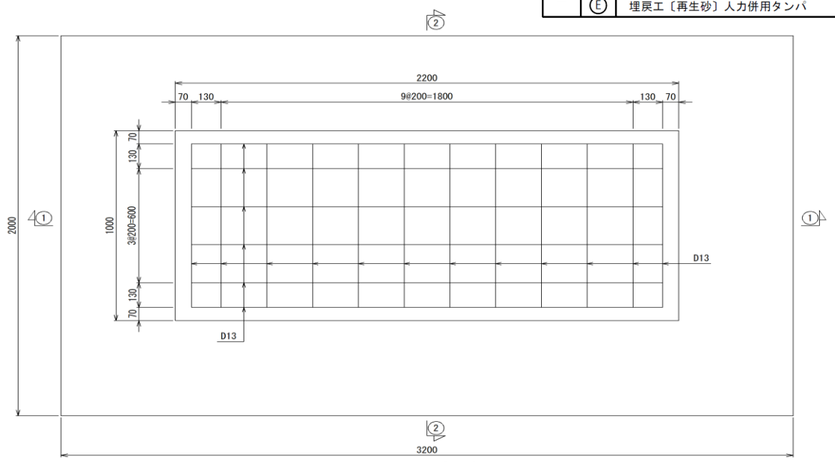
複合工計算書－4

No. 4	名称	配水池計装盤・配水残留塩素測定盤基礎築造（基礎本体）

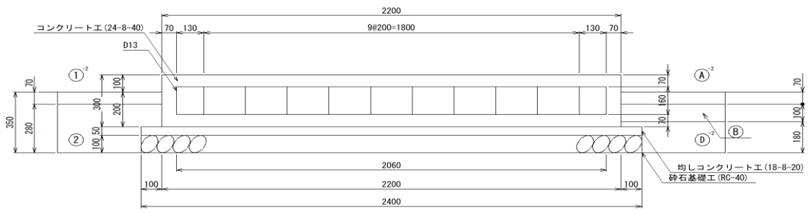
舗装構成

		復　　旧
掘削工	①	舗装版掘削積込（As）
	②	機械掘削積込(管路土工)
埋戻工	Ⓐ	表層工〔As20〕
	Ⓑ	上層路盤工〔RM-30〕
	Ⓓ	埋戻工〔発生土〕
	Ⓔ	埋戻工〔再生砂〕人力併用タンパ

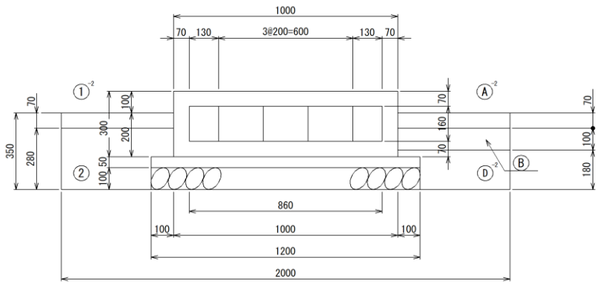
平　面　図



断　面　図 ①－①



断　面　図 ②－②



基礎砕石工	t=10cm RC-40 2.40 × 1.20	2.88 [m2]		
均しコンクリート工	18-8-40 = 2.40 × 1.20 × 0.05	0.14 [m^3]		
型枠工	(2.20 + 1.00)× 2.00 × 0.30 +(2.40 + 1.20)× 2.00 × 0.15	3.00 [m^2]		
コンクリート工	24-8-40 2.20 × 1.00 × 0.30 =	0.66 [m^3]		
鉄筋工	鉄筋D13 @200mm以下(0.995kg/m) 2.06 × 6 × 2 + 0.86 × 12 × 2 + 0.16 × 72 = 56.88 [m] 56.88 × 0.995 ＝ 56.6 [kg]	0.06 [t]		

目　次

東広島事務所監視制御装置機能増設

1. 合計一覧---------- 1

機 器 数 量　　数量は機器金額入力欄の数量とします　［水道局舎監視制御装置機能増設］

(1)	機　器	東広島事務所監視制御装置機能増設	式	1